

だれもが自分らしくのびやかに生きる社会を
男女共同参画に関するアンケート調査報告書
【追加修正版】

平成 27 年 11 月
泉大津市

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査時期	1
5. 調査の配布数と回収数	1
II. 結果の概要	2
1. あなた自身や家族のことについて	2
2. 男女平等について	5
3. 家庭生活などについて	22
4. 子育て・教育について	39
5. 労働・社会参加について	44
6. 暴力について	59

報告書の留意点・見方

- 図表中の「n」とは、集計対象者実数（回答者数）をさしています。
- 図表の数値（%）は、すべて小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。そのため、単数回答を求めた設問でも、比率の合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を超えます。

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本市では、男女共同参画社会の実現に向けて、平成 18 年 3 月に平成 27 年度までを計画期間とする「人が好きです。このまちが好きです。わたしも参加します。にんじんプラン」をキャッチコピーとした「第 2 次泉大津市男女共同参画推進計画」を策定し、この計画の計画期間終了を迎えます。

本調査は、次期計画の策定に向けて、市民の皆様のご意見をお伺いし、計画づくりのための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査の対象

市内在住の満 20 歳以上の市民の男女 1,500 人を対象に無作為抽出

3. 調査方法

郵送による配布・回収

4. 調査時期

平成 27 年 4 月 14 日～平成 27 年 6 月 18 日

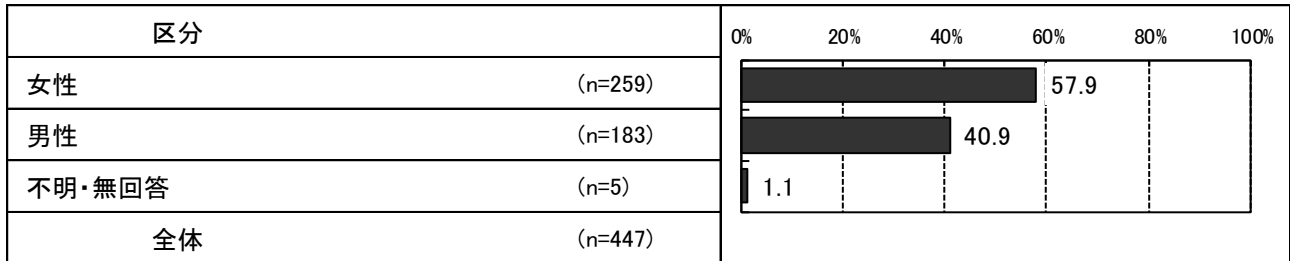
5. 調査の配布数と回収数

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
1,500	448	447	29.8%

II. 結果の概要

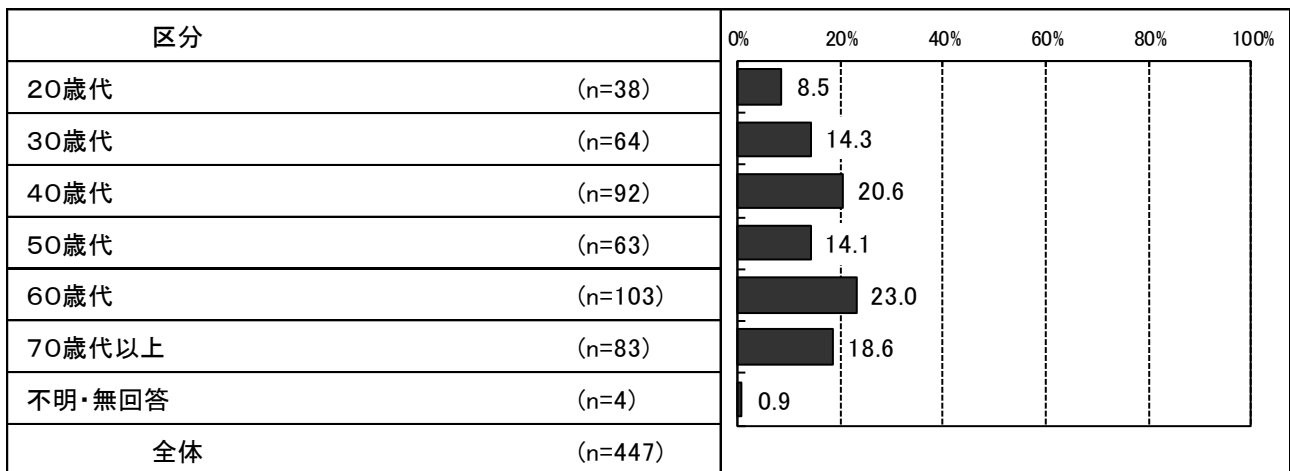
1. あなた自身や家族のことについて

A 性別



全体では、「女性」が 57.9%で「男性」(40.9%)を上回っています。

B 年齢

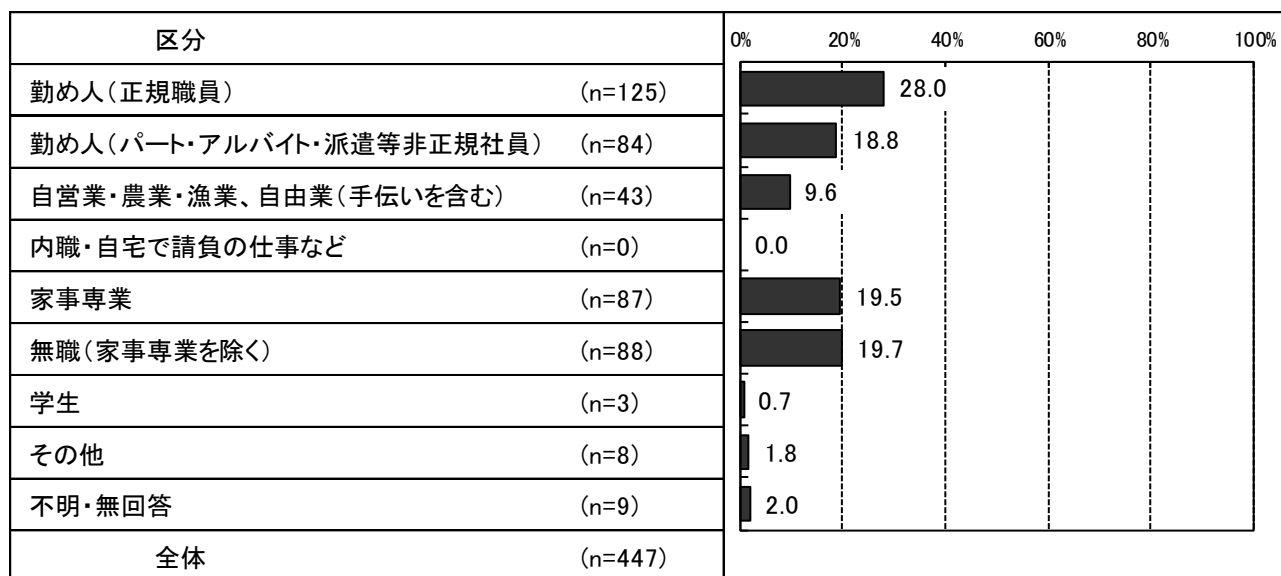


全体では、「60歳代」が 23.0%で最も多く、「40歳代」(20.6%)、「70歳代以上」(18.6%)がつづいています。

		合計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明・無回答
	全体	447	8.5	14.3	20.6	14.1	23.0	18.6	0.9
性別	女性	259	7.7	13.5	22.8	15.1	22.0	18.5	0.4
	男性	183	9.8	15.8	16.9	13.1	25.1	19.1	0.0

性別でみると、女性では 40歳代、男性では 60歳代が最も多くなっています。

C 主なお仕事

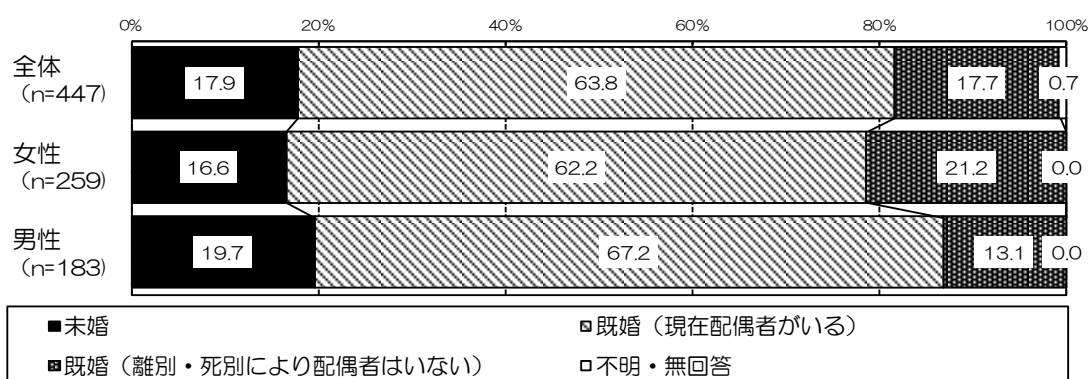


全体では、「勤め人(正規職員)」が28.0%で最も多く、「無職(家事専業を除く)」(19.7%)、「家事専業」(19.5%)がつづいています。

	合計	勤め人 (正規職員)	勤め人 (パート・ アルバイト・ 派遣等 非正規社 員)	自営業・ 農業・漁 業、自由 業(手伝 いを含む)	内職・自 宅で請負 の仕事な ど	家事専業	無職 (家事専 業を除く)	学生	その他	不明・無 回答
全体	447	28.0	18.8	9.6	0.0	19.5	19.7	0.7	1.8	2.0
性別										
女性	259	17.0	25.1	6.9	0.0	32.8	15.1	0.8	1.5	0.8
男性	183	44.3	10.4	13.7	0.0	0.5	26.2	0.5	2.2	2.2

性別でみると、女性では「家事専業」、男性では「勤め人(正規職員)」が最も多くなっています。

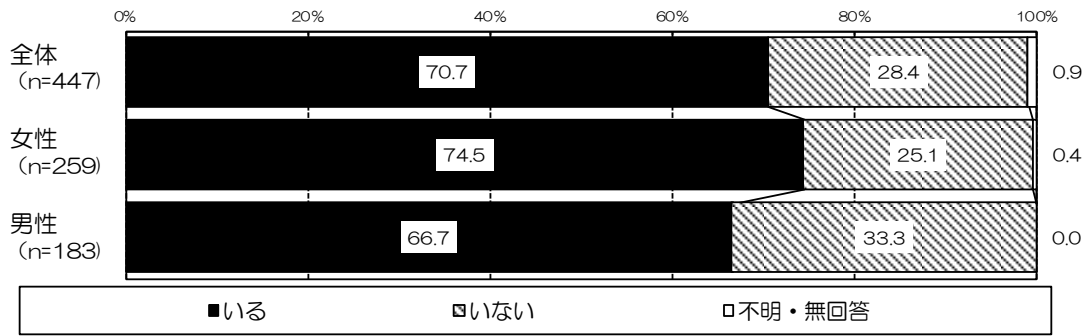
D 結婚の有無(配偶者とは夫・妻などで、事実婚の場合も含みます)



全体では、「既婚(現在配偶者がいる)」が63.8%で最も多く、「未婚」(17.9%)、「既婚(離別・死別により配偶者はいない)」(17.7%)がつづいています。

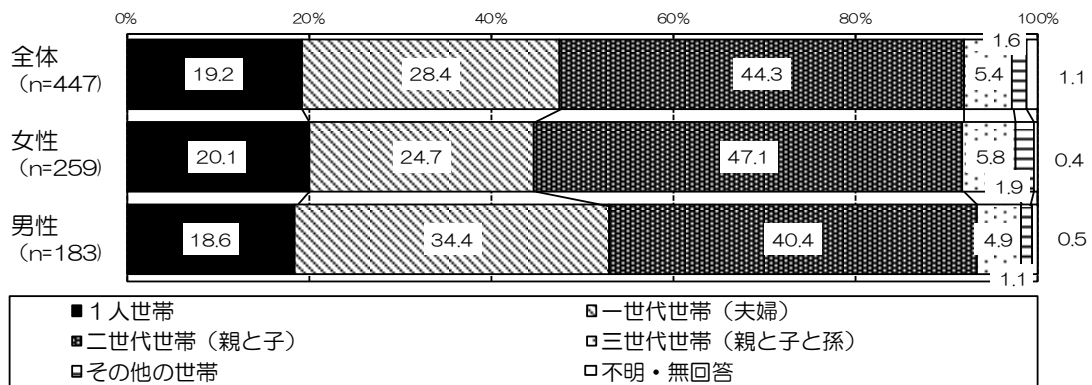
性別では、「既婚(現在配偶者がいる)」が6割台で最も多くなっています。

E 子どもの有無



全体では、「いる」が70.7%で「いない」を上回っています。
性別では、男女とも「いる」が6～7割台で「いない」を上回っています。

F 家族構成



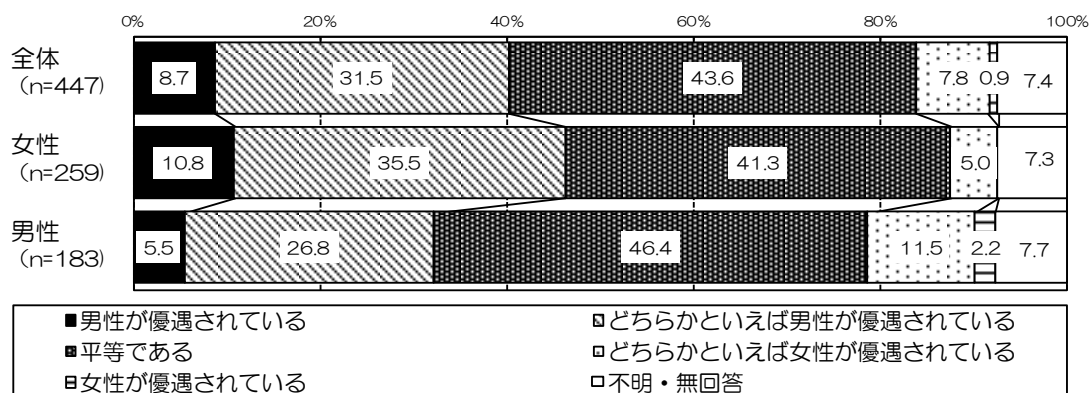
全体では、「二世帯世帯 (親と子)」が44.3%で最も多く、「一世代世帯 (夫婦)」(28.4%)、「1人世帯」(19.2%)がつづいています。

性別では、男女とも「二世帯世帯 (親と子)」が4割台で最も多くなっています。

2. 男女平等について

問1 次のような分野で男女の地位は、どの程度平等になっていると思いますか。

① 法律や制度の上では

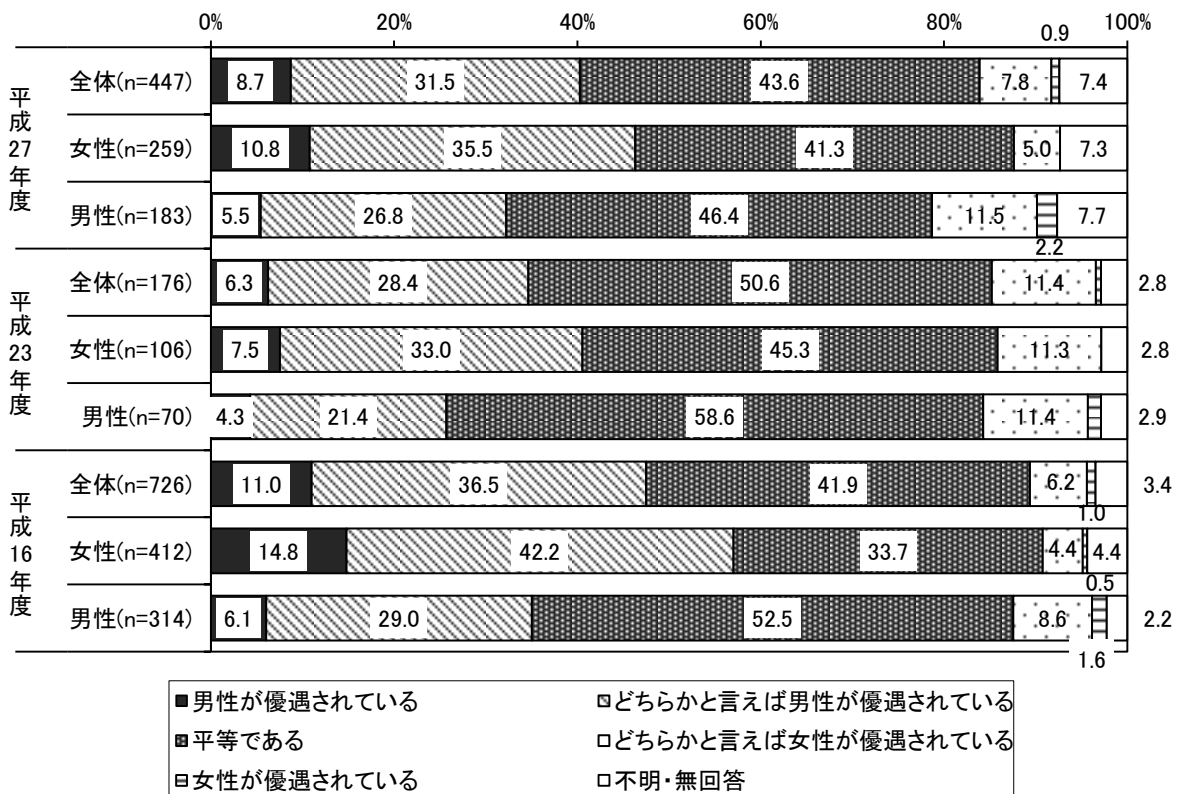


全体では、「平等である」が43.6%で最も多く、「どちらかといえば男性が優遇されている」(31.5%)「男性が優遇されている」(8.7%)がつづいています。

性別では、男女とも、「平等である」が4割台で最も多くなっています。

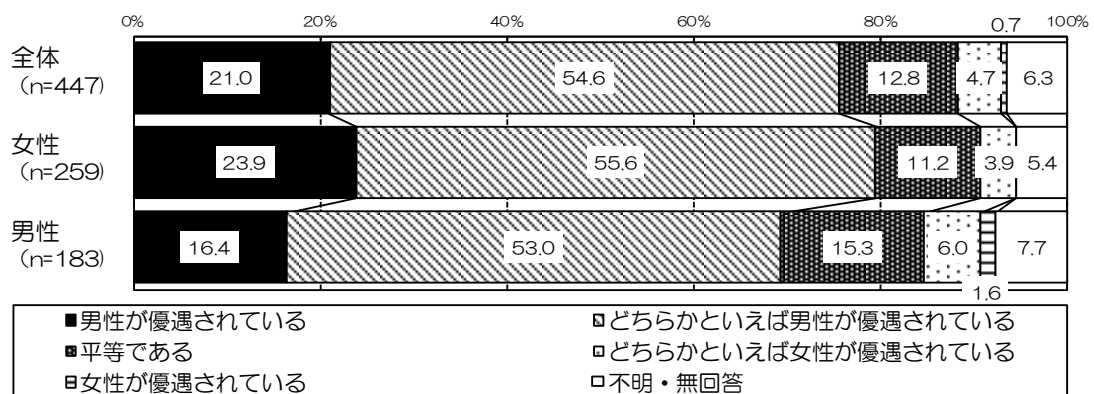
	合計	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	不明・無回答	
全体	447	8.7	31.5	43.6	7.8	0.9	7.4	
年齢	20歳代	38	2.6	18.4	50.0	18.4	2.6	7.9
	30歳代	64	9.4	34.4	39.1	12.5	0.0	4.7
	40歳代	92	12.0	34.8	41.3	5.4	2.2	4.3
	50歳代	63	11.1	33.3	42.9	9.5	0.0	3.2
	60歳代	103	7.8	33.0	50.5	3.9	1.0	3.9
	70歳代以上	83	7.2	30.1	37.3	4.8	0.0	20.5

年代別にみると、「平等である」について、20歳代と60歳代で5割台となっています。



「平等である」について、平成16年度と平成23年度の男性で5割を超えています。

② 社会や慣習やしきたりでは

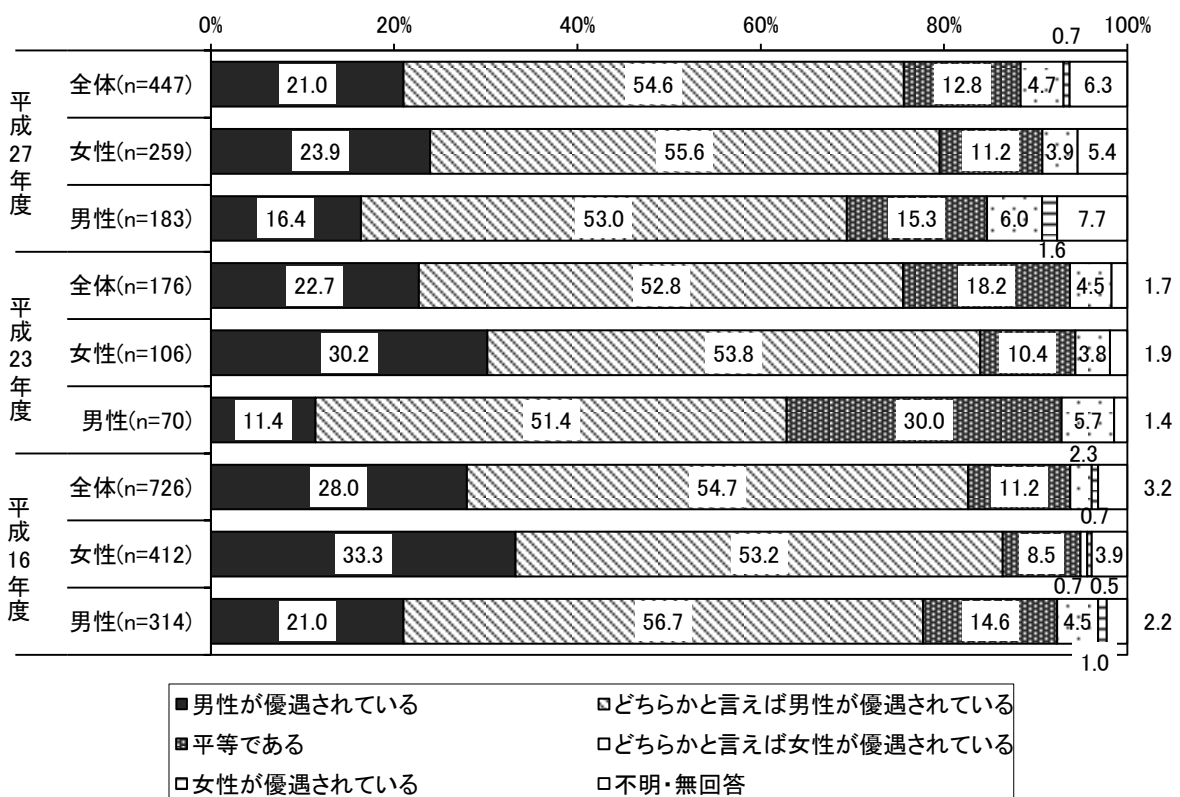


全体では、「どちらかといえば男性が優遇されている」が54.6%で最も多く、「男性が優遇されている」(21.0%)、「平等である」(12.8%)がつづいています。

性別では、「男性が優遇されている」(「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計)は、女性が79.5%で、男性は69.4%となっています。

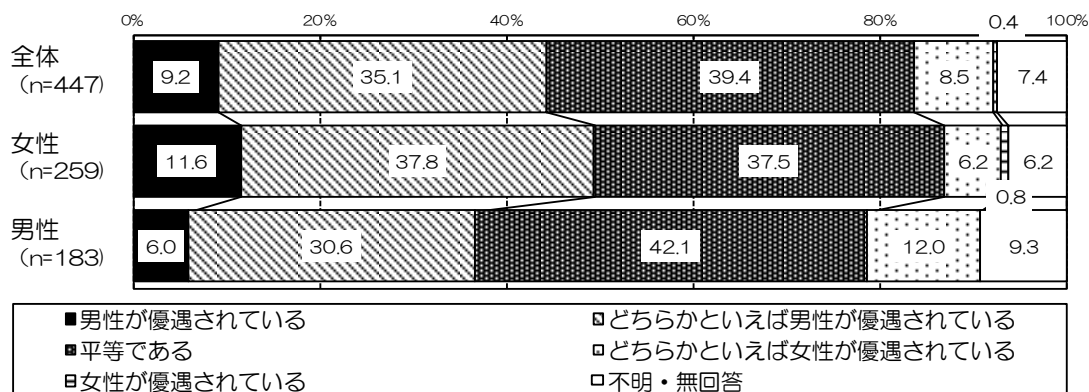
		合計	男性が優遇 されている	どちらか といえば男性 が優遇され ている	平等である	どちらか といえば女性 が優遇され ている	女性が優遇 されている	不明・無回 答
全体		447	21.0	54.6	12.8	4.7	0.7	6.3
年齢	20歳代	38	18.4	50.0	10.5	13.2	2.6	5.3
	30歳代	64	28.1	45.3	15.6	7.8	1.6	1.6
	40歳代	92	26.1	59.8	9.8	1.1	0.0	3.3
	50歳代	63	25.4	61.9	9.5	1.6	0.0	1.6
	60歳代	103	11.7	60.2	15.5	6.8	1.0	4.9
	70歳代以上	83	18.1	47.0	13.3	2.4	0.0	19.3

年代別にみると、「どちらかといえば男性が優遇されている」が4～6割台で最も多くなっています。



すべての年度で、「どちらかといえば男性が優遇されている」が性別に関わらず、5割を超えています。

③ 自治会などの地域活動では

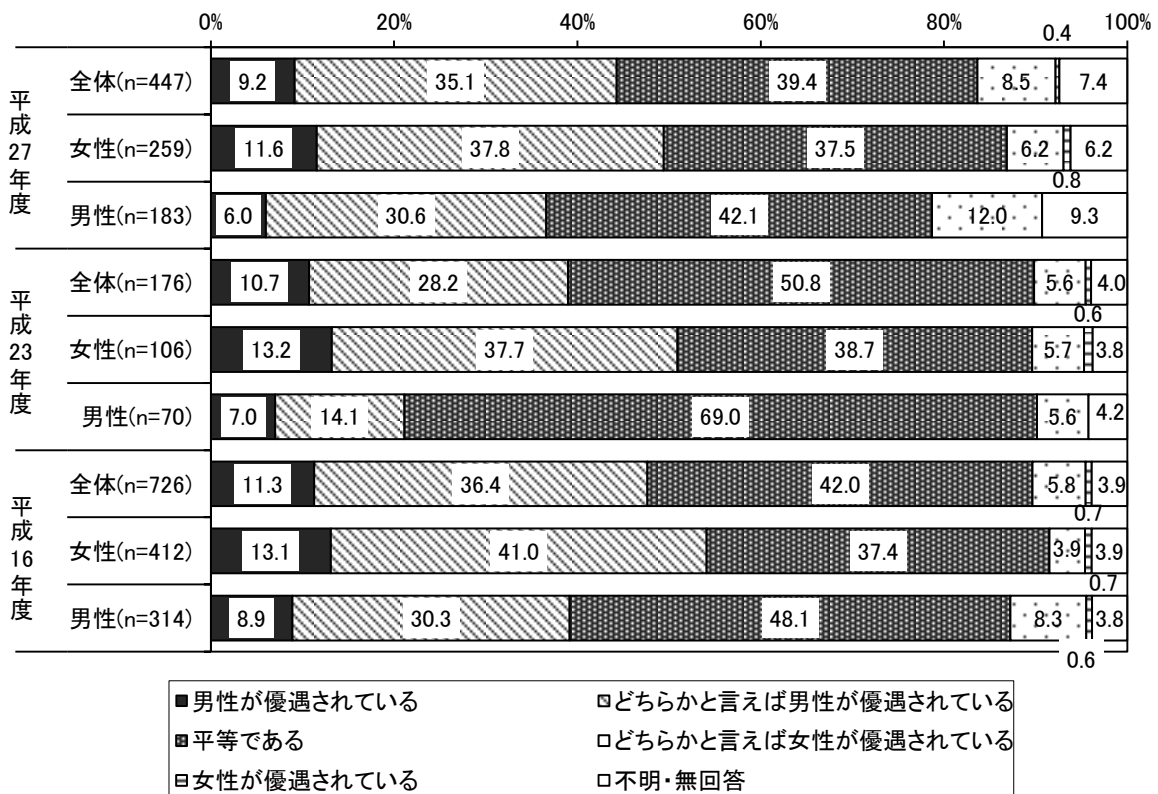


全体では、「平等である」が39.4%で最も多く、「どちらかといえば男性が優遇されている」(35.1%)、「男性が優遇されている」(9.2%)がつづいています。

性別では、女性で「どちらかといえば男性が優遇されている」、男性で「平等である」が最も多くなっています。

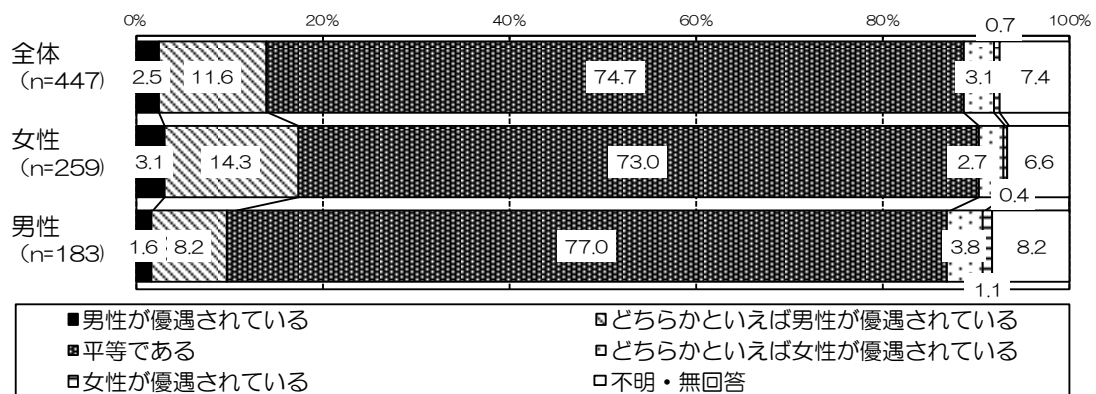
	合計	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	不明・無回答	
全体	447	9.2	35.1	39.4	8.5	0.4	7.4	
年齢	20歳代	38	10.5	26.3	39.5	15.8	2.6	5.3
	30歳代	64	10.9	35.9	42.2	9.4	0.0	1.6
	40歳代	92	7.6	43.5	37.0	5.4	1.1	5.4
	50歳代	63	14.3	30.2	46.0	6.3	0.0	3.2
	60歳代	103	5.8	39.8	40.8	6.8	0.0	6.8
	70歳代以上	83	9.6	26.5	33.7	10.8	0.0	19.3

年齢別にみると、40歳代のみ「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多く、その他の年代では「平等である」が最も多くなっています。



すべての年度で、女性において「平等である」が3割台となっています。

④ 学校教育では

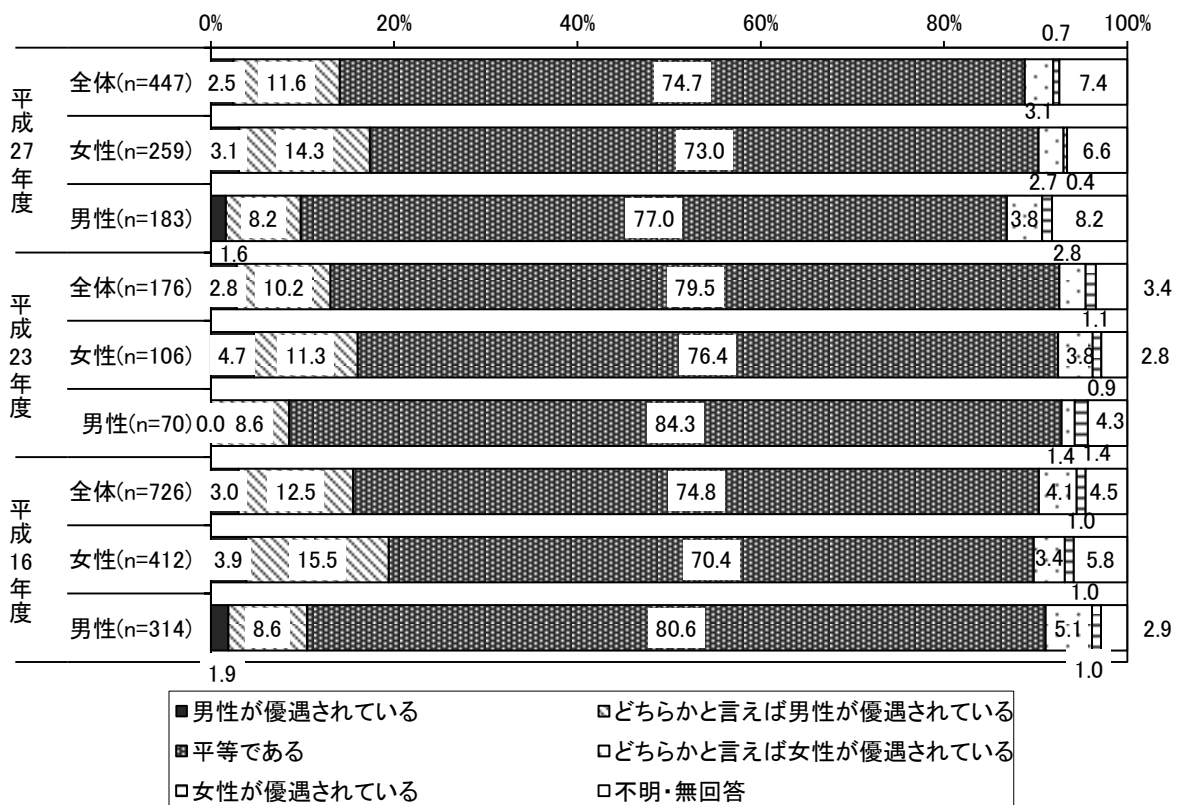


全体では、「平等である」が74.7%で最も多く、「どちらかといえば男性が優遇されている」(11.6%)、「どちらかといえば女性が優遇されている」(3.1%)がつづいています。

性別では、男女とも「平等である」が7割台で最も多くなっています。

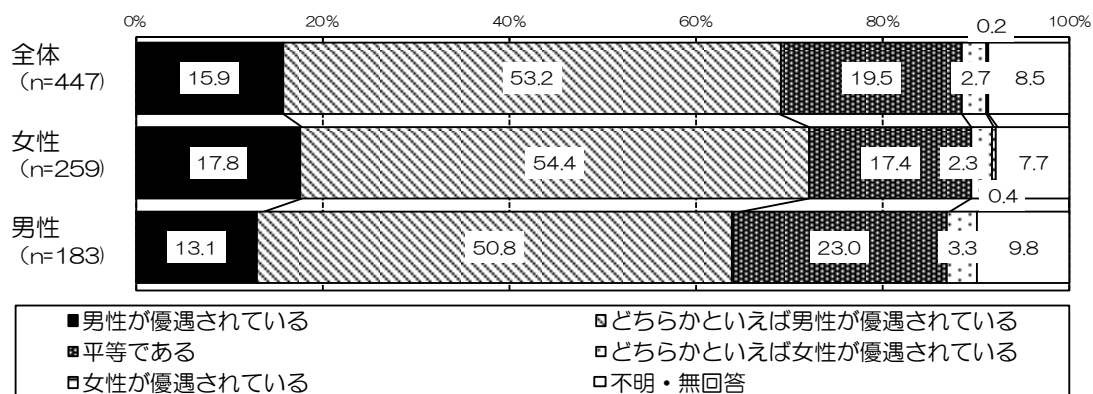
		合計	男性が優遇 されている	どちらか といえば男性 が優遇され ている	平等である	どちらか といえば女性 が優遇され ている	女性が優遇 されている	不明・無回 答
全体		447	2.5	11.6	74.7	3.1	0.7	7.4
年齢	20歳代	38	5.3	5.3	65.8	10.5	7.9	5.3
	30歳代	64	1.6	17.2	73.4	6.3	0.0	1.6
	40歳代	92	4.3	6.5	84.8	0.0	0.0	4.3
	50歳代	63	1.6	12.7	84.1	0.0	0.0	1.6
	60歳代	103	1.9	15.5	73.8	2.9	0.0	5.8
	70歳代以上	83	1.2	10.8	61.4	3.6	0.0	22.9

年代別にみると、すべての年代で「平等である」が最も多く、特に、40～50歳代で8割台となっています。



すべての年度で、女性において「平等である」が7割台となっています。

⑤ 雇用の機会や職業の選択では

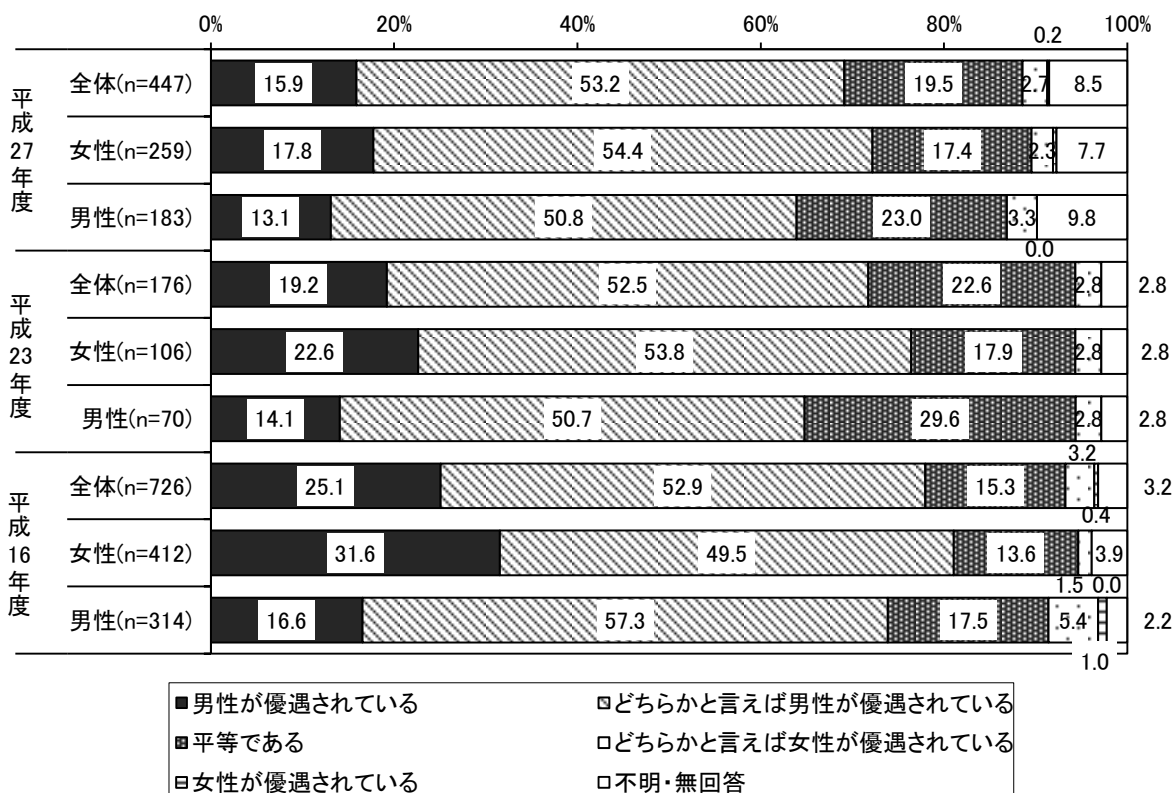


全体では、「どちらかといえば男性が優遇されている」が53.2%で最も多く、「平等である」(19.5%)、「男性が優遇されている」(15.9%)がづついています。

性別では、「男性が優遇されている」(「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計)は、女性が72.2%で、男性は63.9%となっています。

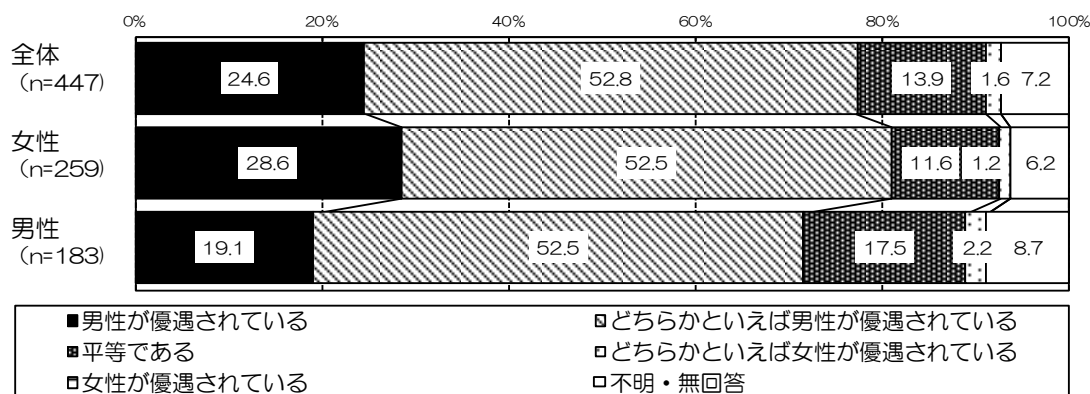
	合計	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	不明・無回答	
全体	447	15.9	53.2	19.5	2.7	0.2	8.5	
年齢	20歳代	38	28.9	34.2	23.7	7.9	0.0	5.3
	30歳代	64	26.6	43.8	25.0	1.6	1.6	1.6
	40歳代	92	19.6	47.8	21.7	3.3	0.0	7.6
	50歳代	63	17.5	60.3	12.7	6.3	0.0	3.2
	60歳代	103	6.8	68.9	17.5	1.0	0.0	5.8
	70歳代以上	83	8.4	49.4	18.1	0.0	0.0	24.1

年代別にみると、すべての年代で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多く、特に60歳代が7割近くになっています。



女性において、「どちらかといえば男性が優遇されている」が平成16年度では4割台でしたが、平成23・27年度ではそれぞれ5割台となっています。

⑥ 賃金や待遇では

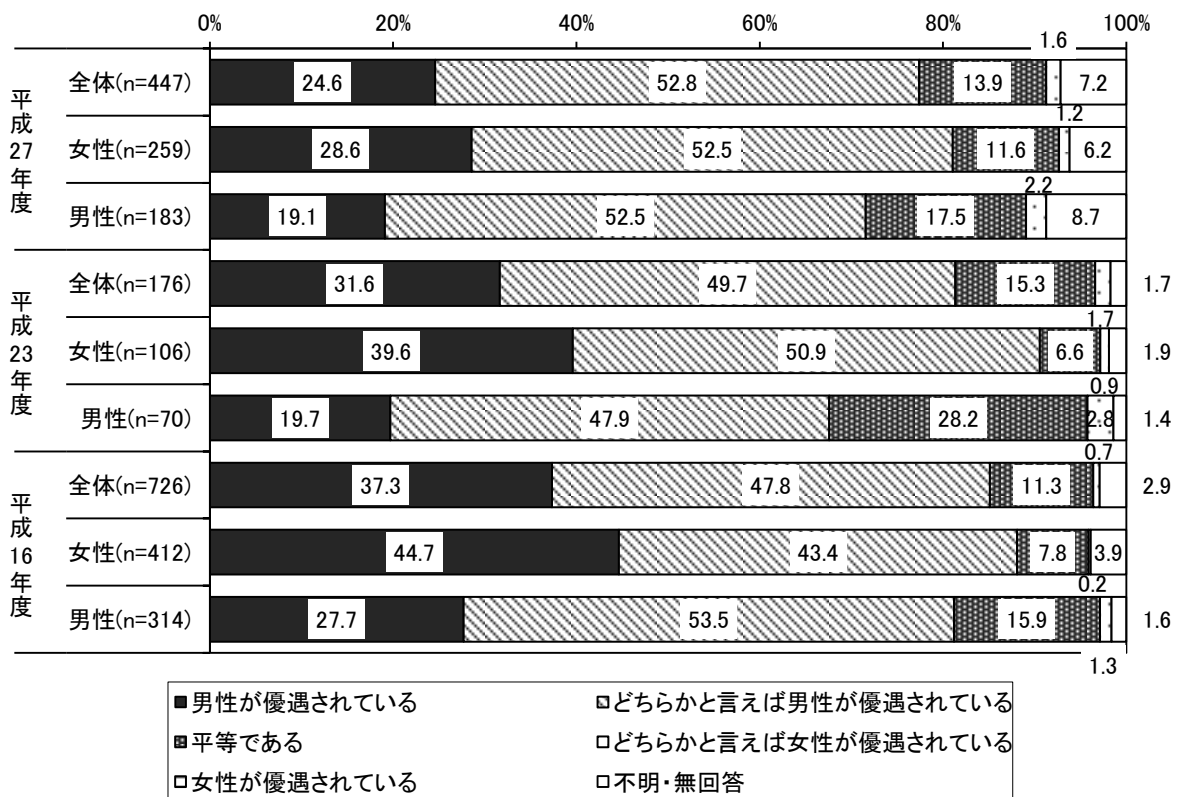


全体では、「どちらかといえば男性が優遇されている」が52.8%で最も多く、「男性が優遇されている」(24.6%)、「平等である」(13.9%)がつづいています。

性別では、「男性が優遇されている」(「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計)は、女性が81.1%で、男性は71.6%となっています。

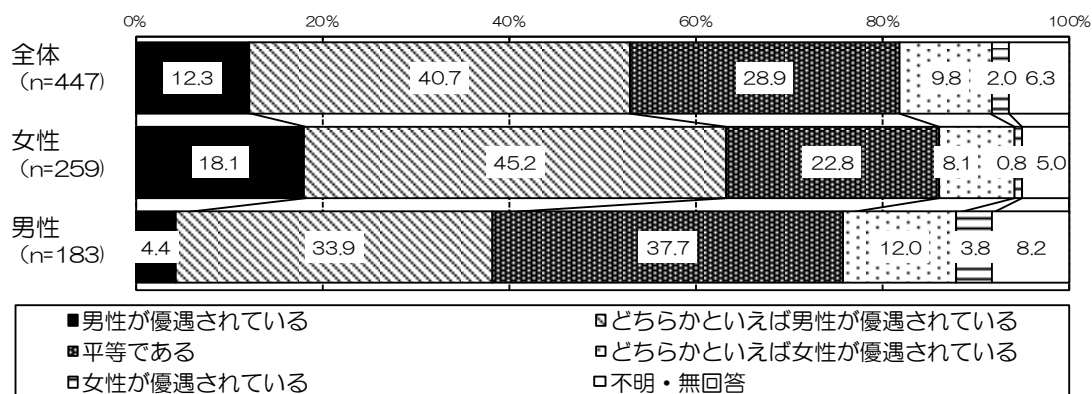
		合計	男性が優遇 されている	どちらか といえば男性 が優遇され ている	平等である	どちらか といえば女性 が優遇され ている	女性が優遇 されている	不明・無回 答
全体		447	24.6	52.8	13.9	1.6	0.0	7.2
年齢	20歳代	38	31.6	34.2	21.1	5.3	0.0	7.9
	30歳代	64	25.0	51.6	20.3	1.6	0.0	1.6
	40歳代	92	28.3	47.8	16.3	1.1	0.0	6.5
	50歳代	63	31.7	52.4	14.3	0.0	0.0	1.6
	60歳代	103	17.5	66.0	9.7	1.0	0.0	5.8
	70歳代以上	83	20.5	51.8	7.2	2.4	0.0	18.1

年代別にみると、すべての年代で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっています。



女性において、「男性が優遇されている」が年々減少しているものの、「どちらかといえば男性が優遇されている」が増加しています。

⑦ 家庭生活では

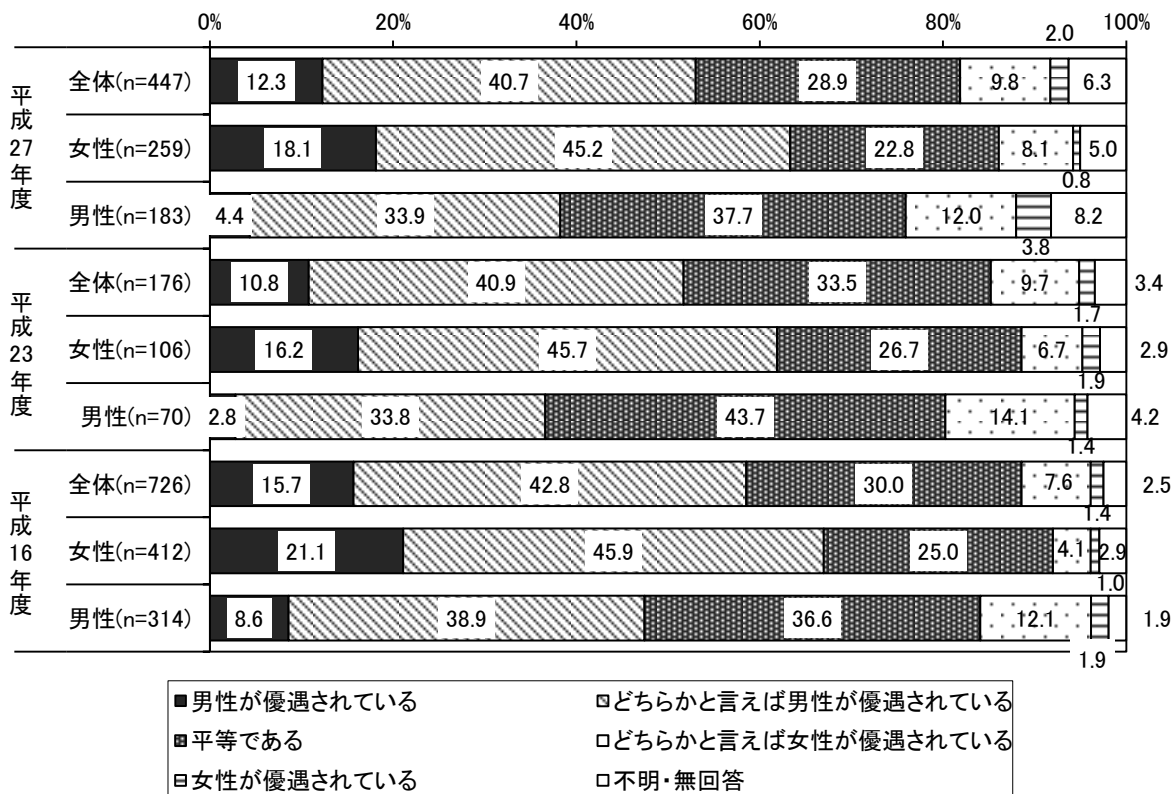


全体では、「どちらかといえば男性が優遇されている」が40.7%で最も多く、「平等である」(28.9%)、「男性が優遇されている」(12.3%)が続いています。

性別では、「男性が優遇されている」(「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計)は、女性が63.3%で、男性は38.3%となっています。

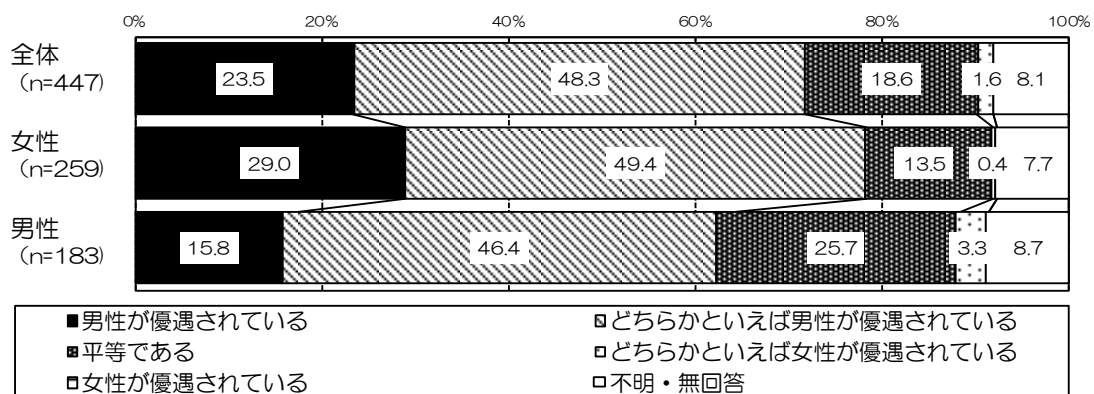
	合計	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	不明・無回答	
全体	447	12.3	40.7	28.9	9.8	2.0	6.3	
年齢	20歳代	38	10.5	18.4	42.1	15.8	7.9	5.3
	30歳代	64	18.8	35.9	25.0	15.6	3.1	1.6
	40歳代	92	15.2	45.7	29.3	5.4	0.0	4.3
	50歳代	63	15.9	42.9	27.0	11.1	1.6	1.6
	60歳代	103	5.8	49.5	33.0	3.9	2.9	4.9
	70歳代以上	83	10.8	36.1	21.7	13.3	0.0	18.1

年齢別にみると、20歳代では「平等である」が最も多い一方で、30歳代以上では「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっています。



すべての年度で、女性において、程度の差はありますが男性が優遇されていると回答する人（「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計）は、6割台となっています。

⑧ 政治・経済活動の参画では

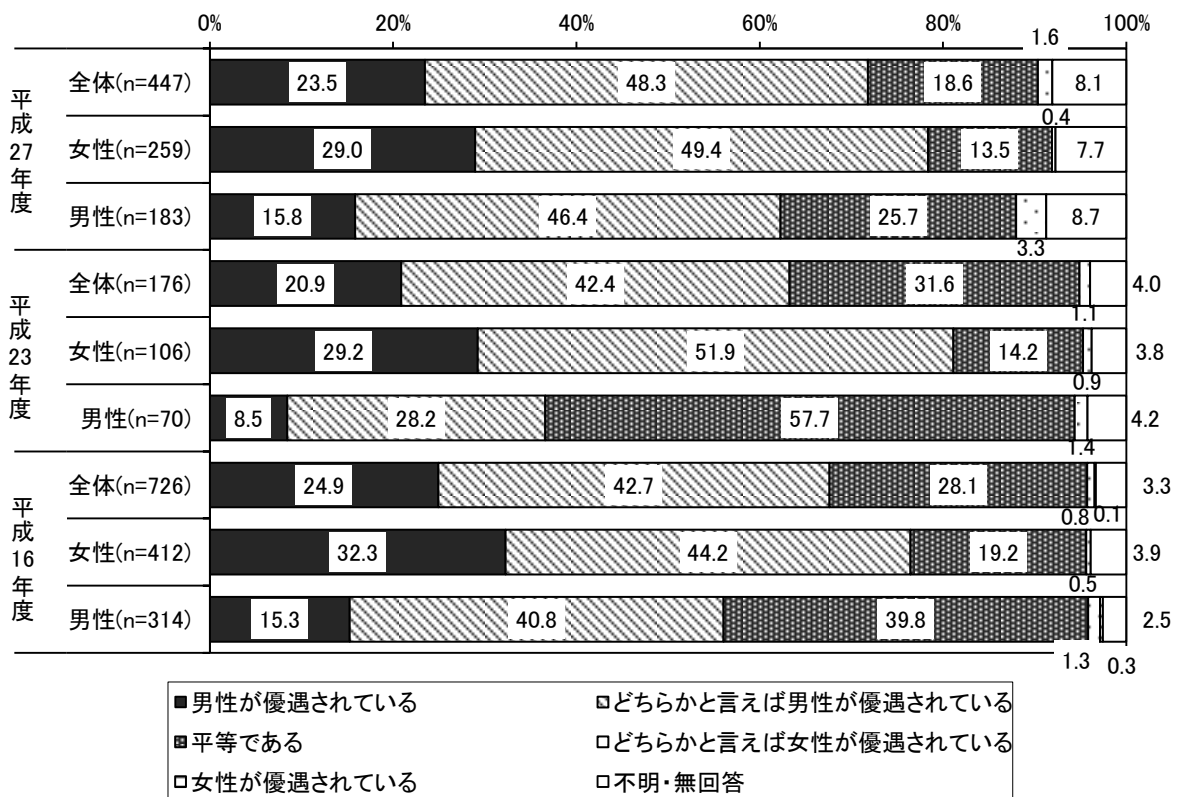


全体では、「どちらかといえば男性が優遇されている」が48.3%で最も多く、「男性が優遇されている」(23.5%)、「平等である」(18.6%)がつづいています。

性別では、「男性が優遇されている」（「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計）は、女性が78.4%で、男性は62.2%となっています。

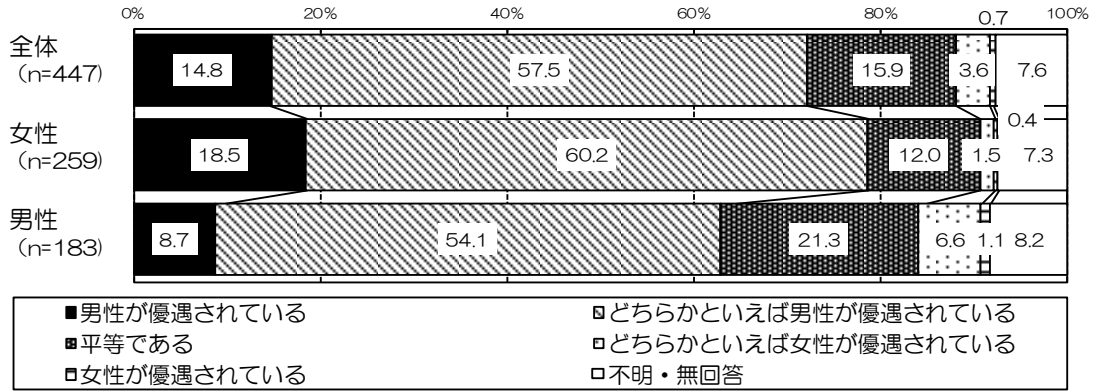
		合計	男性が優遇 されている	どちらか といえば男性 が優遇され ている	平等である	どちらか といえば女性 が優遇され ている	女性が優遇 されている	不明・無回 答
全体		447	23.5	48.3	18.6	1.6	0.0	8.1
年齢	20歳代	38	26.3	39.5	23.7	5.3	0.0	5.3
	30歳代	64	29.7	48.4	17.2	3.1	0.0	1.6
	40歳代	92	32.6	43.5	17.4	1.1	0.0	5.4
	50歳代	63	30.2	49.2	15.9	1.6	0.0	3.2
	60歳代	103	14.6	58.3	19.4	0.0	0.0	7.8
	70歳代以上	83	12.0	45.8	19.3	1.2	0.0	21.7

年代別にみると、すべての年代で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっています。



すべての年度で、女性において、「平等である」が1割台となっています。

⑨ 社会全体では

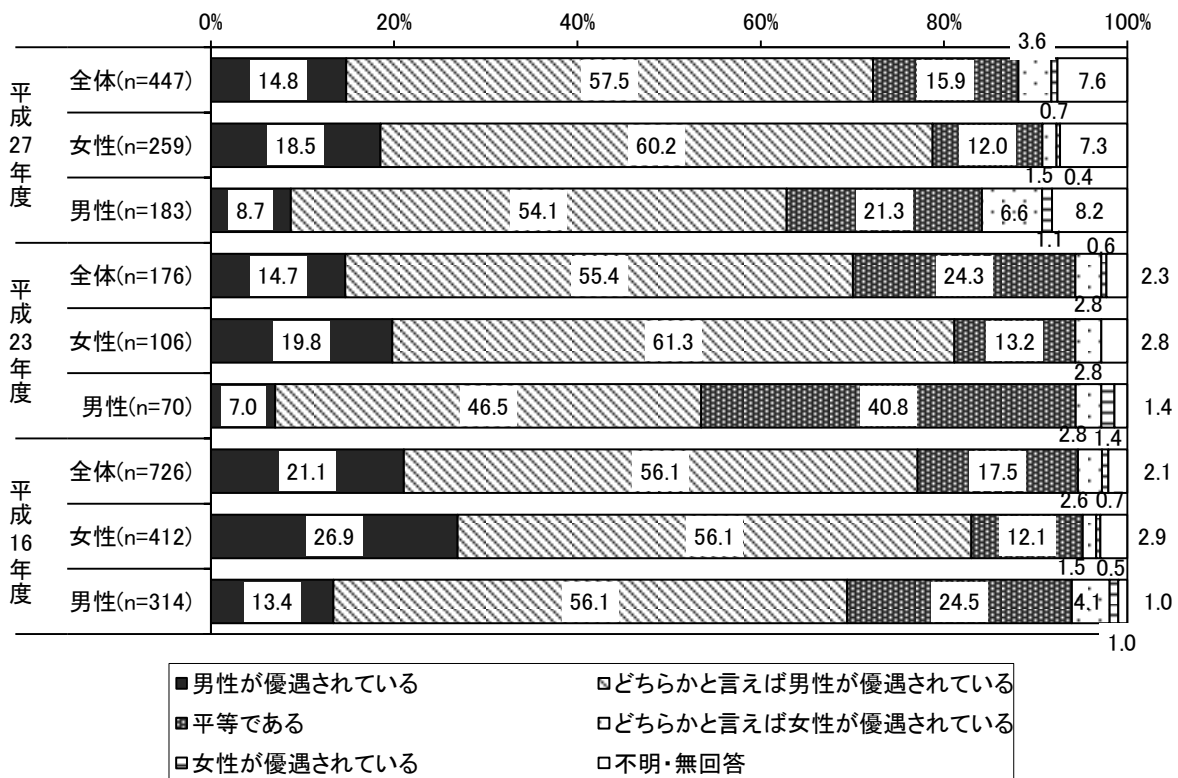


全体では、「どちらかといえば男性が優遇されている」が57.5%で最も多く、「平等である」(15.9%)、「男性が優遇されている」(14.8%)が続いています。

性別では、「男性が優遇されている」(「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計)は、女性が78.7%で、男性は62.8%となっています。

	合計	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	不明・無回答	
全体	447	14.8	57.5	15.9	3.6	0.7	7.6	
年齢	20歳代	38	13.2	47.4	21.1	10.5	2.6	5.3
	30歳代	64	15.6	62.5	15.6	1.6	3.1	1.6
	40歳代	92	18.5	57.6	15.2	3.3	0.0	5.4
	50歳代	63	23.8	57.1	12.7	3.2	0.0	3.2
	60歳代	103	8.7	66.0	16.5	1.9	0.0	6.8
	70歳代以上	83	10.8	47.0	16.9	4.8	0.0	20.5

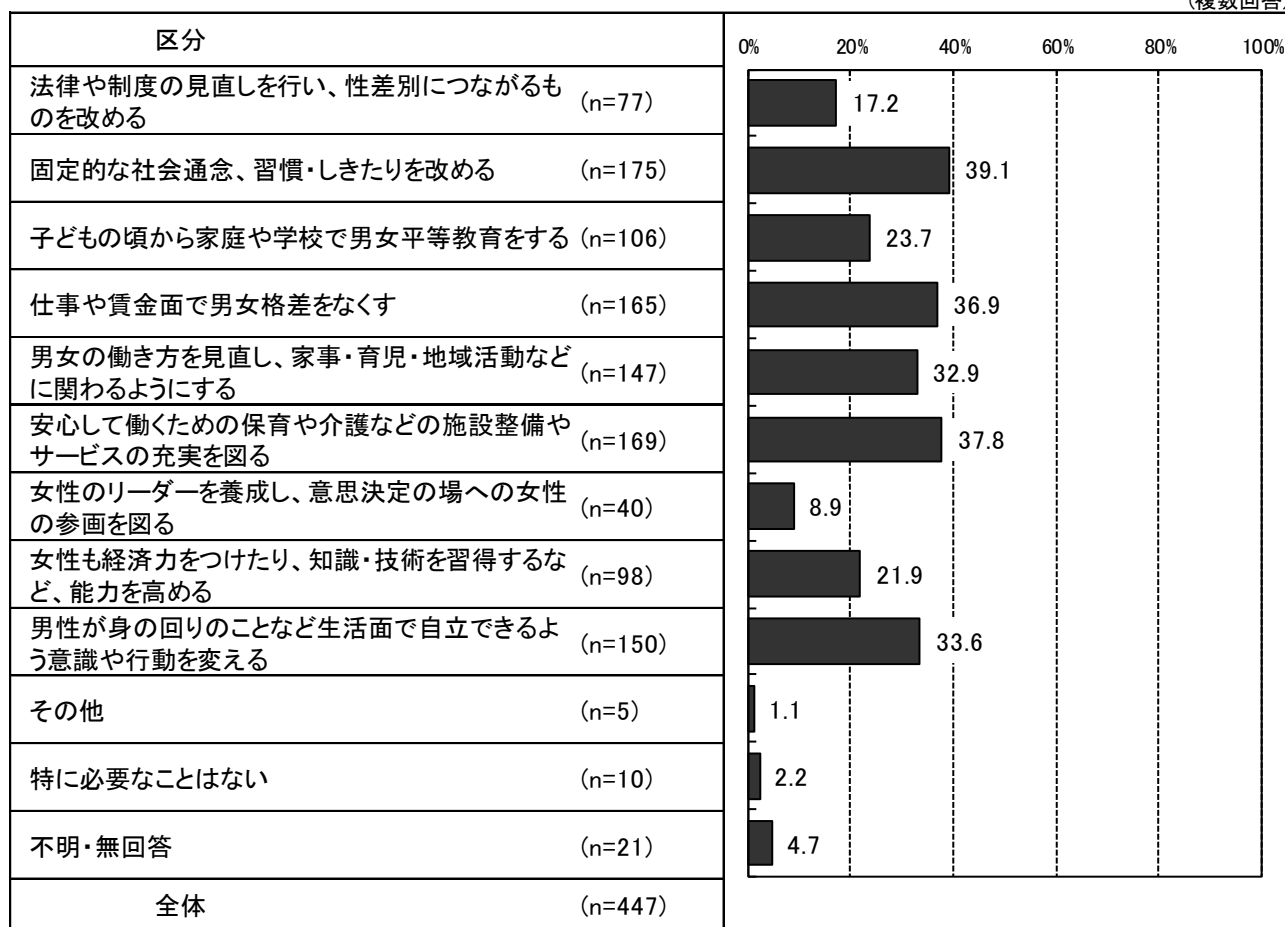
年代別にみると、すべての年代で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっています。



女性において、「男性が優遇されている」が年々減少しています。

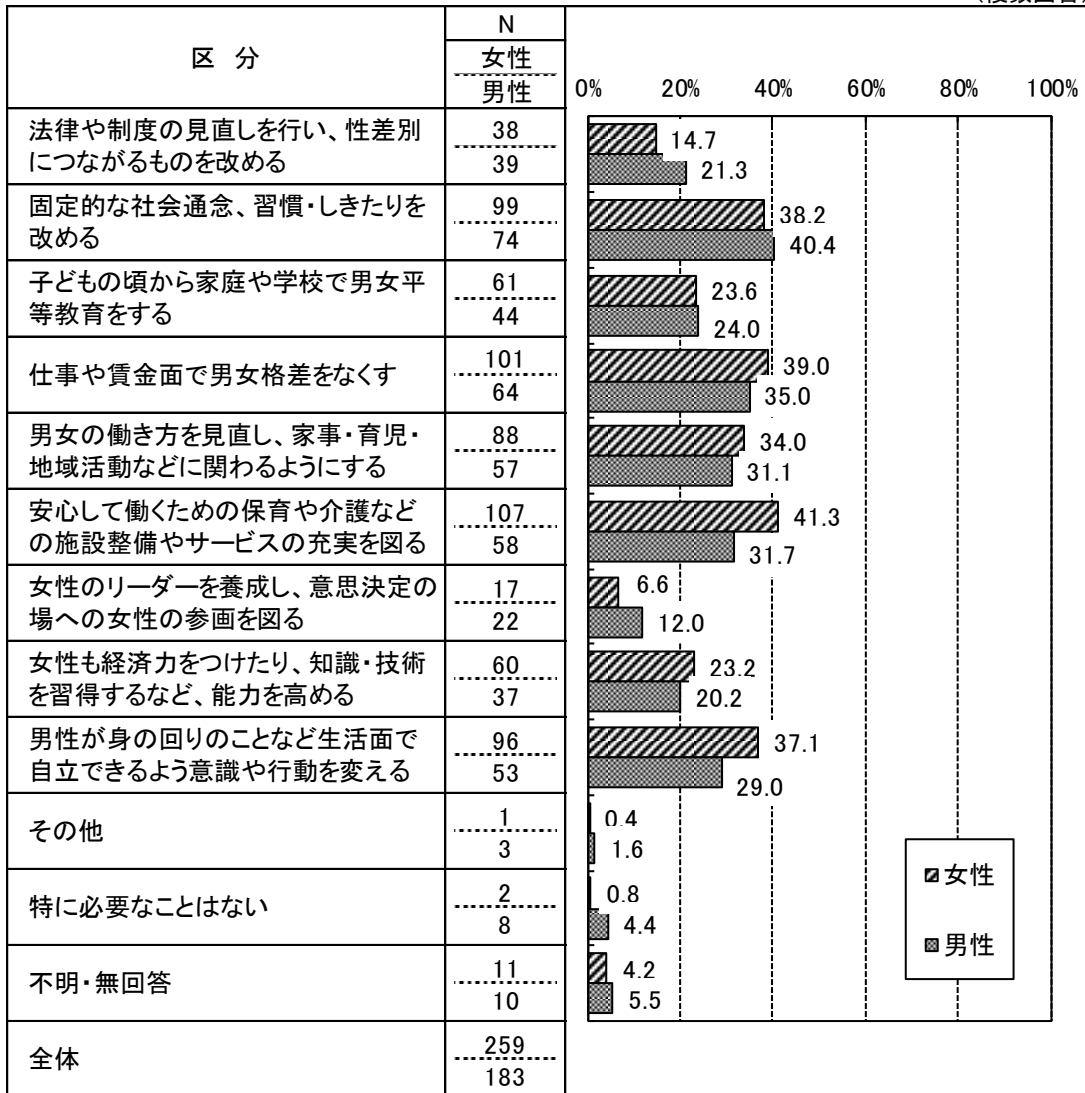
問2 あなたは、今後さらに、男女平等を進めていくためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

(複数回答)



全体では、「固定的な社会通念、習慣・しきたりを改める」が39.1%で最も多く、「安心して働くための保育や介護などの施設整備やサービスの充実を図る」(37.8%)、「仕事や賃金面で男女格差をなくす」(36.9%)がつづいています。

(複数回答)



性別でみると、女性では「安心して働くための保育や介護などの施設整備やサービスの充実」、男性では「固定的な社会観念、習慣・しきたりを改める」が最も多く、4割を超えています。

	合計	法律や制度の見直しを行い、性差別につながるものを改める	固定的な社会通念、習慣・しきたりを改める	子どもの頃から家庭や学校で男女平等教育をする	仕事や賃金面で男女格差をなくす	男女の働き方を見直し、家事・育児・地域活動などに関わるようにする	安心して働くための保育や介護などの施設整備やサービスの充実を図る	女性のリーダーを養成し、意思決定の場への女性の参画を図る	女性も経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、能力を高める	男性が身の回りのことなど生活面で自立できるよう意識や行動を変える	その他	特に必要なことはない	不明・無回答
全体	447	17.2	39.1	23.7	36.9	32.9	37.8	8.9	21.9	33.6	1.1	2.2	4.7
年齢	20歳代	38	21.1	34.2	7.9	44.7	42.1	39.5	5.3	13.2	21.1	2.6	5.3
	30歳代	64	18.8	39.1	20.3	31.3	50.0	28.1	14.1	12.5	32.8	0.0	4.7
	40歳代	92	18.5	45.7	21.7	34.8	40.2	41.3	9.8	17.4	33.7	0.0	2.2
	50歳代	63	12.7	50.8	23.8	46.0	33.3	38.1	6.3	28.6	36.5	1.6	0.0
	60歳代	103	18.4	38.8	28.2	37.9	23.3	48.5	5.8	26.2	35.9	0.0	1.9
	70歳代以上	83	15.7	25.3	31.3	32.5	18.1	24.1	10.8	27.7	36.1	2.4	1.2

年代別にみると、20歳代では「仕事や賃金面で男女格差をなくす」、30歳代では「男女の働き方を見直し、家事・育児・地域活動などに関わるようにする」、40～50歳代では「固定的な社会観念、習慣・しきたりを改める」、60歳代では、「安心して働くための保育や介護などの施設整備やサービスの充実」、70歳代以上では「男性が身の回りのことなど生活面で自立できるよう意識や行動を変える」が最も多くなっています。

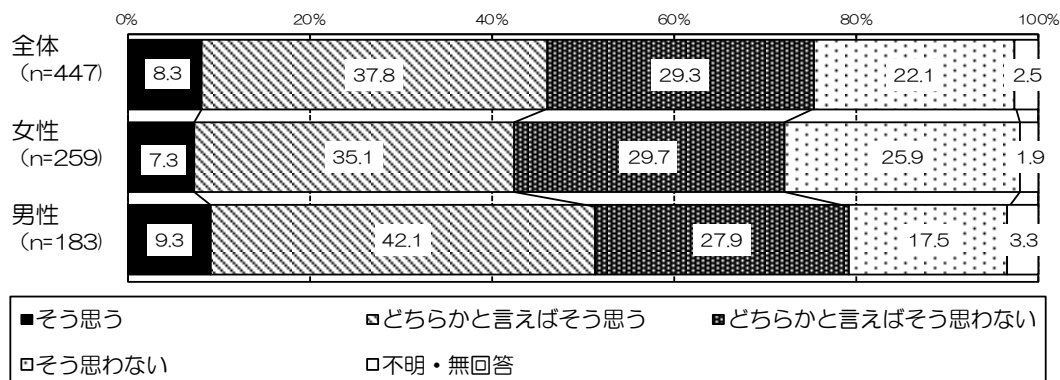
		つながらるものを改める	法律や制度の見直しを行い、性差別に改める	固定的な社会通念、習慣・しきたりを改める	子どもの頃から家庭や学校で男女平等教育をする	仕事や賃金面で男女格差をなくす	男女の働き方を見直し、家事・育児・地域活動などに関わるようにする	安心して働くための保育や介護などの施設整備やサービスの充実を図る	女性のリーダーを養成し、意思決定の場への女性の参画を図る	女性も経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、能力を高める	男性が身の回りのことなど生活面で自立できるよう意識や行動を変える	その他	特に必要なことはない	不明・無回答
平成27年度	全体(n=447)	17.2	39.1	23.7	36.9	32.9	37.8	8.9	21.9	33.6	1.1	2.2	4.7	
	女性(n=259)	14.7	38.2	23.6	39.0	34.0	41.3	6.6	23.2	37.1	0.4	0.8	4.2	
	男性(n=183)	21.3	40.4	24.0	35.0	31.1	31.7	12.0	20.2	29.0	1.6	4.4	5.5	
平成23年度	全体(n=177)	11.9	36.2	23.2	32.2	26.6	50.8	8.5	24.3	30.5	2.3	4.0	1.1	
	女性(n=106)	13.2	33.0	25.5	32.1	33.0	52.8	8.5	24.5	33.0	0.9	2.8	1.9	
	男性(n=71)	9.9	40.8	19.7	32.4	16.9	47.9	8.5	23.9	26.8	4.2	5.6	0.0	
平成16年度	全体(n=726)	21.2	45.0	25.2	33.7	28.8	47.8	6.9	24.1	33.2	2.1	5.2	2.1	
	女性(n=412)	21.4	43.0	23.3	35.7	32.8	49.3	5.8	27.4	36.9	1.2	3.6	1.2	
	男性(n=314)	21.0	47.8	27.7	31.2	23.6	45.9	8.3	19.7	28.3	3.2	7.3	3.2	

資料：「泉大津市男女共同参画に関するアンケート調査」（平成16年・23年実施）

すべての年度で、女性において、「安心して働くための保育や介護などの施設整備やサービスの充実を図る」が最も多くなっています。

3. 家庭生活などについて

問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。



全体では、「どちらかと言えばそう思う」が37.8%で最も多く、「どちらかと言えばそう思わない」(29.3%)、「そう思わない」(22.1%)がつづいています。

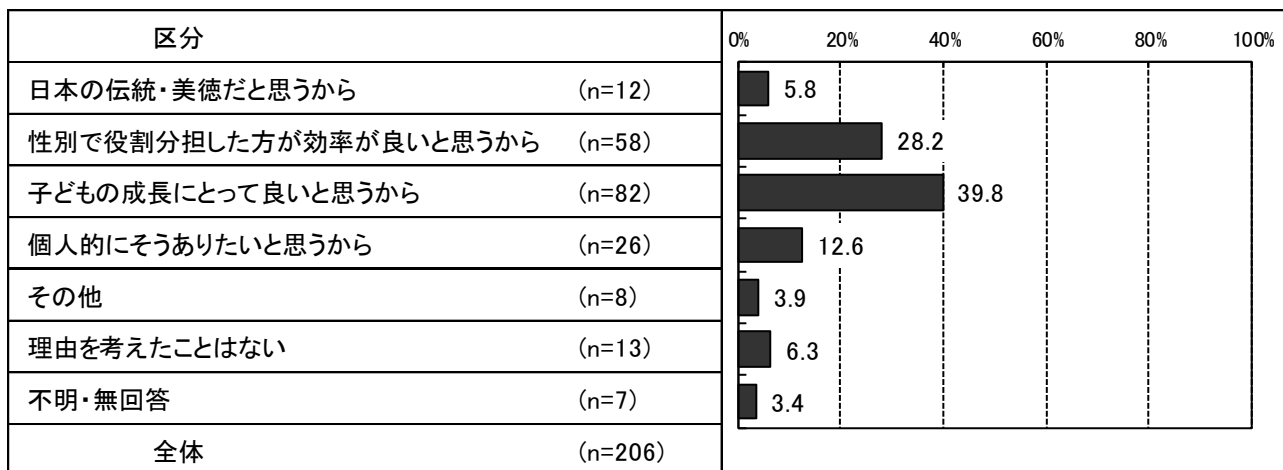
性別では、そう思う人(「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計)は、女性で42.4%、男性で51.4%となっています。

		合計	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		447	8.3	37.8	29.3	22.1	2.5
年齢	20歳代	38	7.9	34.2	31.6	21.1	5.3
	30歳代	64	7.8	32.8	23.4	32.8	3.1
	40歳代	92	3.3	40.2	25.0	30.4	1.1
	50歳代	63	3.2	39.7	28.6	27.0	1.6
	60歳代	103	9.7	41.7	32.0	15.5	1.0
	70歳代以上	83	15.7	34.9	33.7	10.8	4.8

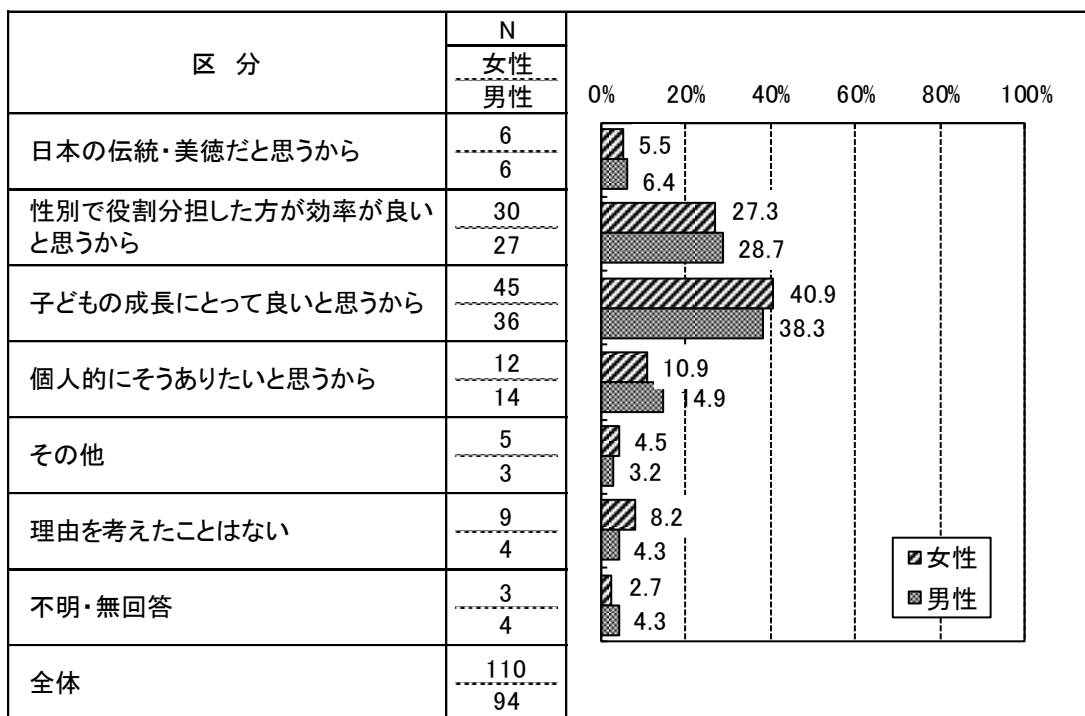
年代別にみると、そう思う人(「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計)は、20～50歳代では4割台であるのに対し、60歳代以上では5割を超えています。

問3で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。

問4 そう思う理由は、次のどれに近いですか。(○は1つ)



全体では、「子どもの成長にとって良いと思ふから」が39.8%で最も多く、「性別で役割分担した方が効率が良いと思ふから」(28.2%)、「個人的にそうありたいと思ふから」(12.6%)がつづいています。



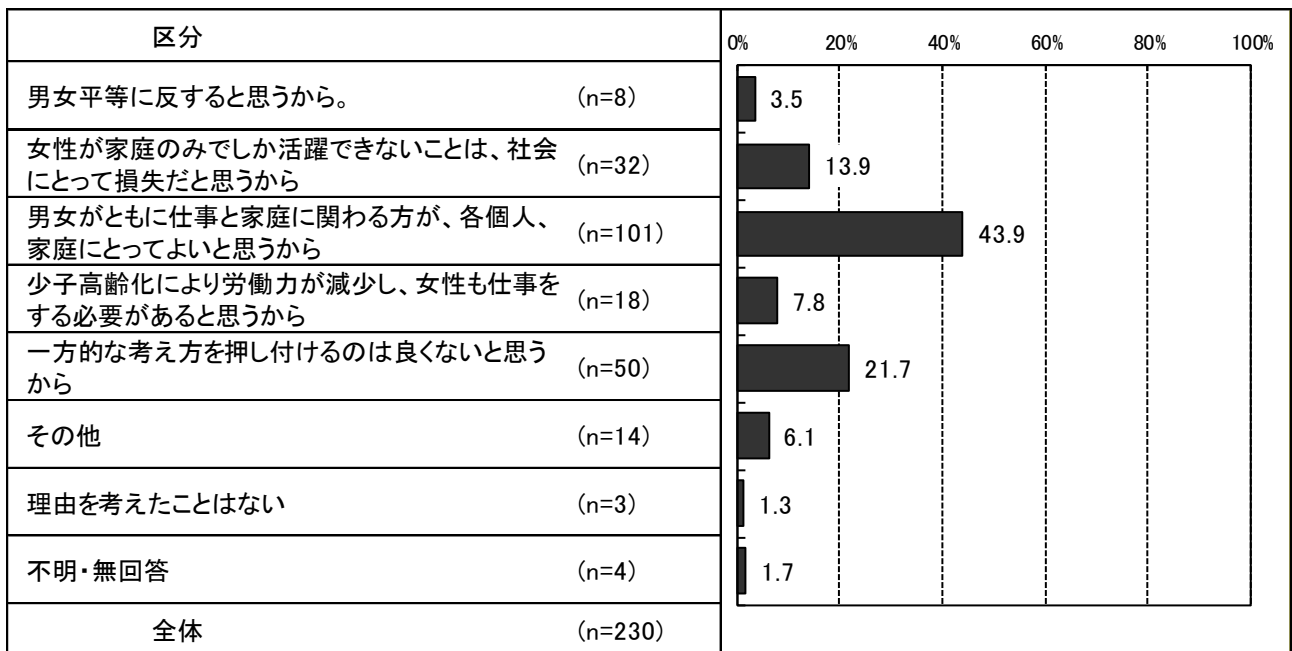
性別にみると、男女とも「子どもの成長にとって良いと思ふから」が4割程度で最も多くなっています。

	合計	日本の伝統・美徳だと思うから	性別で役割分担した方が効率が良いと思うから	子どもの成長にとって良いと思うから	個人的にそうありたいと思うから	その他	理由を考えたことはない	不明・無回答	非該当
全体	206	5.8	28.2	39.8	12.6	3.9	6.3	3.4	
年齢	20歳代	16	12.5	12.5	50.0	6.3	6.3	6.3	6.3
	30歳代	26	3.8	26.9	26.9	7.7	7.7	23.1	3.8
	40歳代	40	5.0	20.0	47.5	12.5	5.0	2.5	7.5
	50歳代	27	3.7	33.3	40.7	18.5	3.7	0.0	0.0
	60歳代	53	3.8	37.7	37.7	11.3	1.9	5.7	1.9
	70歳代以上	42	9.5	26.2	38.1	16.7	2.4	4.8	2.4

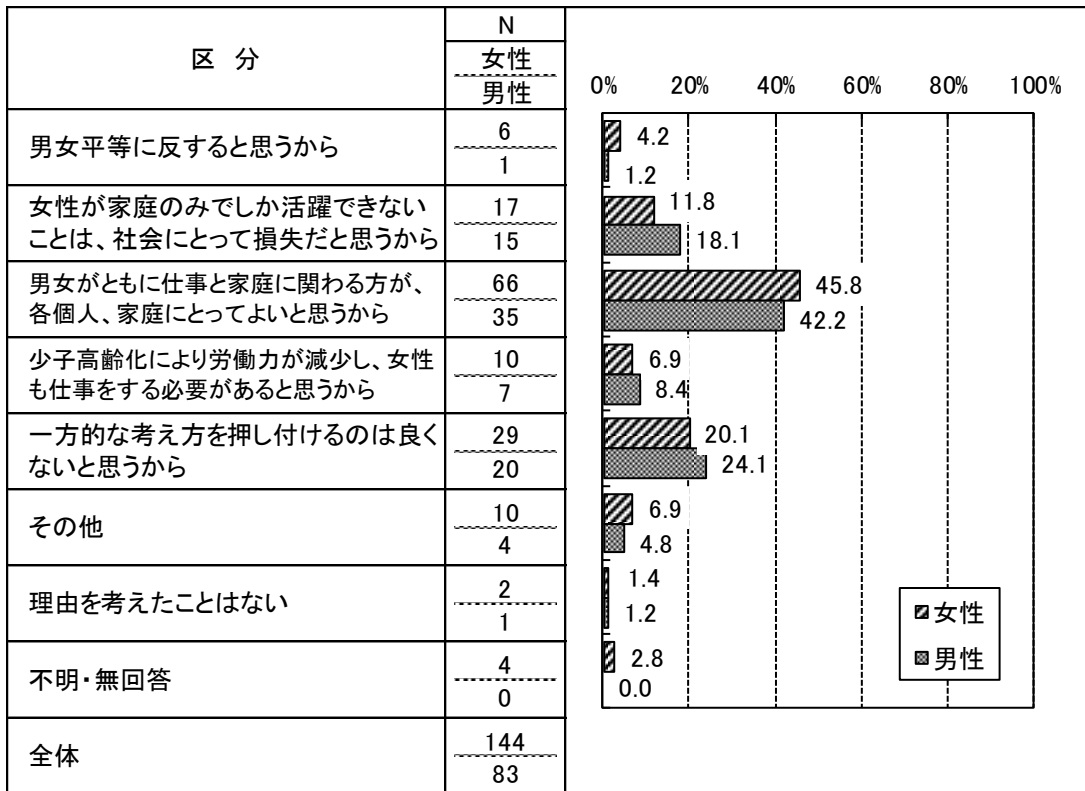
年代別にみると、すべての年代で「子どもの成長にとって良いと思うから」が最も多くなっています。なお、60歳代では「性別で役割分担した方が効率が良いと思うから」が同位となっています。

問3で「3」または「4」と回答した方にお聞きします。

問5 そう思わない理由は、次のどれに近いですか。(○は1つ)



全体では、「男女がともに仕事と家庭に関わる方が、各個人、家庭にとってよいと思うから」が43.9%で最も多く、「一方的な考え方を押し付けるのは良くないと思うから」(21.7%)、「女性が家庭のみでしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思うから」(13.9%)がつづいています。

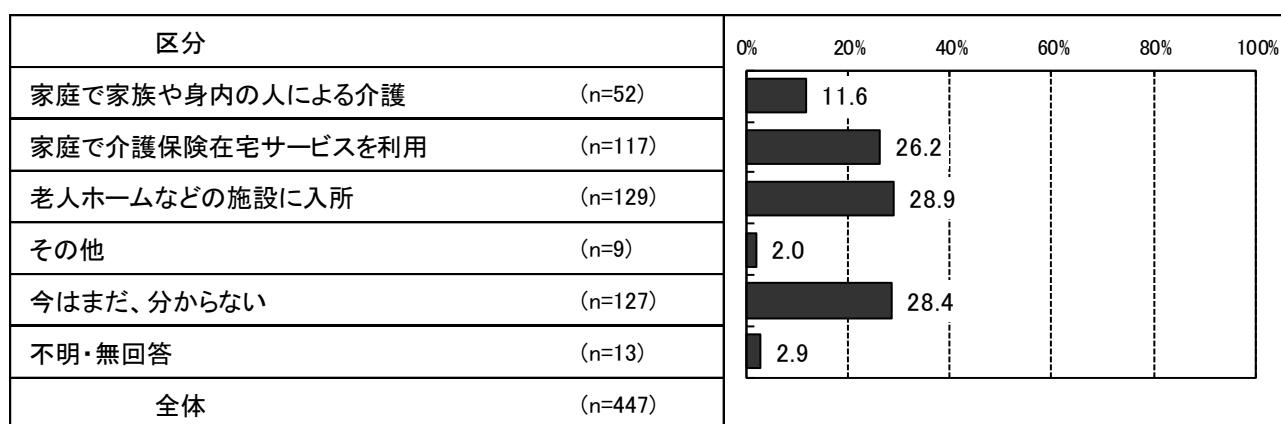


性別にみると、男女とも「男女がともに仕事と家庭に関わる方が、各個人、家庭によってよいと思うから」が4割で最も多くなっています。

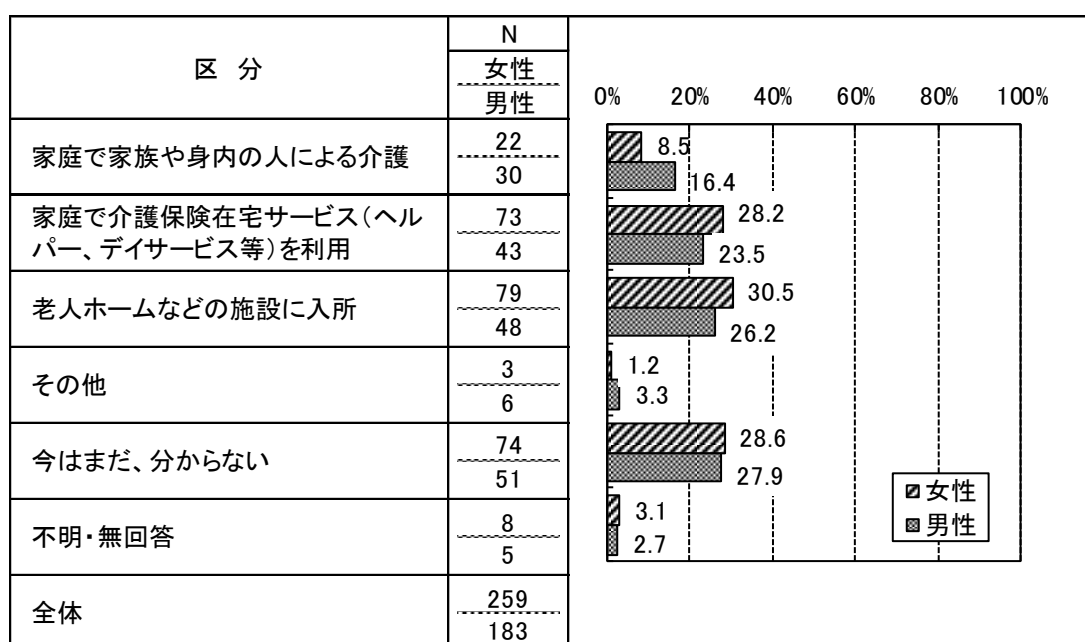
	合計	男女平等に反すると思うから。	女性が家庭のみでしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思うから	男女がともに仕事と家庭に関わる方が、各個人、家庭にとってよいと思うから	少子高齢化により労働力が減少し、女性も仕事をする必要があると思うから	一方的な考え方を押し付けるのは良くないと思うから	その他	理由を考えたことはない	不明・無回答	
全体	230	3.5	13.9	43.9	7.8	21.7	6.1	1.3	1.7	
年齢	20歳代	20	10.0	10.0	25.0	10.0	25.0	15.0	5.0	0.0
	30歳代	36	5.6	13.9	36.1	8.3	25.0	11.1	0.0	0.0
	40歳代	51	5.9	9.8	45.1	7.8	19.6	11.8	0.0	0.0
	50歳代	35	0.0	20.0	42.9	5.7	31.4	0.0	0.0	0.0
	60歳代	49	0.0	18.4	53.1	6.1	16.3	2.0	2.0	2.0
70歳代以上	37	2.7	10.8	48.6	10.8	16.2	0.0	2.7	8.1	

年代別にみると、すべての年代で「男女がともに仕事と家庭に関わる方が、各個人、家庭によってよいと思うから」が最も多くなっています。なお、20歳代では「一方的な考え方を押し付けるのは良くないと思うから」が同位となっています。

問6 あなたがもし、介護が必要になった場合、どのように身の回りの世話をしてもらいたと思いますか。(〇は1つ)



全体では、「老人ホームなどの施設に入所」が 28.9%で最も多く、「今はまだ、分からない」(28.4%)、「家庭で介護保険在宅サービス（ヘルパー、デイサービス等）を利用」(26.2%)がつづいています。



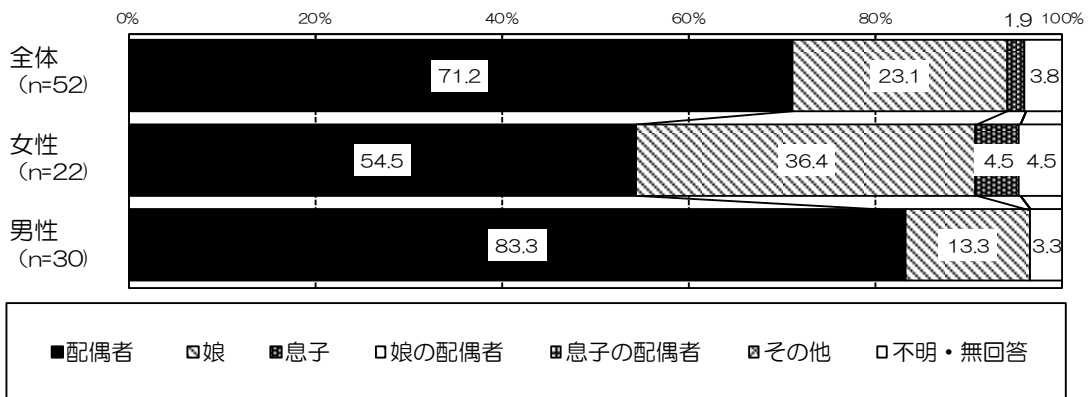
性別にみると、女性では「老人ホームなどの施設に入所」、男性では「今はまだ、分からない」が最も多くなっています。

		合計	家庭で家族 や身内の人 による介護	家庭で介護 保険在宅 サービス (ヘル パー、デイ サービス 等)を利用	老人ホーム などの施設 に入所	その他	今はまだ、 分からない	不明・無回 答
全体		447	11.6	26.2	28.9	2.0	28.4	2.9
年齢	20歳代	38	7.9	13.2	31.6	2.6	42.1	2.6
	30歳代	64	10.9	29.7	28.1	3.1	26.6	1.6
	40歳代	92	9.8	31.5	34.8	1.1	21.7	1.1
	50歳代	63	11.1	15.9	34.9	1.6	36.5	0.0
	60歳代	103	12.6	32.0	24.3	1.9	27.2	1.9
	70歳代以上	83	15.7	24.1	22.9	2.4	25.3	9.6

年代別にみると、20・50歳代で「今はまだ、分からない」、40歳代で「老人ホームなどの施設に入所」、30・60歳代以上で「家庭で介護保険在宅サービス（ヘルパー、デイサービス等）を利用」が最も多くなっています。

問6で「1」と回答した方にお聞きします。

問6-1 主に家族の誰に介護してほしいと思いますか。(○は1つ)



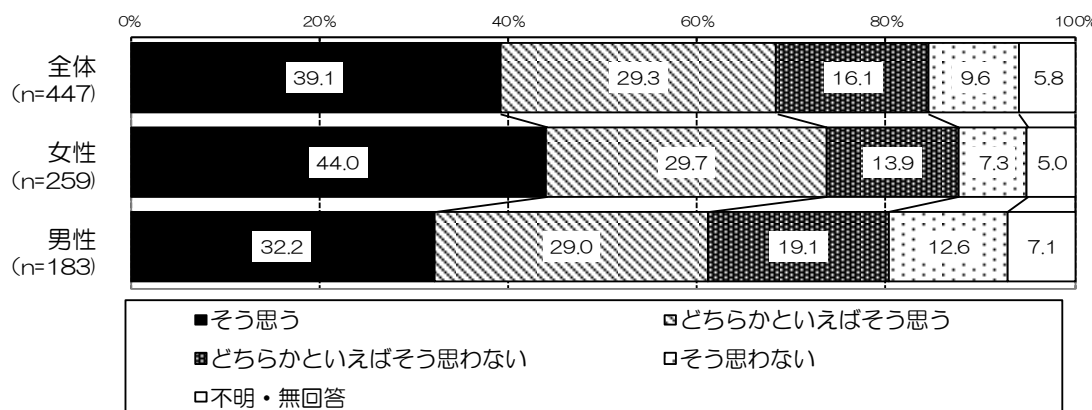
全体では、「配偶者」が71.2%で最も多く、「娘」(23.1%)、「息子」(1.9%)がつづいています。性別では、男女とも「配偶者」が最も多く、女性では5割台、男性では8割台となっています。

		合計	配偶者	娘	息子	娘の配偶者	息子の配偶者	その他	不明・無回 答
全体		52	71.2	23.1	1.9	0.0	0.0	0.0	3.8
年齢	20歳代	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	7	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	9	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代	7	57.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6
	60歳代	13	76.9	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代以上	13	69.2	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0

年代別にみると、すべての年代で「配偶者」が5～7割台で最も多く、次いで「娘」となっています。

問7 次のような考え方について、あなたはどのように思いますか。

① 結婚は個人の自由、してもしなくてもよい

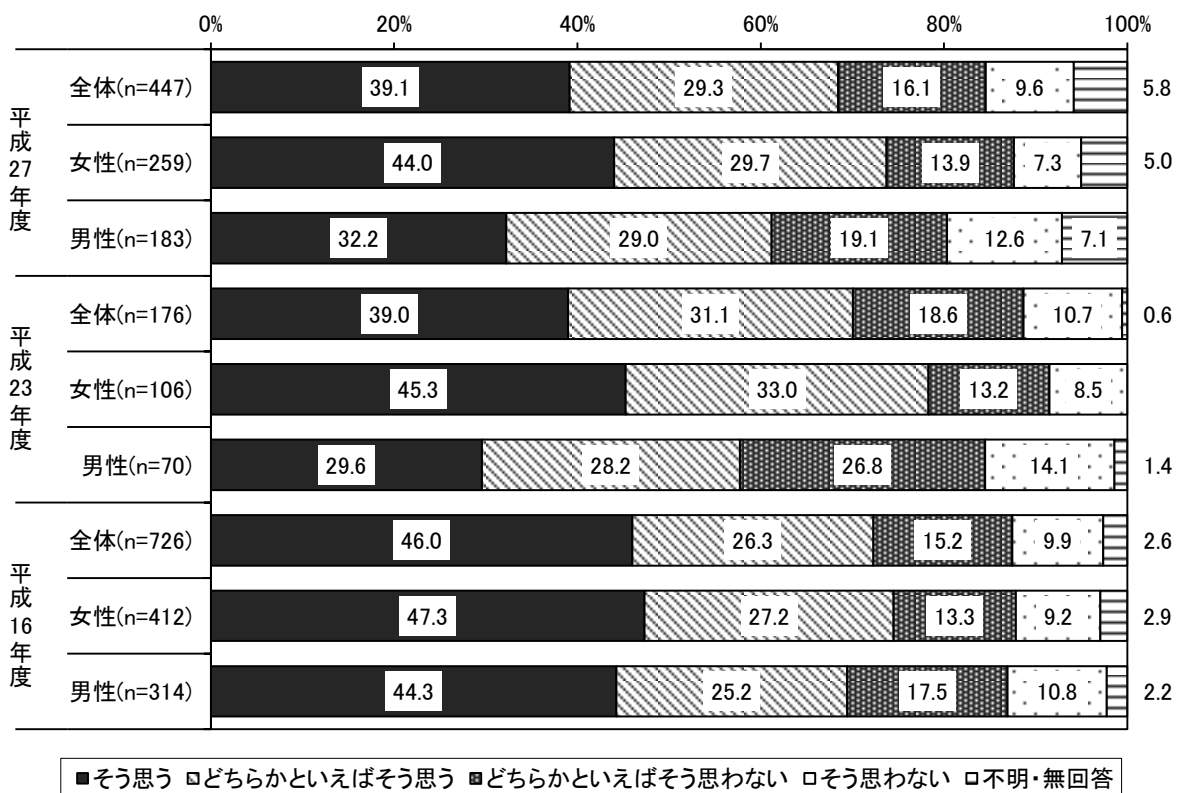


全体では、「そう思う」が39.1%で最も多く、「どちらかといえばそう思う」(29.3%)、「どちらかといえばそう思わない」(16.1%)がつづいています。

性別では、そう思う人(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は、女性で73.7%、男性で61.2%となっています。

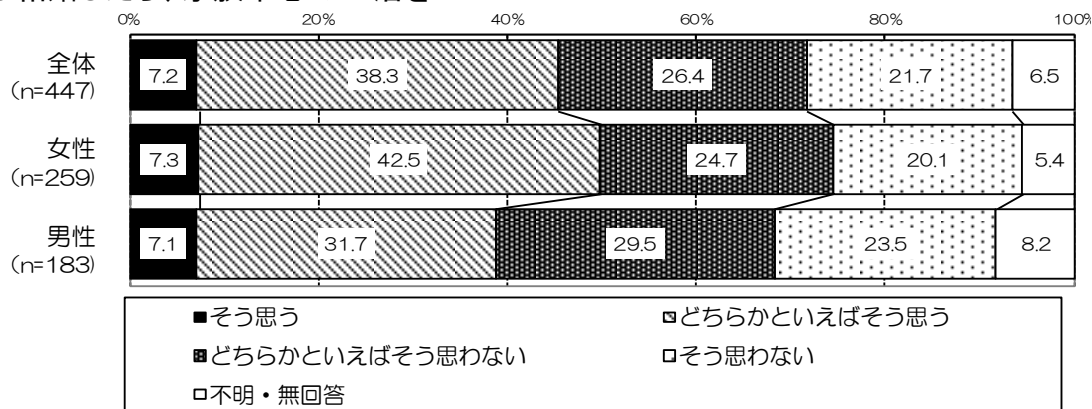
		合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		447	39.1	29.3	16.1	9.6	5.8
年齢	20歳代	38	52.6	31.6	7.9	5.3	2.6
	30歳代	64	60.9	25.0	9.4	1.6	3.1
	40歳代	92	45.7	30.4	18.5	4.3	1.1
	50歳代	63	46.0	27.0	15.9	11.1	0.0
	60歳代	103	28.2	35.9	21.4	10.7	3.9
	70歳代以上	83	16.9	24.1	16.9	20.5	21.7

年代別にみると、20～30歳代でそう思う人(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が8割台となっています。



各年度で、女性において「そう思う」が4割台となっています。

② 女性は結婚したら、家族中心の生活を

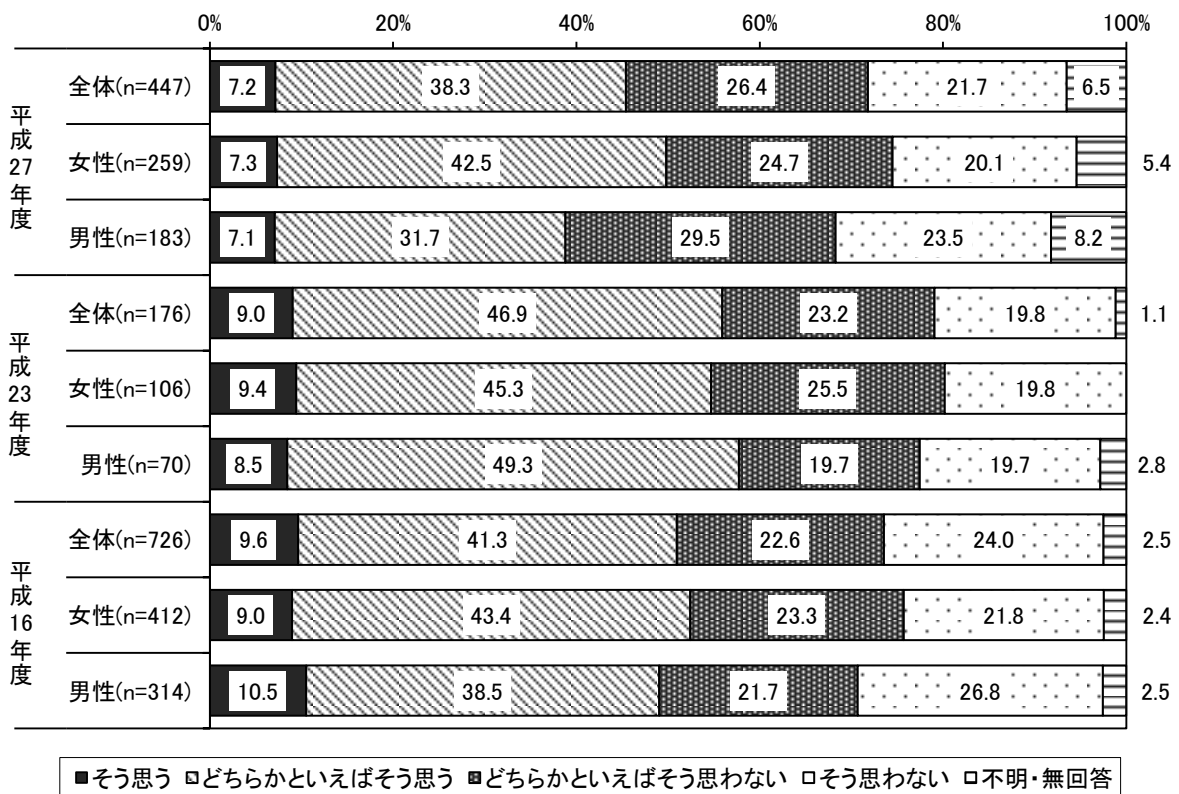


全体では、「どちらかといえばそう思う」が38.3%で最も多く、「どちらかといえばそう思わない」(26.4%)、「そう思わない」(21.7%)がつづいています。

性別では、そう思う人(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は、女性で49.8%、男性で38.8%となっています。

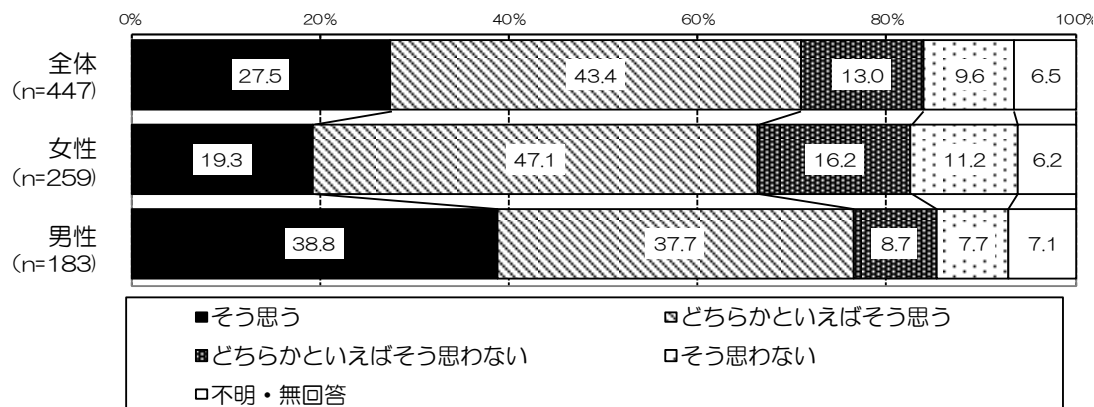
		合計	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		447	7.2	38.3	26.4	21.7	6.5
年齢	20歳代	38	2.6	39.5	31.6	23.7	2.6
	30歳代	64	10.9	31.3	32.8	21.9	3.1
	40歳代	92	7.6	35.9	27.2	27.2	2.2
	50歳代	63	3.2	47.6	23.8	25.4	0.0
	60歳代	103	4.9	35.9	30.1	25.2	3.9
	70歳代以上	83	12.0	42.2	16.9	4.8	24.1

年代別にみると、20～40、60歳代でそう思う人（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）がそう思わない人（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）を下回っています。



女性において、そう思う人（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、各年度で4～5割台となっています。

③ 妻子を養うのは男の責任である

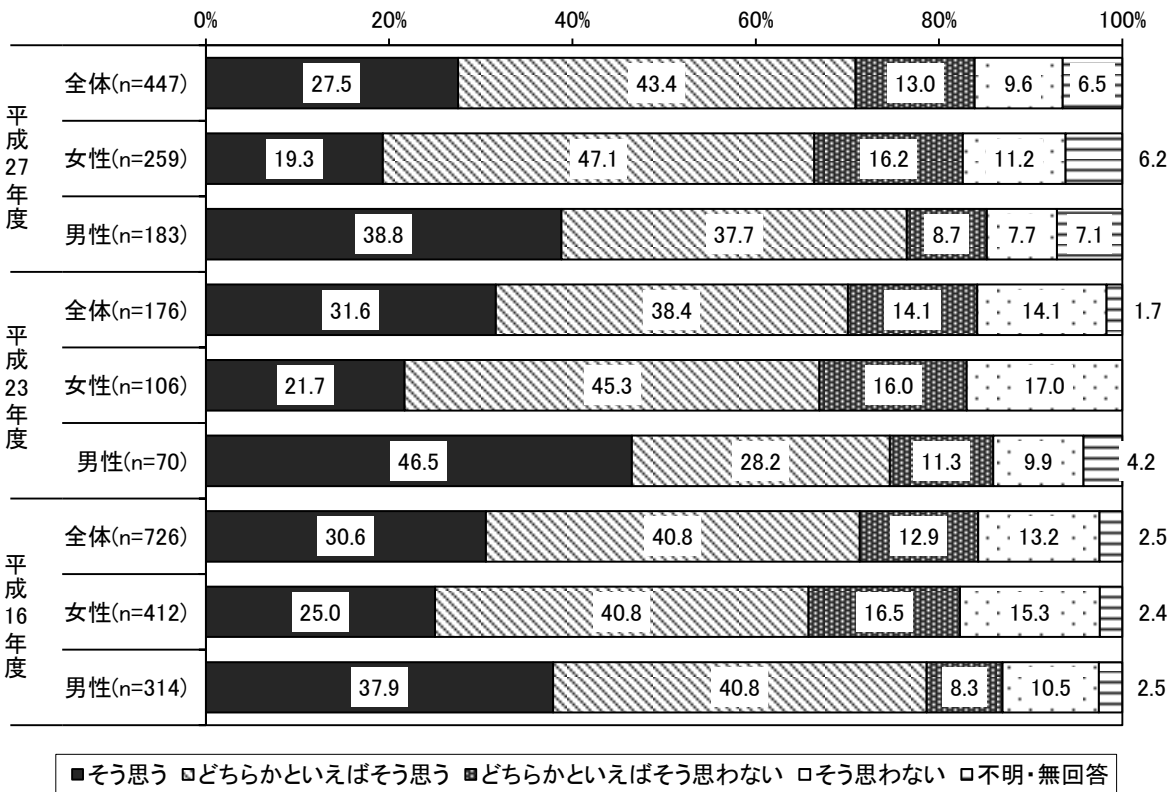


全体では、「どちらかといえばそう思う」が43.4%で最も多く、「そう思う」(27.5%)、「どちらかといえばそう思わない」(13.0%)がつづいています。

性別では、そう思う人(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は、女性で66.4%、男性で76.5%となっています。

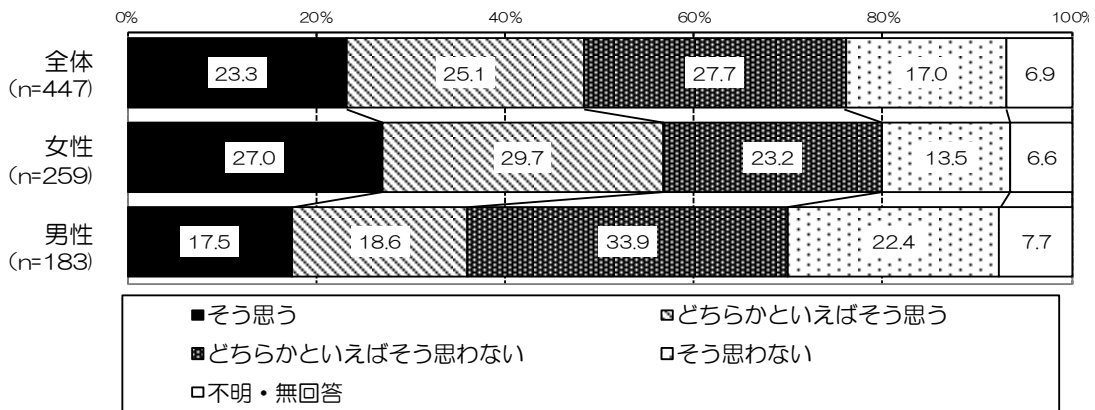
		合計	そう思う	どちらか といえばそう 思う	どちらか といえばそう 思わない	そう思わな い	不明・無回 答
全体		447	27.5	43.4	13.0	9.6	6.5
年齢	20歳代	38	28.9	36.8	18.4	13.2	2.6
	30歳代	64	35.9	43.8	12.5	6.3	1.6
	40歳代	92	25.0	46.7	9.8	15.2	3.3
	50歳代	63	22.2	60.3	7.9	9.5	0.0
	60歳代	103	25.2	35.9	21.4	11.7	5.8
	70歳代以上	83	28.9	39.8	7.2	2.4	21.7

年代別にみると、30～50歳代でそう思う人(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が7～8割台となっています。



女性において、そう思う人（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、各年度で6割台となっています。

④ 必ずしも子どもを持つ必要はない

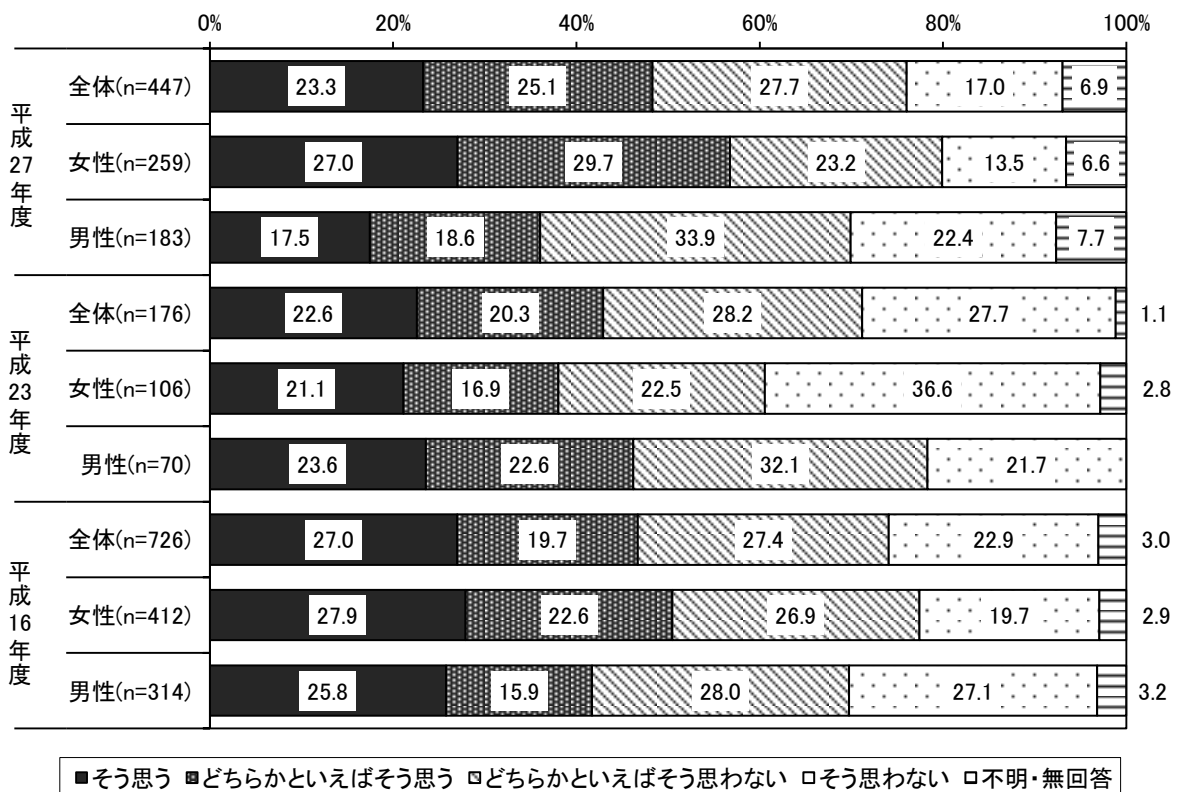


全体では、「どちらかといえばそう思わない」が27.7%で最も多く、「どちらかといえばそう思う」(25.1%)、「そう思う」(23.3%)が続いています。

性別では、女性で「どちらかといえばそう思う」、男性で「どちらかといえばそう思わない」が最も多くなっています。

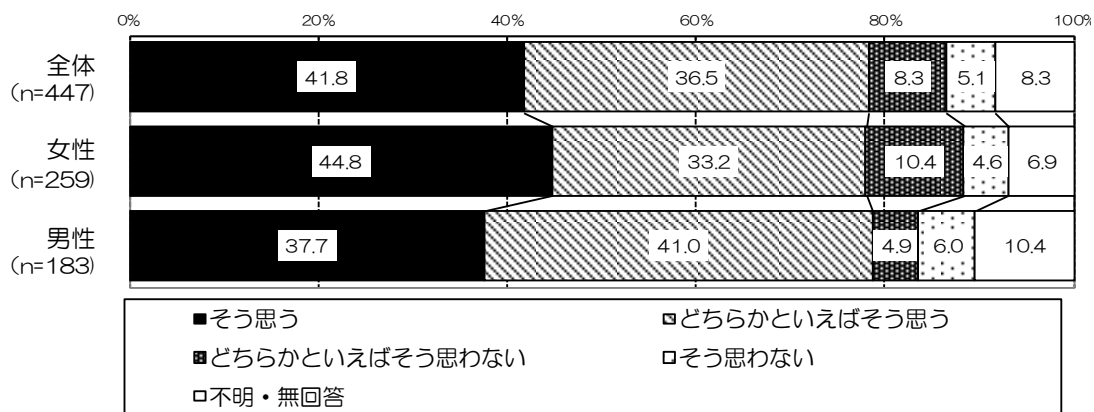
		合計	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	不明・無回 答
全体		447	23.3	25.1	27.7	17.0	6.9
年齢	20歳代	38	34.2	28.9	23.7	10.5	2.6
	30歳代	64	39.1	29.7	18.8	7.8	4.7
	40歳代	92	28.3	35.9	17.4	14.1	4.3
	50歳代	63	27.0	30.2	25.4	17.5	0.0
	60歳代	103	15.5	20.4	36.9	23.3	3.9
	70歳代以上	83	6.0	10.8	37.3	22.9	22.9

年代別にみると、20～50歳代でそう思う人（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）がそう思わない人（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）を上回っています。



女性において、そう思う人（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、平成16・27年度で5割台となっています。

⑤ 子どもを産むのは女性の意思を尊重すべき

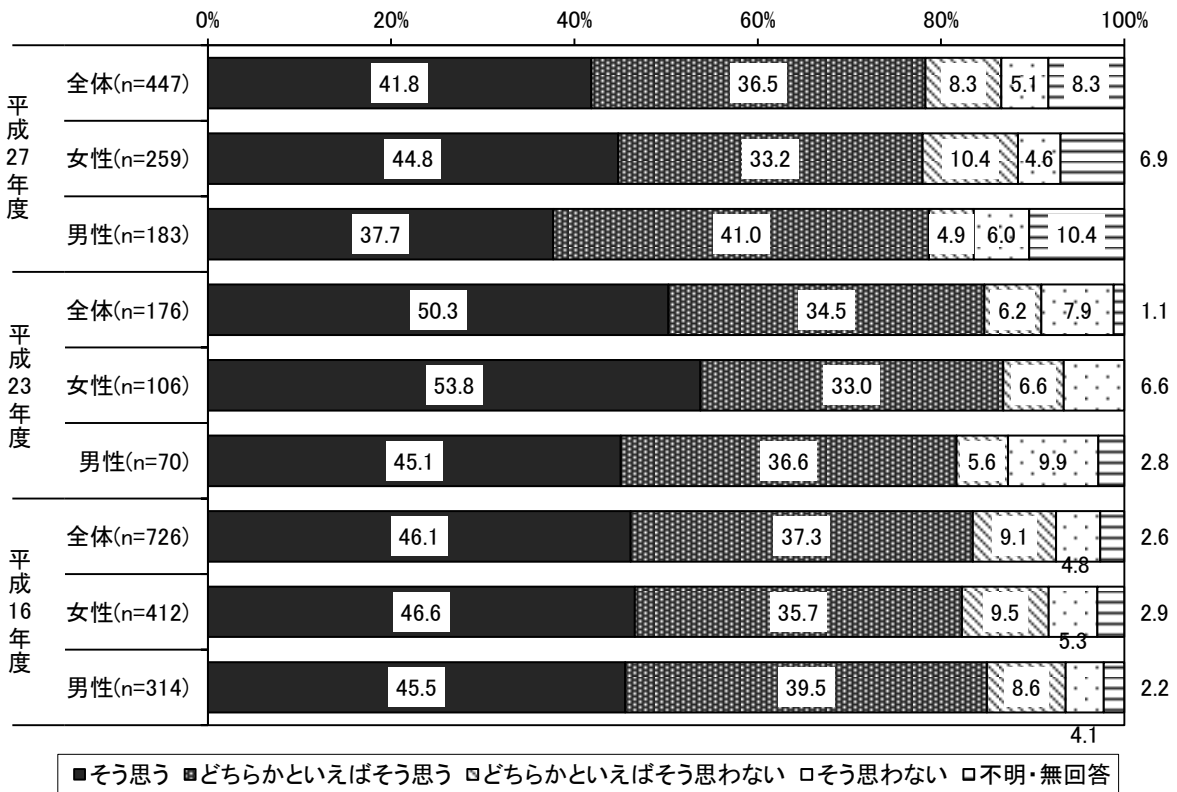


全体では、「そう思う」が41.8%で最も多く、「どちらかといえばそう思う」(36.5%)、「どちらかといえばそう思わない」(8.3%)がつづいています。

性別では、男女とも、そう思う人（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が約78%となっています。

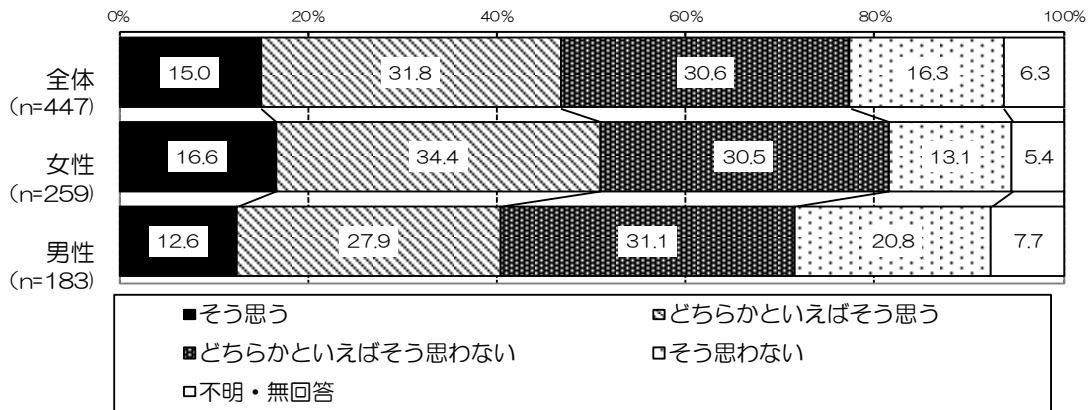
		合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		447	41.8	36.5	8.3	5.1	8.3
年齢	20歳代	38	42.1	42.1	5.3	7.9	2.6
	30歳代	64	50.0	34.4	7.8	3.1	4.7
	40歳代	92	42.4	35.9	9.8	5.4	6.5
	50歳代	63	55.6	36.5	6.3	1.6	0.0
	60歳代	103	37.9	40.8	10.7	6.8	3.9
	70歳代以上	83	30.1	30.1	6.0	6.0	27.7

年代別にみると、50歳代でそう思う人（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が9割台となっており、他の年代に比べて多くなっています。



男性において、そう思う人（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、年々減少しています。

⑥ 相手に満足できないときは離婚すればよい

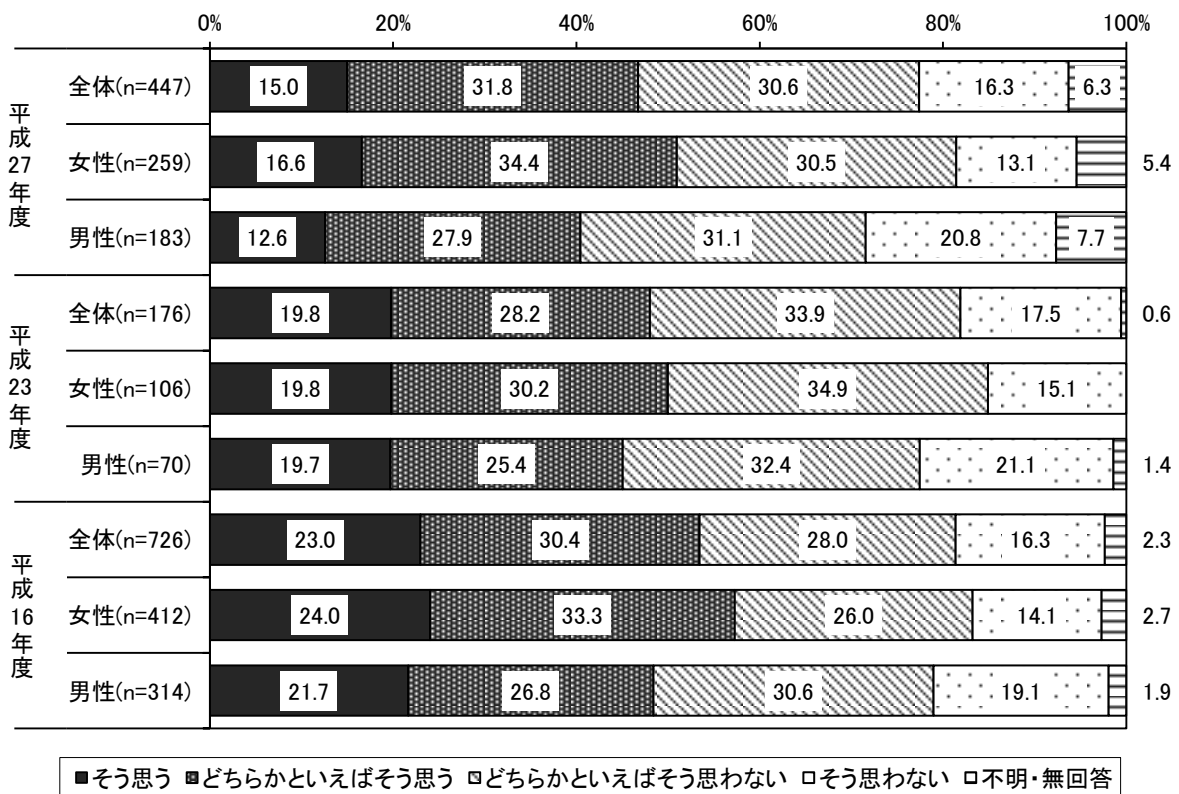


全体では、「どちらかといえばそう思う」が31.8%で最も多く、「どちらかといえばそう思わない」(30.6%)、「そう思わない」(16.3%)がつづいています。

性別では、女性で「どちらかといえばそう思う」、男性で「どちらかといえばそう思わない」が最も多くなっています。

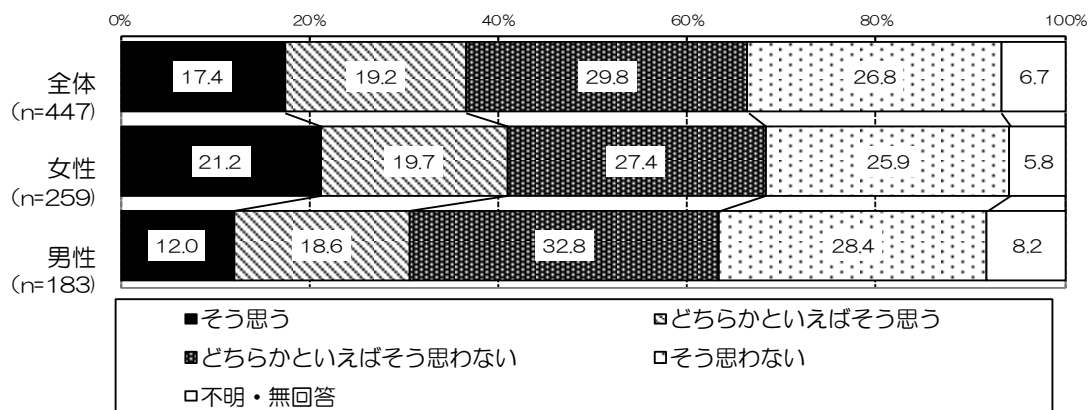
		合計	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わな い	不明・無回 答
全体		447	15.0	31.8	30.6	16.3	6.3
年齢	20歳代	38	21.1	23.7	34.2	18.4	2.6
	30歳代	64	20.3	29.7	26.6	20.3	3.1
	40歳代	92	19.6	33.7	32.6	13.0	1.1
	50歳代	63	19.0	42.9	30.2	7.9	0.0
	60歳代	103	10.7	36.9	30.1	20.4	1.9
	70歳代以上	83	6.0	20.5	30.1	16.9	26.5

年代別にみると、30～50歳代でそう思う人（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、そう思わない人（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）を上回っています。



男性において、そう思う人（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、年々減少しています。

⑦ 夫婦は別の姓を名乗ってもよい

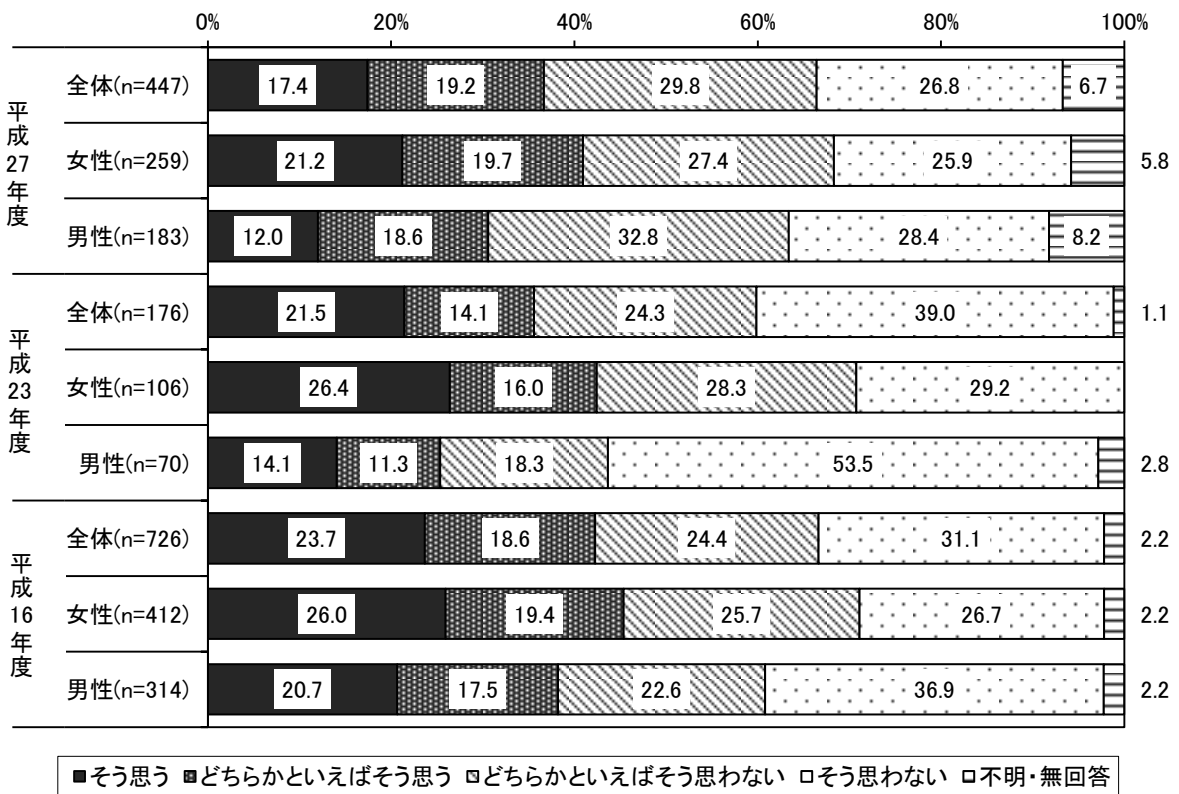


全体では、「どちらかといえばそう思わない」が29.8%で最も多く、「そう思わない」(26.8%)、「どちらかといえばそう思う」(19.2%)が続いています。

性別では、そう思う人（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、女性で40.9%、男性で30.6%となっています。

		合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		447	17.4	19.2	29.8	26.8	6.7
年齢	20歳代	38	23.7	18.4	28.9	26.3	2.6
	30歳代	64	20.3	23.4	34.4	18.8	3.1
	40歳代	92	22.8	25.0	31.5	17.4	3.3
	50歳代	63	27.0	19.0	31.7	22.2	0.0
	60歳代	103	11.7	18.4	32.0	34.0	3.9
	70歳代以上	83	7.2	10.8	19.3	38.6	24.1

年代別にみると、すべての年代でそう思わない人（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）が、そう思う人（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）を上回っています。

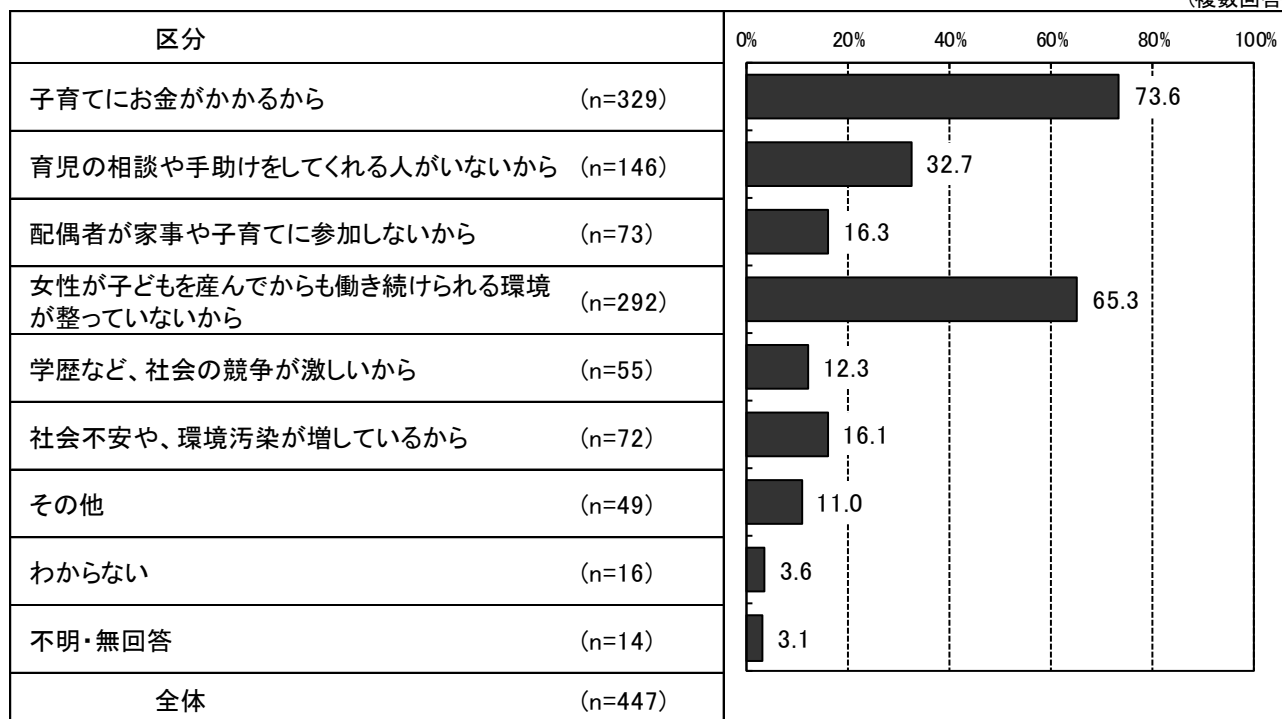


そう思う人（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、各年度、女性が男性を上回っています。

4. 子育て・教育について

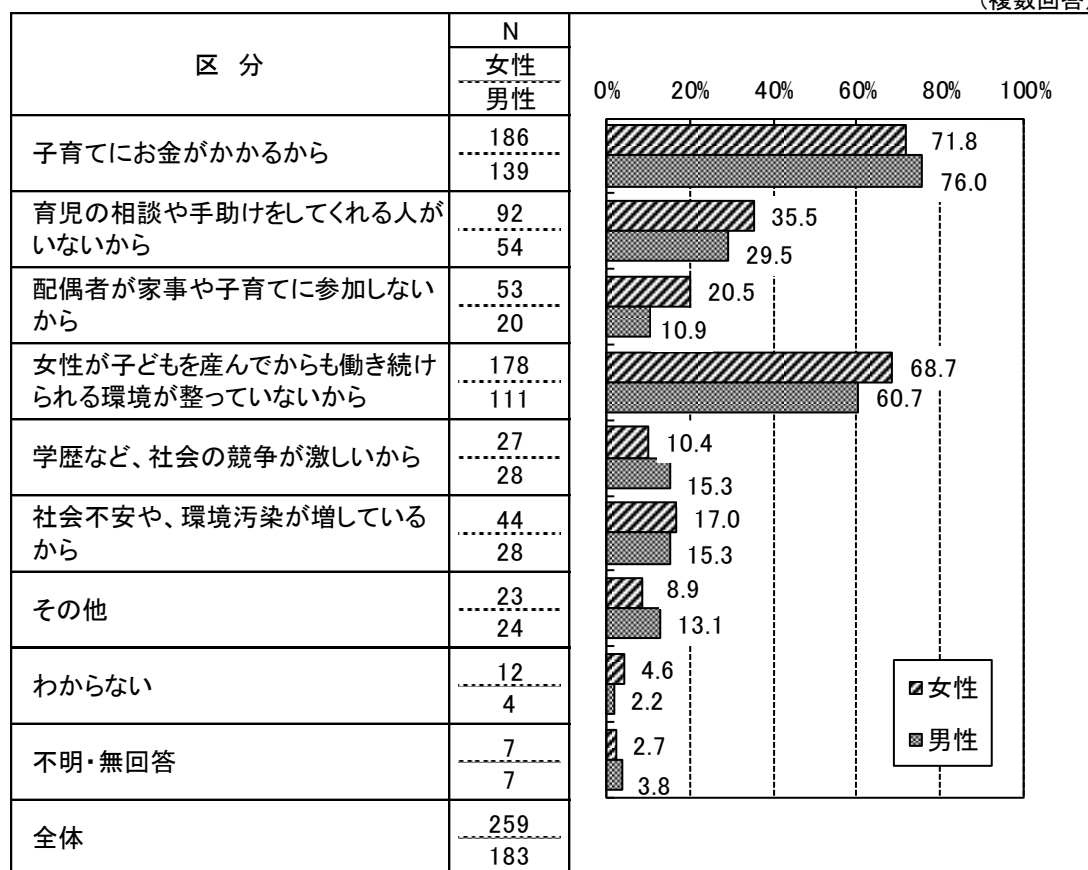
問8 日本では少子化がすすんでいます、その原因は何だと思いますか。(〇は3つまで)

(複数回答)



全体では、「子育てにお金がかかるから」が73.6%で最も多く、「女性が子どもを産んでからも働き続けられる環境が整っていないから」(65.3%)、「育児の相談や手助けをしてくれる人がいないから」(32.7%)がつついています。

(複数回答)



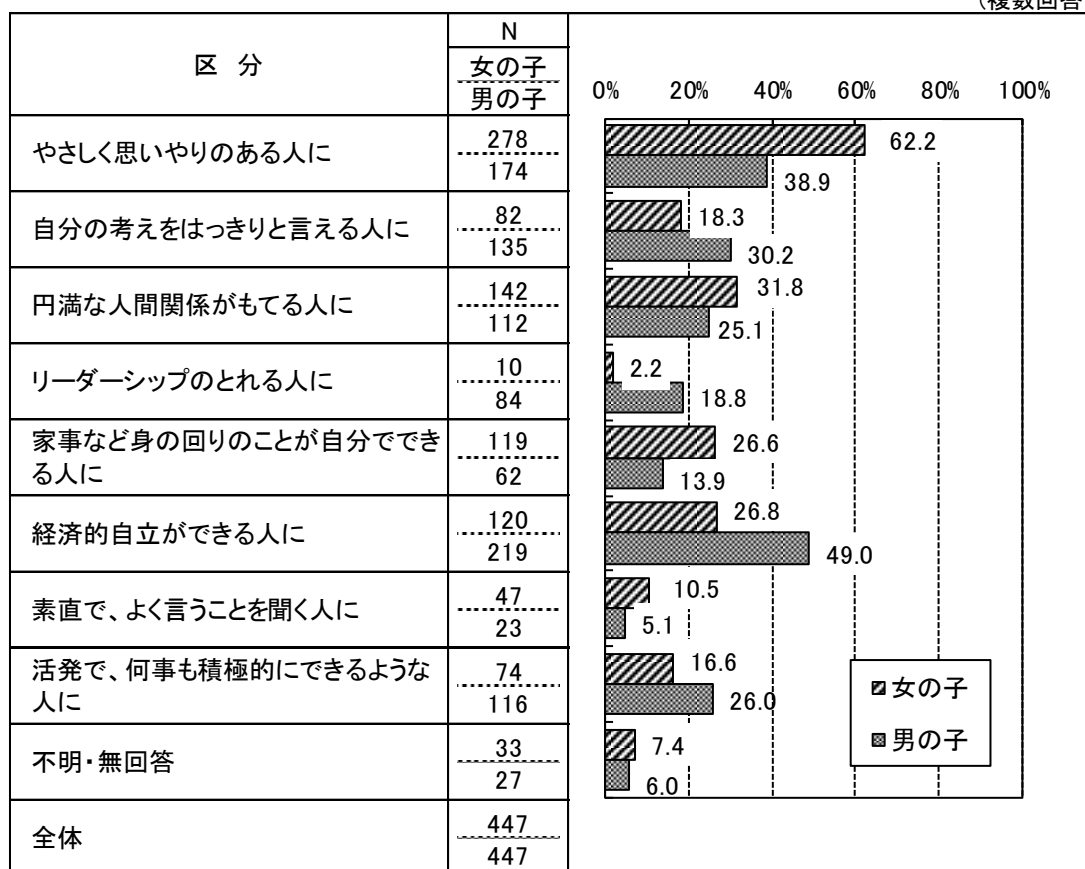
性別にみると、男女とも「子育てにお金がかかるから」が7割台で最も多く、「女性が子どもを産んでからも働き続けられる環境が整っていないから」がつづいています。

	合計	子育てにお金がかかるから	育児の相談や手助けをしてくれる人がいないから	配偶者が家事や子育てに参加しないから	女性が子どもを産んでからも働き続けられる環境が整っていないから	学歴など、社会の競争が激しいから	社会不安や、環境汚染が増しているから	その他	わからない	不明・無回答	
全体	447	73.6	32.7	16.3	65.3	12.3	16.1	11.0	3.6	3.1	
年齢	20歳代	38	84.2	42.1	13.2	57.9	10.5	13.2	15.8	0.0	2.6
	30歳代	64	78.1	29.7	17.2	65.6	10.9	12.5	12.5	1.6	1.6
	40歳代	92	77.2	32.6	21.7	66.3	8.7	16.3	15.2	3.3	2.2
	50歳代	63	82.5	30.2	23.8	76.2	14.3	19.0	6.3	1.6	0.0
	60歳代	103	66.0	36.9	13.6	65.0	13.6	18.4	5.8	3.9	3.9
	70歳代以上	83	63.9	28.9	9.6	59.0	15.7	14.5	10.8	8.4	7.2

年代別にみると、すべての年代で「子育てにお金がかかるから」が6～8割台で最も多くなっています。

問9 あなたは、子どもたちがどのように育ったらいいと思いますか。現在子どもがいない方も、いる場合を想定してお答えください。

(複数回答)

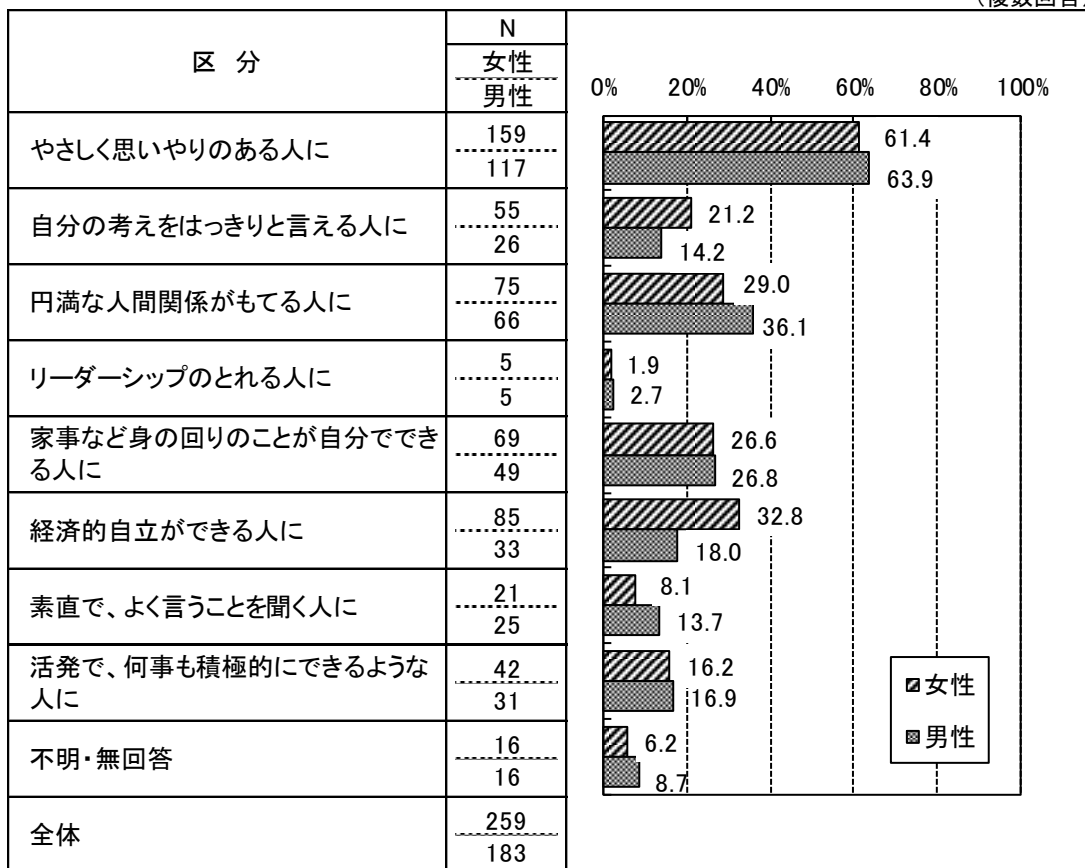


女の子に期待する人間像では、「やさしく思いやりのある人に」が62.2%で最も多く、「円満な人間関係がもてる人に」(31.8%)、「経済的自立ができる人に」(26.8%)がつづいています。

男の子に期待する人間像では、「経済的自立ができる人に」が49.0%で最も多く、「やさしく思いやりのある人に」(38.9%)、「自分の考えをはっきりと言える人に」(30.2%)がつづいています。

■女の子に期待する人物像

(複数回答)

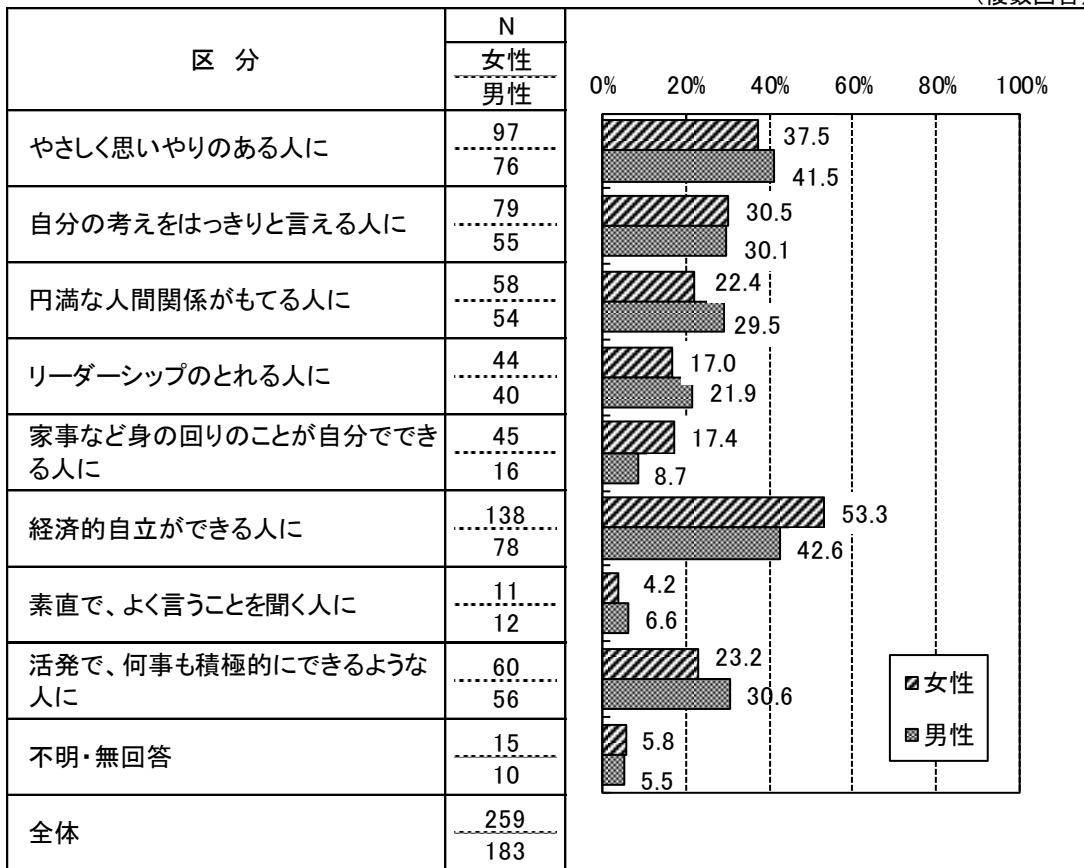


女の子に期待する人物像について性別にみると、男女とも「やさしく思いやりのある人に」が6割台で最も多くなっています。

また、「経済的自立ができる人に」では女性が32.8%であるのに対し、男性が18.0%で、約15ポイントの差がみられます。

■男の子に期待する人物像

(複数回答)



男の子に期待する人物像について性別にしてみると、「経済的自立ができる人に」が男女とも最も多くなっていますが、女性の方が男性に比べて多くなっています。

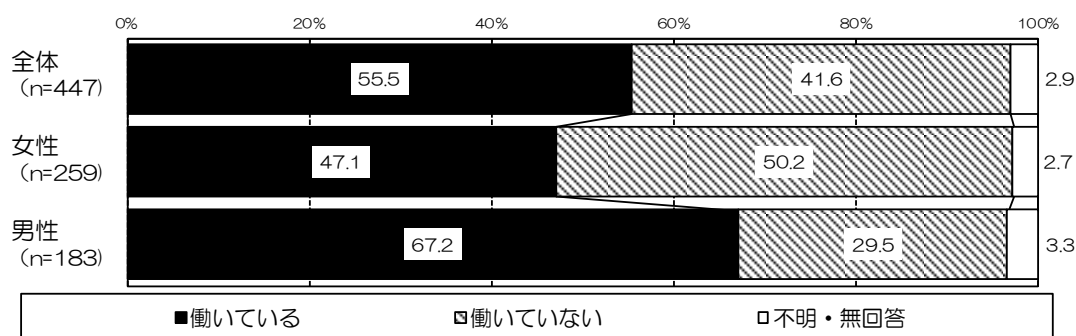
		やさしく思いやりのある人に	自分の考えをはっきりと言える人に	円満な人間関係がもてる人に	リーダーシップのとれる人に	家事など身の回りのことが自分でできる人に	経済的自立ができる人に	素直で、よく言うことを聞く人に	活発で、何事も積極的にできるような人に	不明・無回答
女の子	平成 27 年(n=447)	62.2	18.3	31.8	2.2	26.6	26.8	10.5	16.6	7.4
	平成 23 年(n=177)	62.1	17.5	25.4	0.0	18.1	20.3	6.8	11.3	13.6
	平成 16 年(n=726)	60.7	19.6	26.6	1.0	19.4	16.8	8.1	15.6	11.8
男の子	平成 27 年(n=447)	38.9	30.2	25.1	18.8	13.9	49.0	5.1	26.0	6.0
	平成 23 年(n=177)	35.6	29.4	21.5	8.5	10.7	42.4	1.1	23.2	7.3
	平成 16 年(n=726)	31.4	35.8	18.3	9.8	8.8	38.8	1.7	26.6	10.5

女の子に期待する人物像において、「やさしく思いやりのある人に」「経済的自立ができる人に」「素直で、よく言うことを聞く人に」で年々増加しています。

男の子に期待する人物像において、「やさしく思いやりのある人に」「円満な人間関係がもてる人に」「家事などの身の回りのことが自分でできる人に」「経済的自立ができる人に」で年々増加しています。

5. 労働・社会参加について

問 10 あなたは現在、働いていますか。



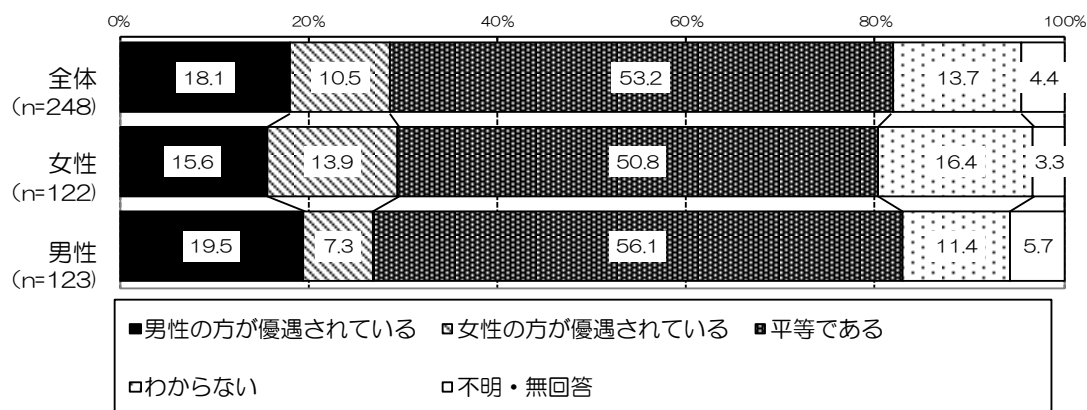
全体では、「働いている」が 55.5%、「働いていない」が 41.6%となっています。

性別では、女性では「働いていない」が、男性では「働いている」が多くなっています。

問 11 現在働いている方にお聞きします。

あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。(〇はそれぞれ1つ)

① 募集・採用



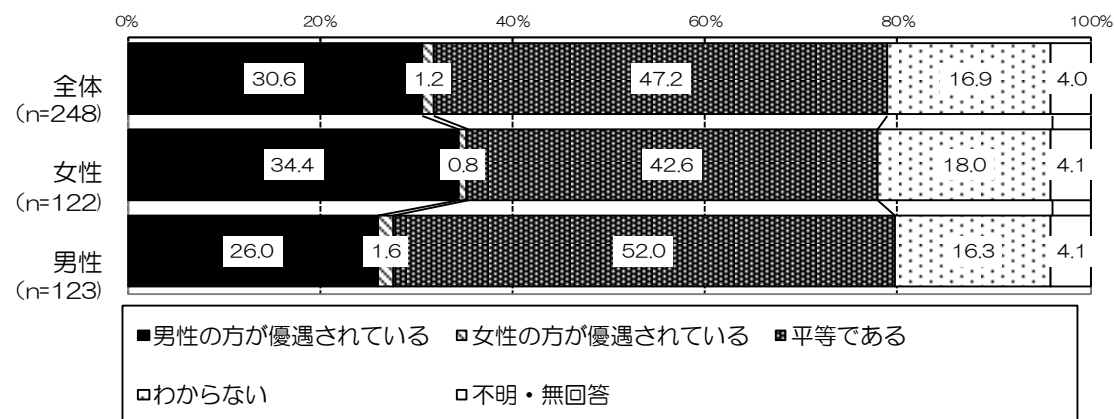
全体では、「平等である」が53.2%で最も多く、「男性の方が優遇されている」(18.1%)、「わからない」(13.7%)がつづいています。

性別では、男女とも「平等である」が最も多くなっていますが、女性より男性の方が多い状況です。

		合計	男性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	平等である	わからない	不明・無回答
全体		248	18.1	10.5	53.2	13.7	4.4
年齢	20歳代	28	17.9	14.3	57.1	7.1	3.6
	30歳代	49	14.3	4.1	53.1	24.5	4.1
	40歳代	69	18.8	15.9	53.6	11.6	0.0
	50歳代	49	20.4	10.2	55.1	12.2	2.0
	60歳代	34	17.6	5.9	58.8	14.7	2.9
	70歳代以上	15	13.3	6.7	33.3	6.7	40.0

年代別にみると、すべての年代で「平等である」が最も多くなっています。

② 賃金



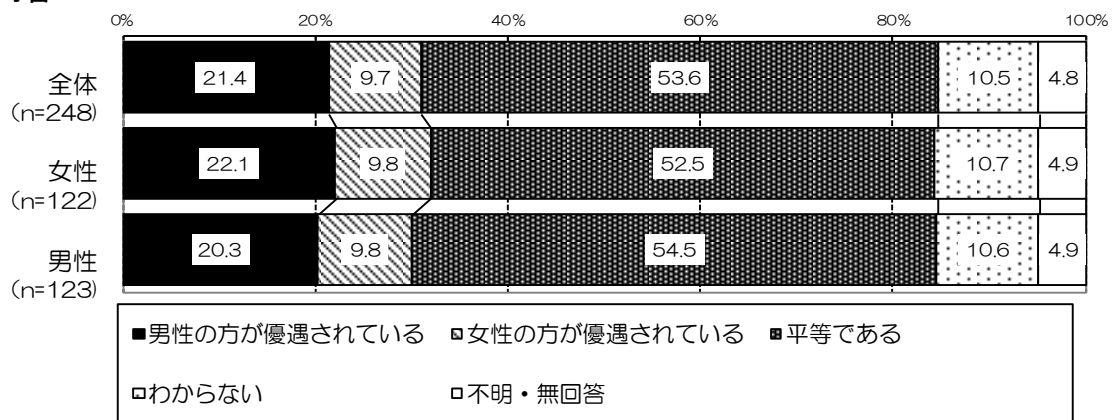
全体では、「平等である」が47.2%で最も多く、「男性の方が優遇されている」(30.6%)、「わからない」(16.9%)がつづいています。

性別では、男女とも「平等である」が最も多くなっており、女性では4割台、男性では5割台となっています。

		合計	男性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	平等である	わからない	不明・無回 答
全体		248	30.6	1.2	47.2	16.9	4.0
年齢	20歳代	28	25.0	0.0	53.6	17.9	3.6
	30歳代	49	24.5	2.0	53.1	18.4	2.0
	40歳代	69	30.4	1.4	47.8	20.3	0.0
	50歳代	49	34.7	2.0	44.9	18.4	0.0
	60歳代	34	44.1	0.0	38.2	14.7	2.9
	70歳代以上	15	13.3	0.0	40.0	0.0	46.7

年代別にみると、60歳代のみ「男性の方が優遇されている」が最も多くなっています。

③ 仕事の内容



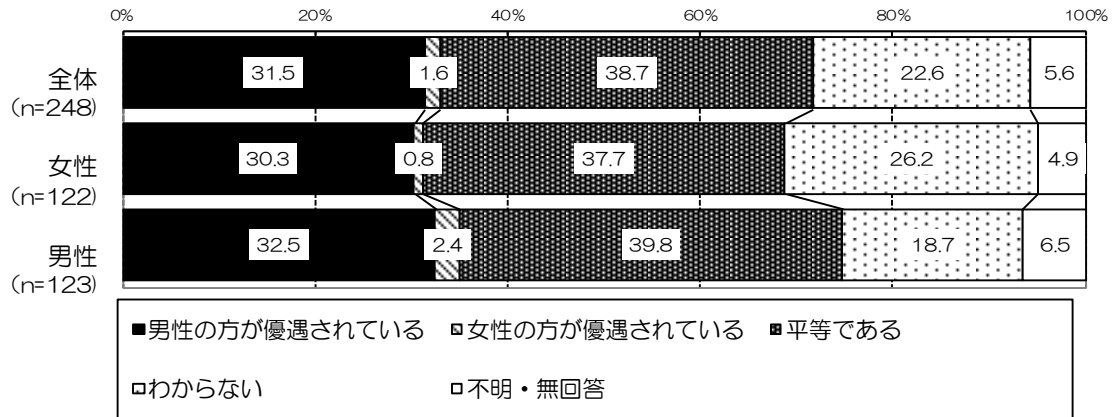
全体では、「平等である」が53.6%で最も多く、「男性の方が優遇されている」(21.4%)、「わからない」(10.5%)がつづいています。

性別では、男女とも「平等である」が5割台で最も多くなっています。

		合計	男性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	平等である	わからない	不明・無回 答
全体		248	21.4	9.7	53.6	10.5	4.8
年齢	20歳代	28	25.0	10.7	42.9	17.9	3.6
	30歳代	49	20.4	10.2	57.1	6.1	6.1
	40歳代	69	21.7	13.0	55.1	10.1	0.0
	50歳代	49	24.5	8.2	53.1	12.2	2.0
	60歳代	34	20.6	5.9	58.8	11.8	2.9
	70歳代以上	15	6.7	6.7	40.0	6.7	40.0

年代別にみると、すべての年代で「平等である」が4～5割台で最も多くなっています。

④ 昇進・昇格



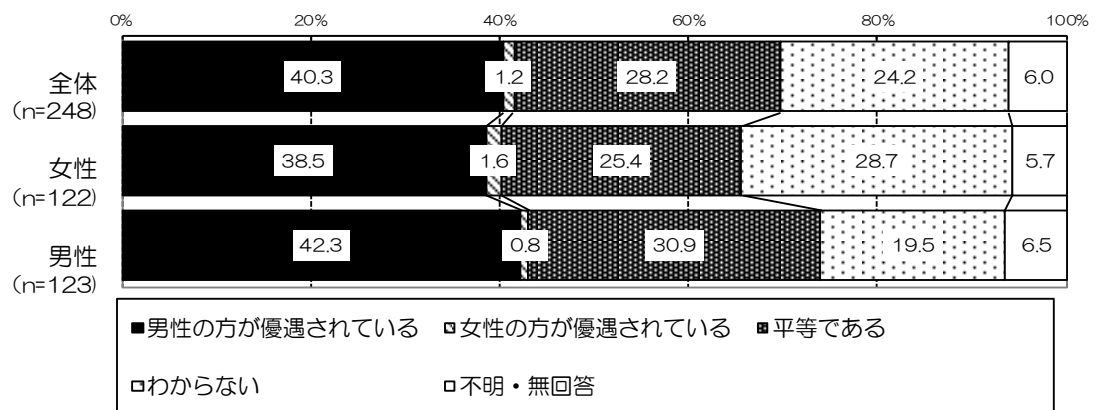
全体では、「平等である」が38.7%で最も多く、「男性の方が優遇されている」(31.5%)、「わからない」(22.6%)がつづいています。

性別では、男女とも「平等である」が最も多くなっています。

		合計	男性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	平等である	わからない	不明・無回答
全体		248	31.5	1.6	38.7	22.6	5.6
年齢	20歳代	28	28.6	0.0	50.0	17.9	3.6
	30歳代	49	26.5	4.1	38.8	24.5	6.1
	40歳代	69	29.0	2.9	44.9	23.2	0.0
	50歳代	49	40.8	0.0	34.7	22.4	2.0
	60歳代	34	41.2	0.0	29.4	26.5	2.9
	70歳代以上	15	13.3	0.0	20.0	13.3	53.3

年代別にみると、50～60歳代で「男性の方が優遇されている」が最も多くなっています。

⑤ 管理職への登用



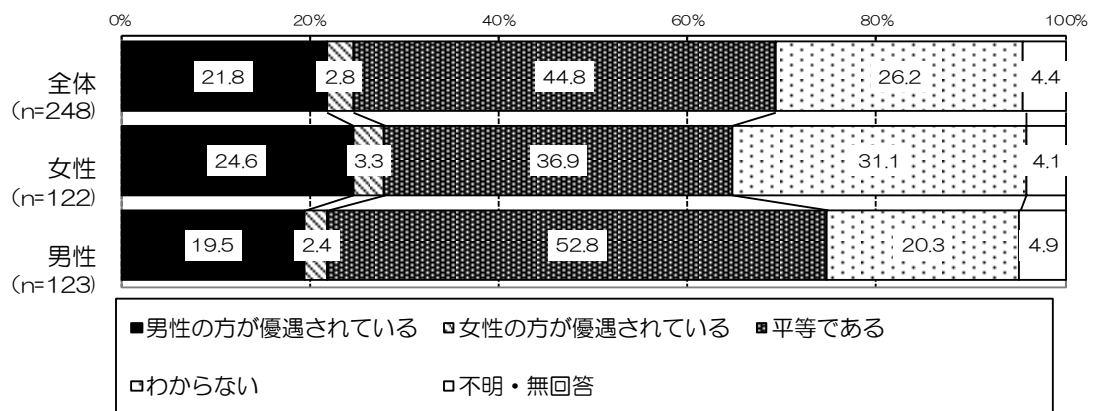
全体では、「男性の方が優遇されている」が40.3%で最も多く、「平等である」(28.2%)、「わからない」(24.2%)がつづいています。

性別では、男女とも「男性の方が優遇されている」が最も多くなっており、女性では3割台、男性では4割台となっています。

		合計	男性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	平等である	わからない	不明・無回 答
全体		248	40.3	1.2	28.2	24.2	6.0
年齢	20歳代	28	32.1	0.0	32.1	32.1	3.6
	30歳代	49	36.7	2.0	34.7	20.4	6.1
	40歳代	69	37.7	1.4	33.3	26.1	1.4
	50歳代	49	49.0	0.0	26.5	22.4	2.0
	60歳代	34	58.8	0.0	14.7	23.5	2.9
	70歳代以上	15	13.3	6.7	6.7	20.0	53.3

年代別にみると、20～40歳代で「平等である」が3割台となっています。

⑥ 能力評価（業績評価・人事考課など）



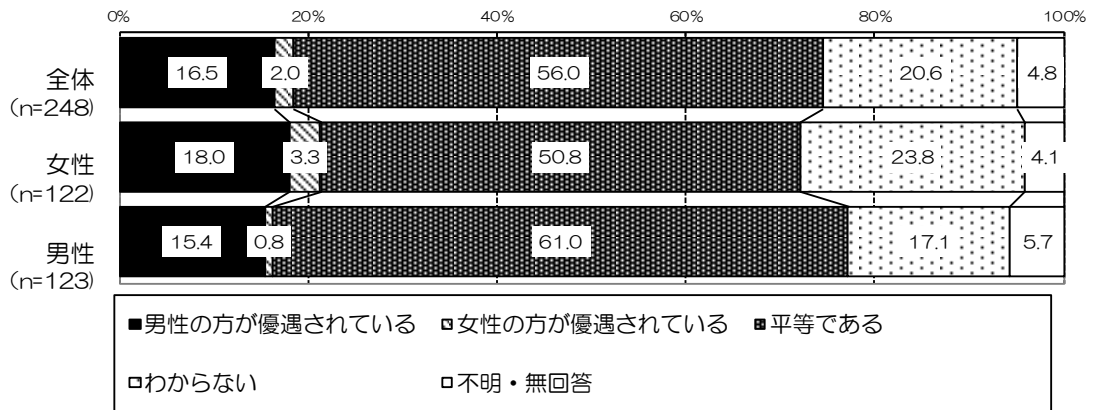
全体では、「平等である」が44.8%で最も多く、「わからない」(26.2%)、「男性の方が優遇されている」(21.8%)がつづいています。

性別では、男女とも「平等である」が最も多くなっており、女性では3割台、男性では5割台となっています。

		合計	男性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	平等である	わからない	不明・無回 答
全体		248	21.8	2.8	44.8	26.2	4.4
年齢	20歳代	28	10.7	3.6	50.0	32.1	3.6
	30歳代	49	20.4	4.1	46.9	24.5	4.1
	40歳代	69	21.7	2.9	47.8	27.5	0.0
	50歳代	49	28.6	2.0	42.9	24.5	2.0
	60歳代	34	29.4	2.9	41.2	23.5	2.9
	70歳代以上	15	13.3	0.0	26.7	20.0	40.0

年代別にみると、20～60歳代で「平等である」が4～5割台となっています。

⑦ 研修の機会や内容



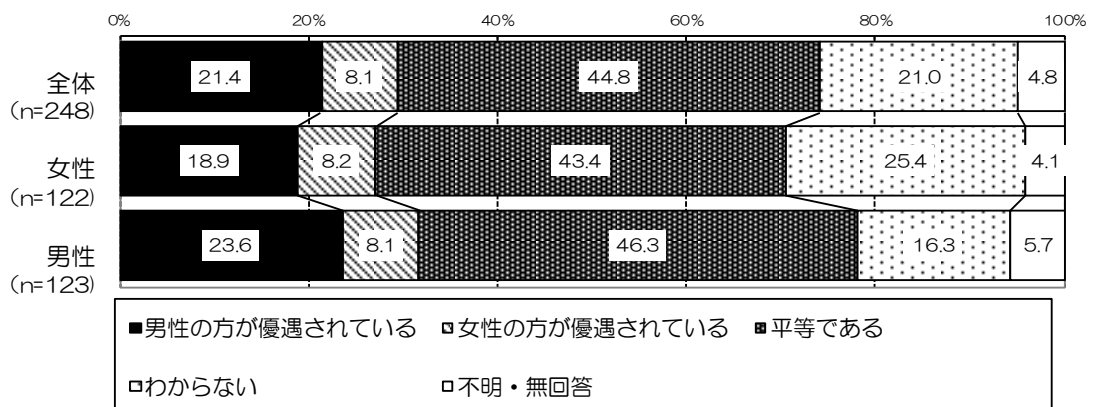
全体では、「平等である」が56.0%で最も多く、「わからない」(20.6%)、「男性の方が優遇されている」(16.5%)がつづいています。

性別では、男女とも「平等である」が最も多くなっており、女性では5割台、男性では6割台となっています。

		合計	男性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	平等である	わからない	不明・無回答
全体		248	16.5	2.0	56.0	20.6	4.8
年齢	20歳代	28	14.3	0.0	64.3	17.9	3.6
	30歳代	49	14.3	6.1	59.2	16.3	4.1
	40歳代	69	13.0	1.4	65.2	20.3	0.0
	50歳代	49	26.5	0.0	49.0	22.4	2.0
	60歳代	34	17.6	0.0	50.0	26.5	5.9
	70歳代以上	15	13.3	6.7	20.0	20.0	40.0

年代別にみると、「平等である」が20・40歳代で6割を超えています。

⑧ 働き続けやすい環境



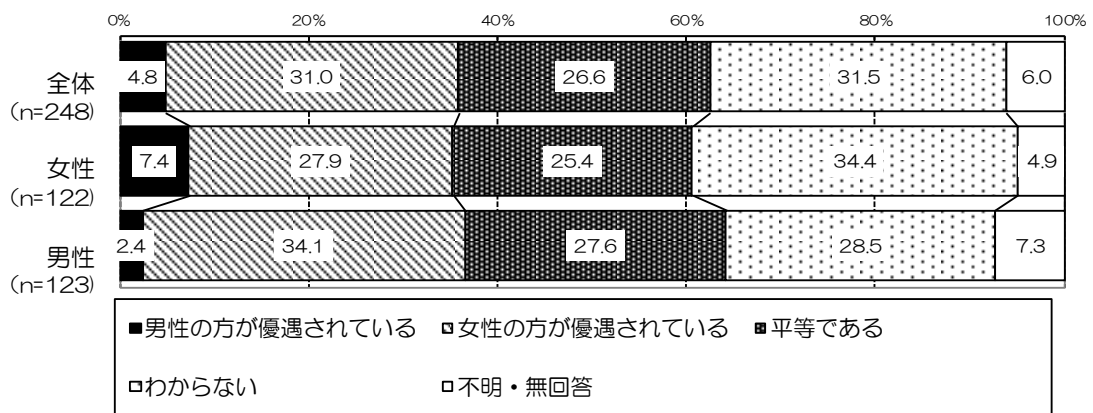
全体では、「平等である」が44.8%で最も多く、「男性の方が優遇されている」(21.4%)、「わからない」(21.0%)がつづいています。

性別では、男女とも「平等である」が4割台で最も多くなっています。

		合計	男性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	平等である	わからない	不明・無回 答
全体		248	21.4	8.1	44.8	21.0	4.8
年齢	20歳代	28	21.4	14.3	46.4	14.3	3.6
	30歳代	49	24.5	10.2	34.7	26.5	4.1
	40歳代	69	14.5	11.6	47.8	24.6	1.4
	50歳代	49	34.7	2.0	42.9	20.4	0.0
	60歳代	34	14.7	2.9	61.8	17.6	2.9
	70歳代以上	15	13.3	6.7	26.7	6.7	46.7

年代別にみると、「平等である」が60歳代で6割台と、他の年代に比べて多くなっています。

⑨ 育児・介護休暇など休暇の取得しやすさ



全体では、「わからない」が31.5%で最も多く、「女性の方が優遇されている」(31.0%)、「平等である」(26.6%)がつづいています。

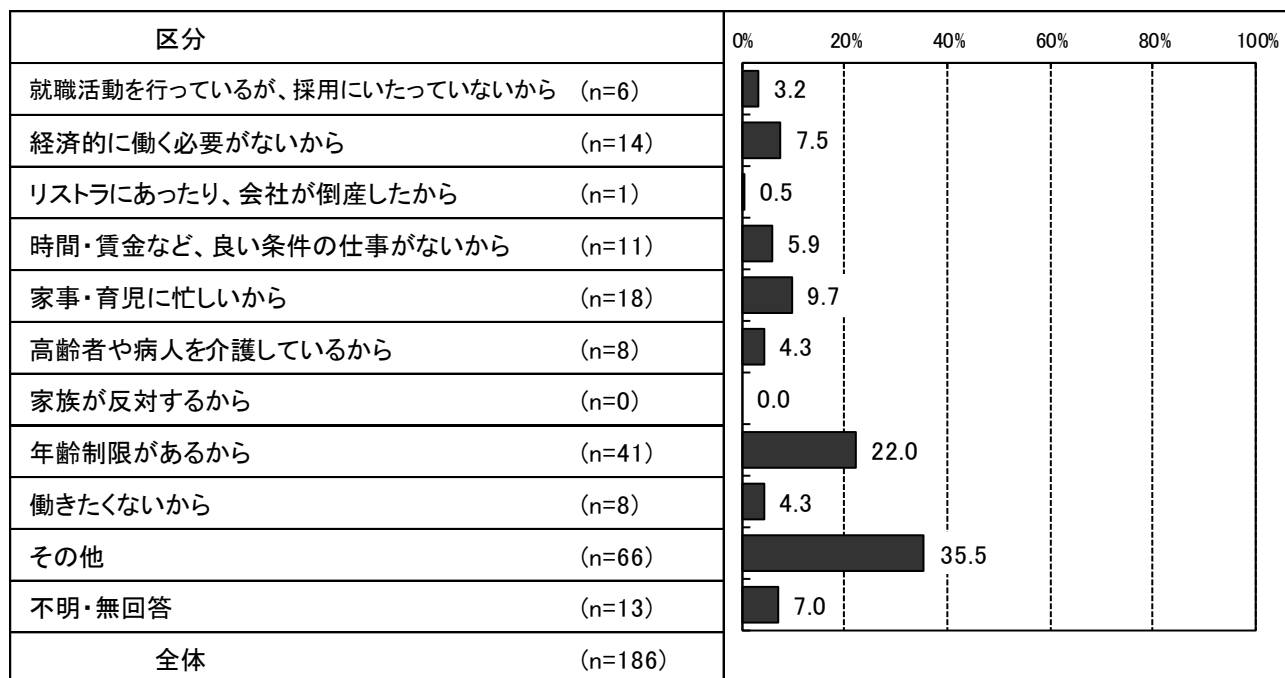
性別では、女性では「わからない」、男性では「女性の方が優遇されている」がそれぞれ3割台で最も多くなっています。

		合計	男性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	平等である	わからない	不明・無回 答
全体		248	4.8	31.0	26.6	31.5	6.0
年齢	20歳代	28	0.0	32.1	32.1	32.1	3.6
	30歳代	49	2.0	44.9	20.4	28.6	4.1
	40歳代	69	5.8	29.0	30.4	33.3	1.4
	50歳代	49	10.2	26.5	30.6	30.6	2.0
	60歳代	34	2.9	23.5	29.4	38.2	5.9
	70歳代以上	15	6.7	26.7	0.0	13.3	53.3

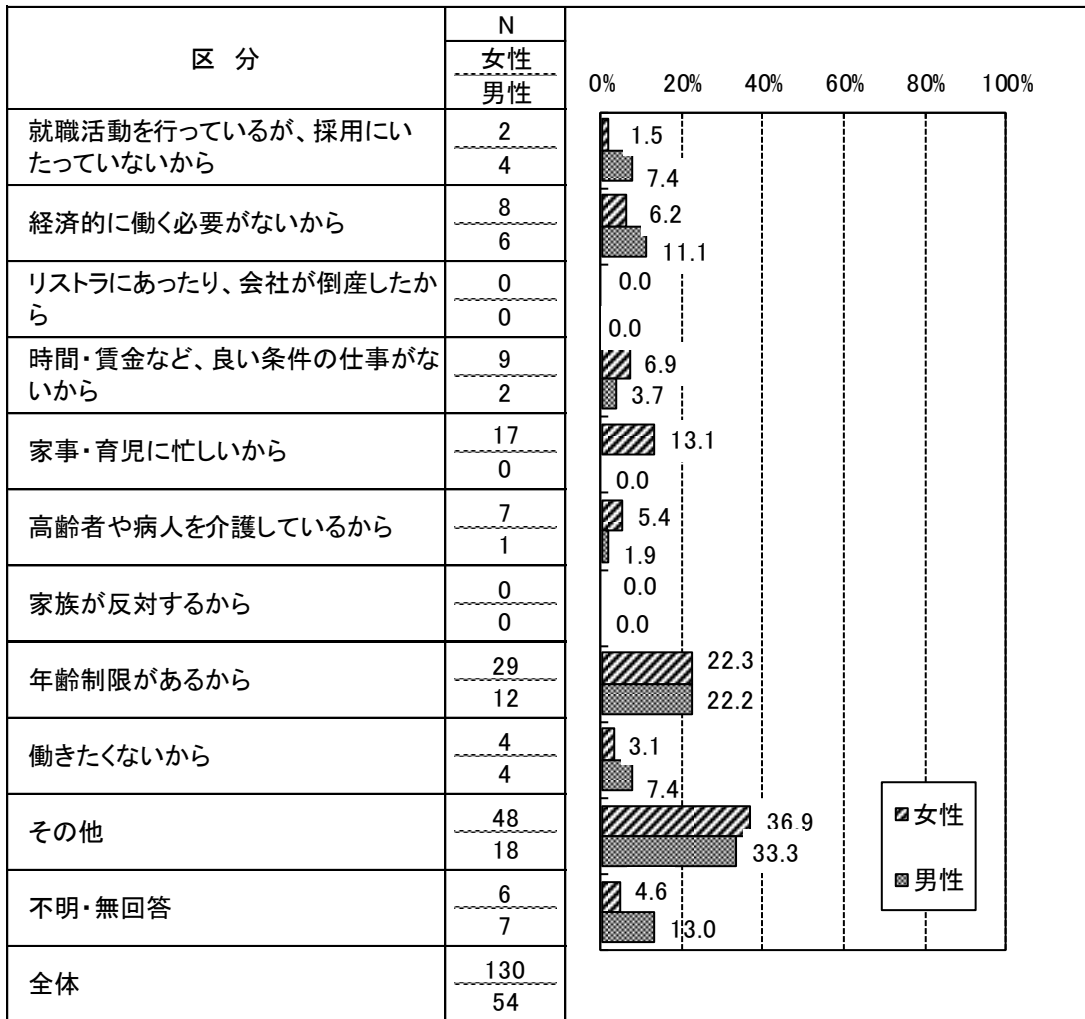
年代別にみると、「女性の方が優遇されている」が30歳代で4割台と、他の年代に比べて多くなっています。

現在働いていない方にお聞きします。

問 12 あなたが働いていない理由はなんですか。(○は1つ)



全体では、「その他」が 35.5%で最も多く、「年齢制限があるから」(22.0%)、「家事・育児に忙しいから」(9.7%)がつづいています。



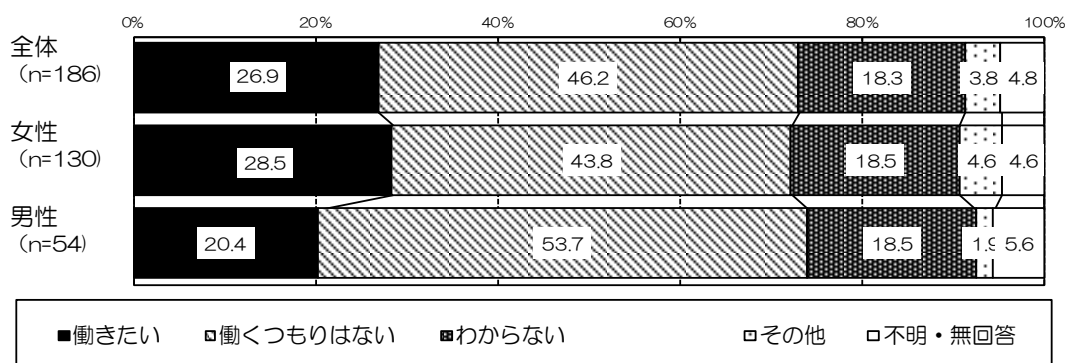
性別にみると、男女とも「その他」に次いで、「年齢制限があるから」が2割台でつづいています。

	合計	就職活動を行っているが、採用にいたっていないから	経済的に働く必要がないから	リストラにあたり、会社が倒産したから	時間・賃金など、良い条件の仕事がないから	家事・育児に忙しいから	高齢者や病人を介護しているから	家族が反対するから	年齢制限があるから	働きたくないから	その他	不明・無回答
全体	186	3.2	7.5	0.5	5.9	9.7	4.3	0.0	22.0	4.3	35.5	7.0
年齢	20歳代	10	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	50.0	10.0
	30歳代	14	0.0	0.0	0.0	21.4	42.9	0.0	0.0	0.0	21.4	14.3
	40歳代	22	13.6	9.1	4.5	18.2	36.4	4.5	0.0	0.0	13.6	0.0
	50歳代	14	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	50.0
	60歳代	64	1.6	9.4	0.0	1.6	3.1	6.3	0.0	29.7	4.7	39.1
70歳代以上	62	0.0	8.1	0.0	1.6	0.0	3.2	0.0	33.9	3.2	38.7	

年代別にみると、30～40歳代では「家事・育児に忙しいから」が最も多くなっています。

現在働いていない方にお聞きします。

問 13 あなたは、今後働きたいと思えますか。(○は1つ)



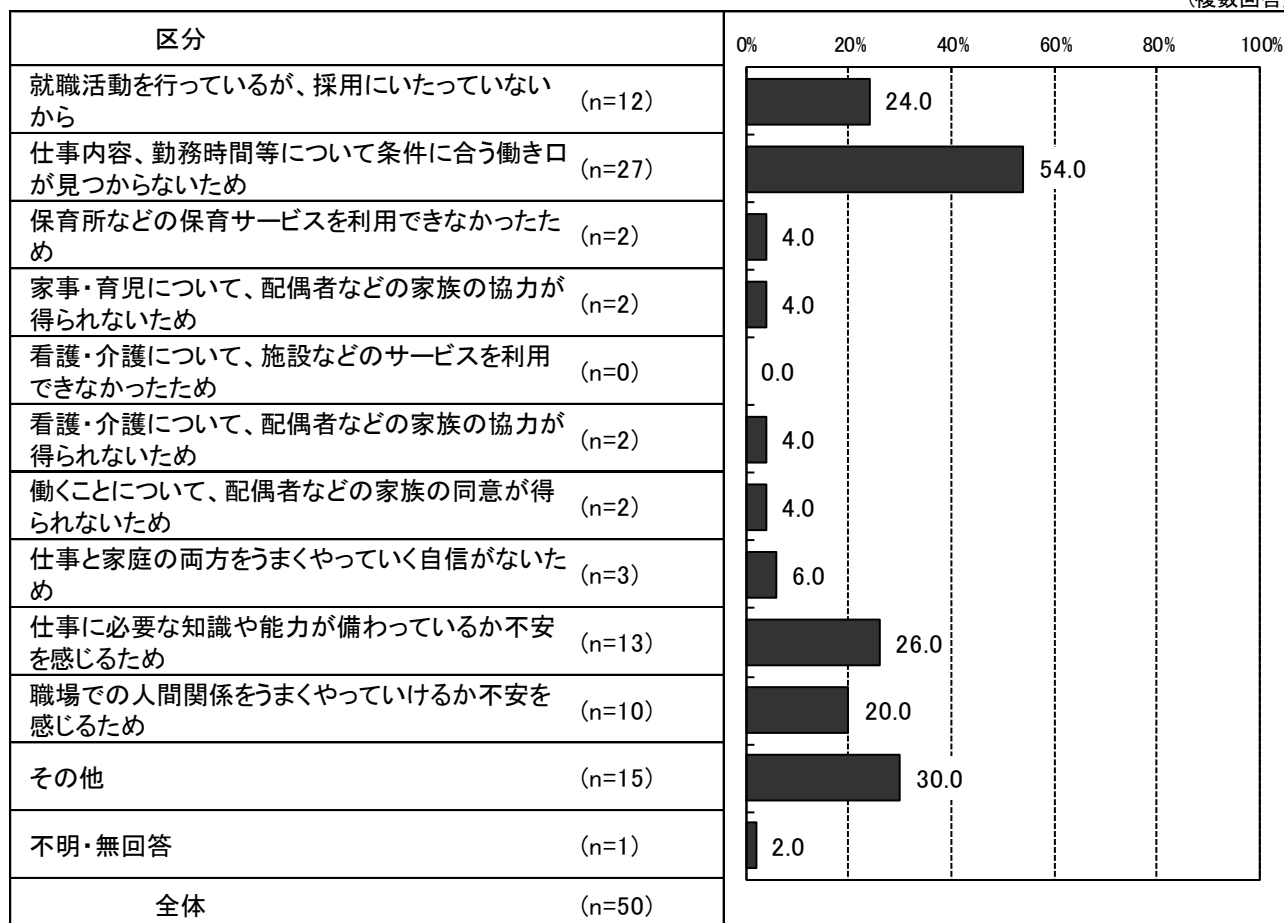
全体では、「働くつもりはない」が46.2%で最も多く、「働きたい」(26.9%)、「わからない」(18.3%)がつづいています。

性別では、男女とも「働くつもりはない」が4～5割台で最も多くなっています。

問 13 で「1」と回答した方にお聞きします。

問 14 働きたいけれども、現在、働いていない理由はなんですか。(○は3つまで)

(複数回答)

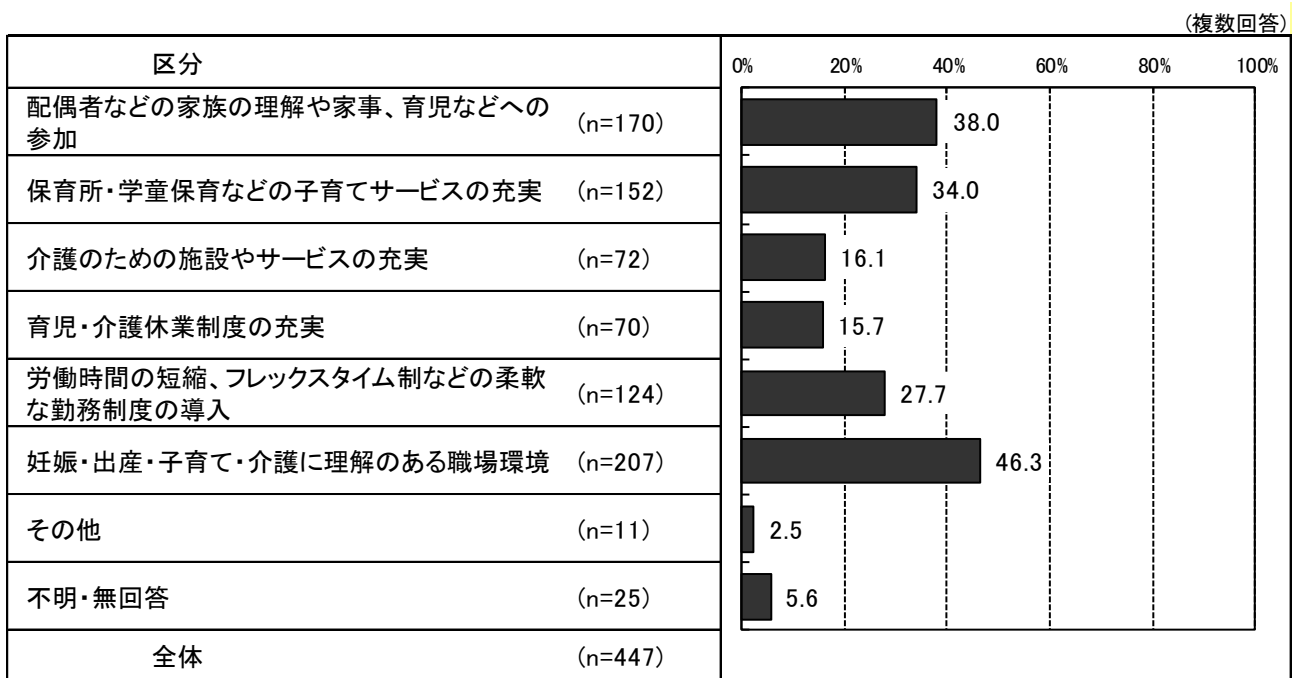


全体では、「仕事内容、勤務時間等について条件に合う働き口が見つからないため」が54.0%で最も多く、「その他」(30.0%)、「仕事に必要な知識や能力が備わっているか不安を感じるため」(26.0%)がつづいています。

	合計	就職活動を行っているが、採用にいたっていないから	仕事内容、勤務時間等について条件に合う働き口が見つからないため	保育所などの保育サービスを利用できなかったため	家事・育児について、配偶者などの家族の協力が得られないため	看護・介護について、施設などのサービスを利用できなかったため	看護・介護について、配偶者などの家族の協力が得られないため	働くことについて、配偶者などの家族の同意が得られないため	仕事と家庭の両方をうまくやっていく自信がないため	仕事に必要な知識や能力が備わっていないか不安を感じるため	職場での人間関係うまくやっていないか不安を感じるため	その他	不明・無回答
全体	50 100.0	12 24.0	27 54.0	2 4.0	2 4.0	0 0.0	2 4.0	2 4.0	3 6.0	13 26.0	10 20.0	15 30.0	1 2.0
性別	女性	37 100.0	8 21.6	19 51.4	2 5.4	2 5.4	0 0.0	2 5.4	2 5.4	3 8.1	9 24.3	7 18.9	12 32.4
	男性	11 100.0	4 36.4	8 72.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 27.3	3 27.3	3 27.3

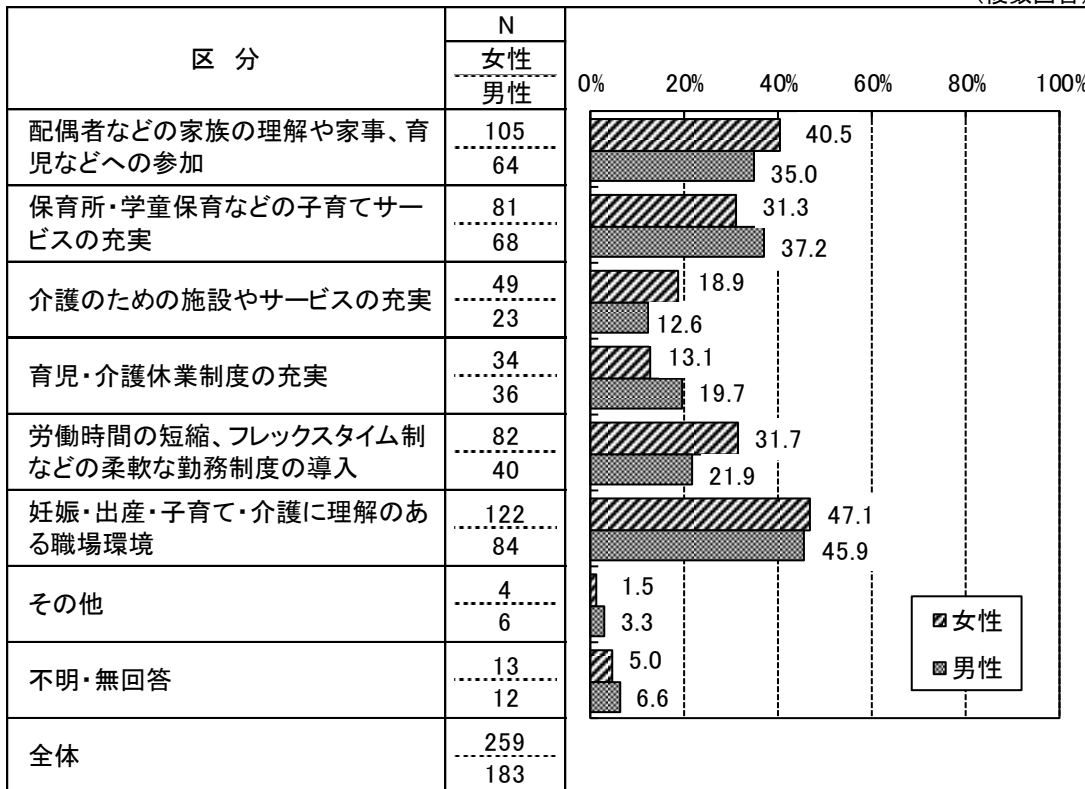
性別にみると、男女とも「仕事内容、勤務時間等について条件に合う働き口が見つからないため」が最も多くなっています。

問 15 女性が、出産・子育て・介護などの理由で、仕事を辞めずに働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)



全体では、「妊娠・出産・子育て・介護に理解のある職場環境」が46.3%で最も多く、「配偶者などの家族の理解や家事、育児などへの参加」(38.0%)、「保育所・学童保育などの子育てサービスの充実」(34.0%)がつづいています。

(複数回答)



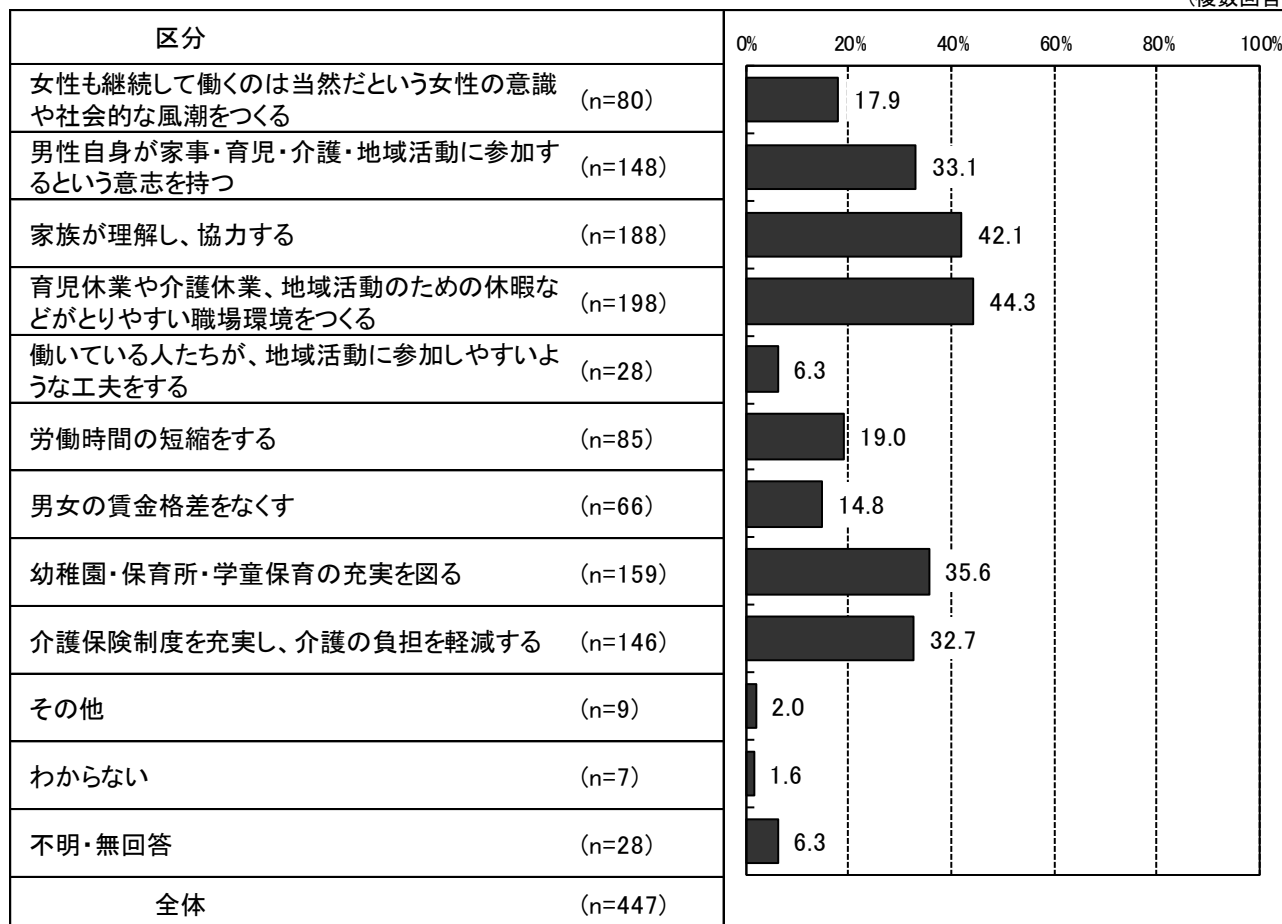
性別にみると、男女とも「妊娠・出産・子育て・介護に理解のある職場環境」が最も多く、女性では「配偶者などの家族の理解や家事、育児などへの参加」、男性では「保育所・学童保育などの子育てサービスの充実」がつついています。

	合計	配偶者などの家族の理解や家事、育児などへの参加	保育所・学童保育などの子育てサービスの充実	介護のための施設やサービスの充実	育児・介護休業制度の充実	労働時間の短縮、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入	妊娠・出産・子育て・介護に理解のある職場環境	その他	不明・無回答	
全体	447	38.0	34.0	16.1	15.7	27.7	46.3	2.5	5.6	
年齢	20歳代	38	34.2	50.0	7.9	18.4	28.9	60.5	2.6	0.0
	30歳代	64	40.6	45.3	7.8	9.4	32.8	48.4	6.3	1.6
	40歳代	92	38.0	35.9	15.2	16.3	29.3	47.8	2.2	4.3
	50歳代	63	44.4	23.8	25.4	23.8	28.6	49.2	0.0	0.0
	60歳代	103	35.0	35.0	22.3	15.5	25.2	49.5	1.0	3.9
70歳代以上	83	37.3	21.7	13.3	13.3	22.9	31.3	2.4	19.3	

年代別にみると、20～60歳代で「妊娠・出産・子育て・介護に理解のある職場環境」が最も多くなっています。特に、20歳代で6割台と他の年代に比べて多くなっています。

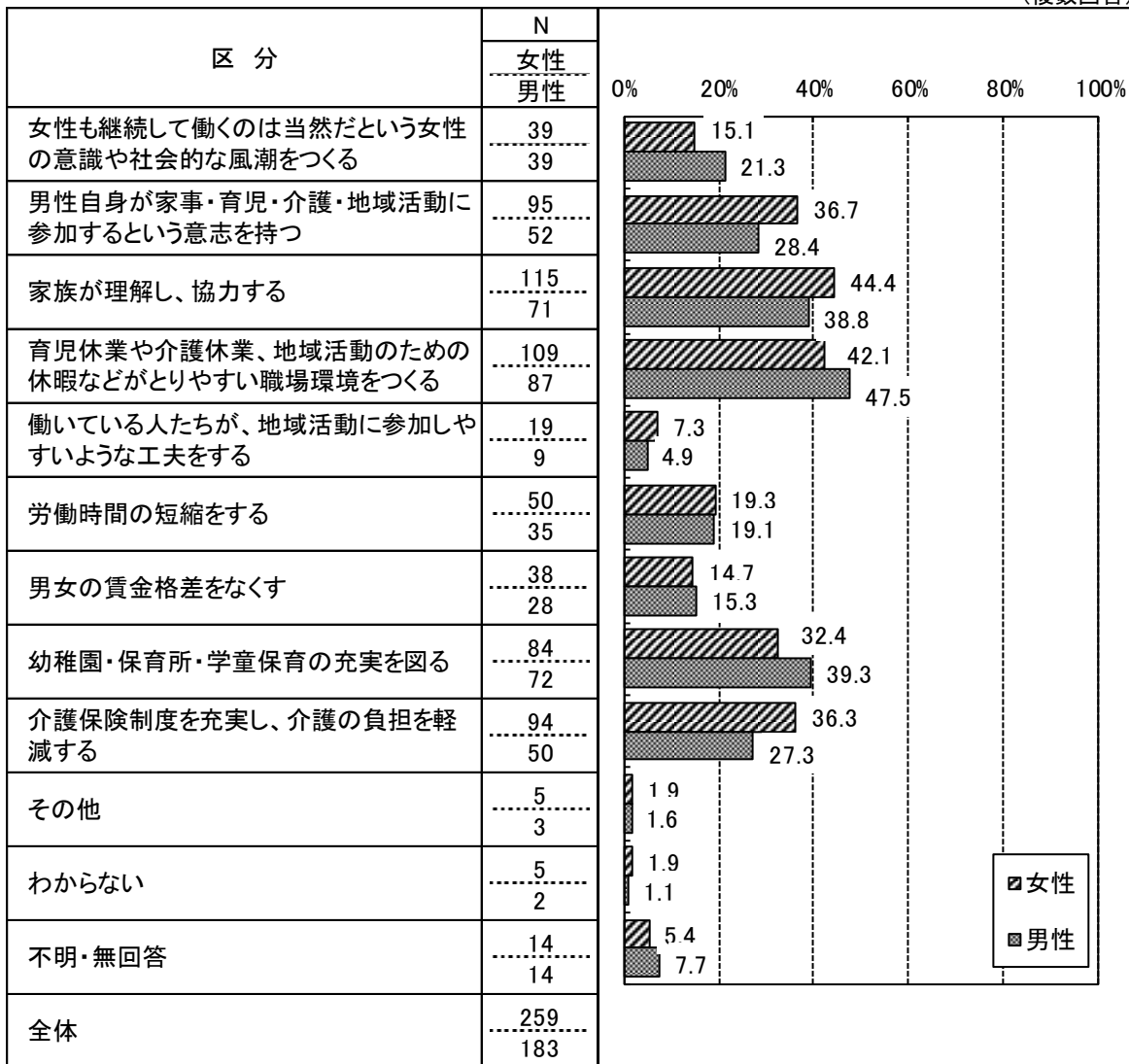
問 16 男女がともに、仕事と子育て、介護、地域活動を両立させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

(複数回答)



全体では、「育児休業や介護休業、地域活動のための休暇などがとりやすい職場環境をつくる」が 44.3%で最も多く、「家族が理解し、協力する」(42.1%)、「幼稚園・保育所・学童保育の充実を図る」(35.6%)がつづいています。

(複数回答)



性別にみると、女性では「家族が理解し、協力する」、男性では「育児休業や介護休業、地域活動のための休暇などがとりやすい職場環境をつくる」が最も多くなっています。

	合計	女性も継続して働くのは当然だという女性の意識や社会的な風潮をつくる	男性自身が家事・育児・介護・地域活動に参加するという意志を持つ	家族が理解し、協力する	育児休業や介護休業、地域活動のための休暇などがとりやすい職場環境をつくる	働いている人たちが、地域活動に参加しやすいような工夫をする	労働時間の短縮をする	男女の賃金格差をなくす	幼稚園・保育所・学童保育の充実を図る	介護保険制度を充実し、介護の負担を軽減する	その他	わからない	不明・無回答	
全体	447	17.9	33.1	42.1	44.3	6.3	19.0	14.8	35.6	32.7	2.0	1.6	6.3	
年齢	20歳代	38	18.4	44.7	36.8	65.8	10.5	21.1	15.8	42.1	28.9	0.0	0.0	0.0
	30歳代	64	20.3	31.3	39.1	56.3	3.1	18.8	14.1	46.9	17.2	1.6	3.1	3.1
	40歳代	92	20.7	30.4	43.5	45.7	2.2	34.8	13.0	35.9	34.8	1.1	1.1	3.3
	50歳代	63	20.6	36.5	49.2	38.1	12.7	22.2	19.0	30.2	39.7	1.6	1.6	0.0
	60歳代	103	15.5	32.0	44.7	46.6	4.9	13.6	12.6	38.8	42.7	1.0	1.0	4.9
	70歳代以上	83	13.3	30.1	38.6	26.5	8.4	6.0	16.9	21.7	25.3	4.8	2.4	21.7

年代別にみると、「育児休業や介護休業、地域活動のための休暇などがとりやすい職場環境をつくる」が20～40歳代で最も多くなっています。特に、20歳代で6割台と他の年代に比べて多くなっています。

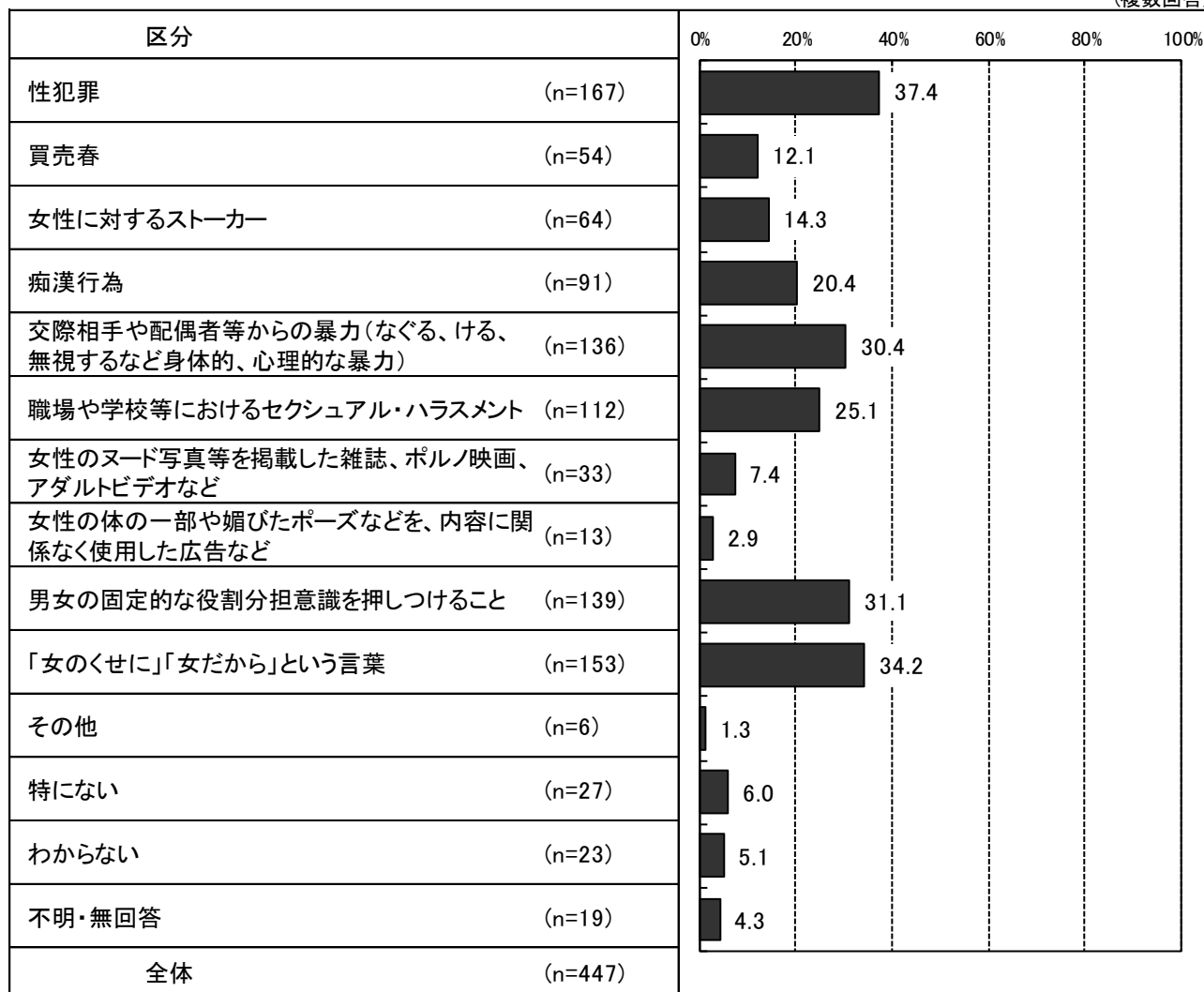
		女性も継続して働くのは当然だという女性の意識や社会的な風潮をつくる	男性自身家事・育児・介護・地域活動に参加するという意志を持つ	家族が理解し、協力する	育児休業や介護休業、地域活動のための休暇などがとりやすい職場環境をつくる	働いている人たちが、地域活動に参加しやすいような工夫をする	労働時間の短縮をする	男女の賃金格差をなくす	幼稚園・保育所・学童保育の充実を図る	介護保険制度を充実し、介護の負担を軽減する	その他	わからない	不明・無回答
平成27年度	全体(n=447)	17.9	33.1	42.1	44.3	6.3	19.0	14.8	35.6	32.7	2.0	1.6	6.3
	女性(n=259)	15.1	36.7	44.4	42.1	7.3	19.3	14.7	32.4	36.3	1.9	1.9	5.4
	男性(n=183)	21.3	28.4	38.8	47.5	4.9	19.1	15.3	39.3	27.3	1.6	1.1	7.7
平成23年度	全体(n=177)	19.2	45.2	67.2	51.4	19.2	21.5	33.9	54.8	45.8	1.7	1.1	2.8
	女性(n=106)	19.8	55.7	72.6	53.8	21.7	22.6	41.5	57.5	47.2	0.0	1.9	0.9
	男性(n=71)	18.3	29.6	59.2	47.9	15.5	19.7	22.5	50.7	43.7	4.2	0.0	5.6
平成16年度	全体(n=726)	28.5	53.6	73.7	55.5	20.8	20.9	26.7	53.4	50.0	1.7	1.4	3.9
	女性(n=412)	28.9	59.7	74.5	54.9	19.7	22.1	28.2	53.9	52.2	1.2	1.2	4.4
	男性(n=314)	28.0	45.5	72.6	56.4	22.3	19.4	24.8	52.9	47.1	2.2	1.6	3.2

女性では、各年度、「家族が理解し、協力する」が最も多くなっています。一方、男性では、平成16・23年度で「家族が理解し、協力する」が最も多くなっていますが、平成27年度では「育児休業や介護休業、地域活動のための休暇などがとりやすい職場環境をつくる」が最も多い状況です。

6. 暴力について

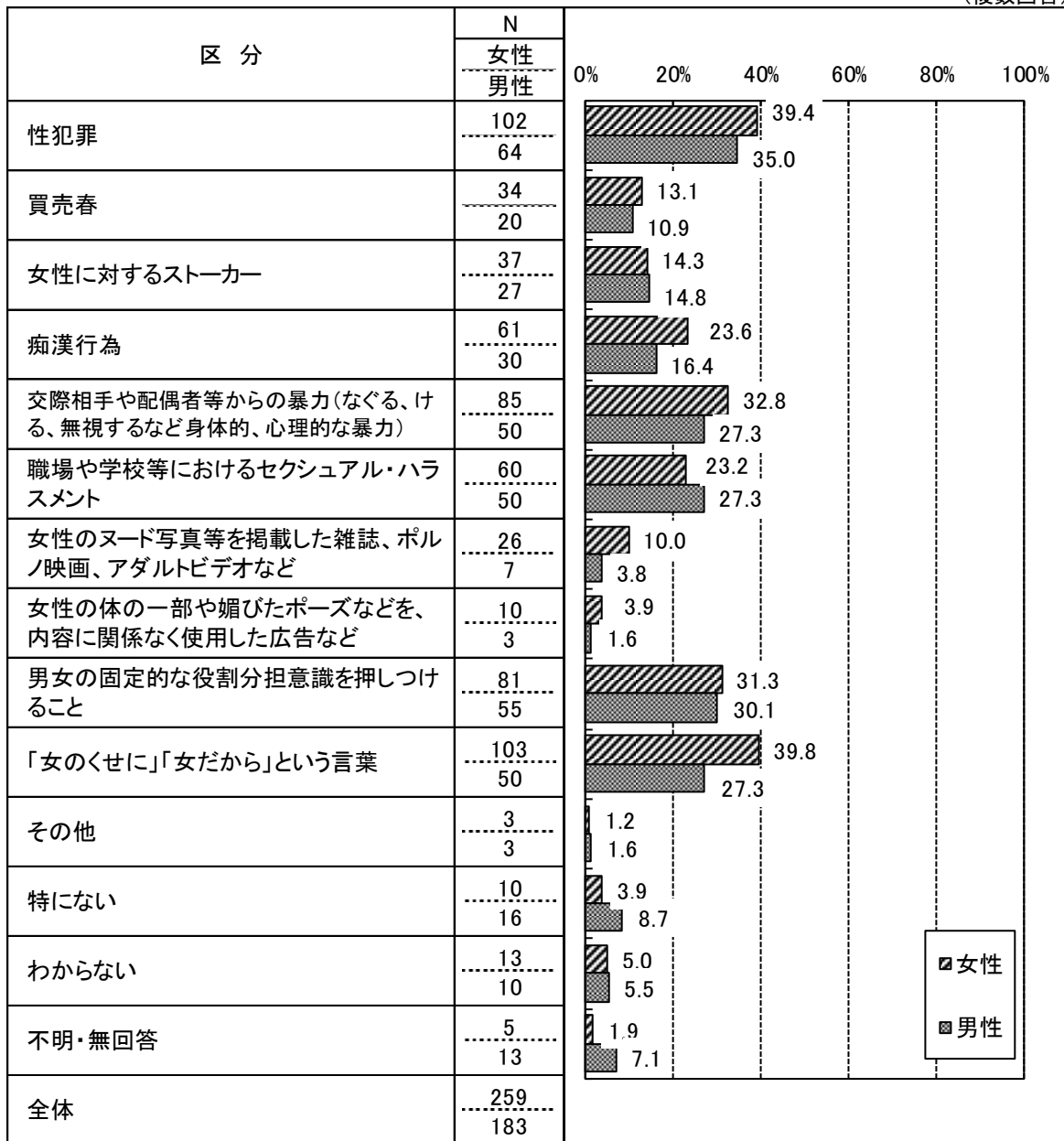
問 17 あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。
(○は3つまで)

(複数回答)



全体では、「性犯罪」が37.4%で最も多く、「『女のくせに』『女だから』という言葉」(34.2%)、「男女の固定的な役割分担意識を押しつけること」(31.1%)がつついています。

(複数回答)



性別にみると、女性では「『女のくせに』『女だから』という言葉」、男性では「性犯罪」が最も多くなっています。

	合計	性犯罪	買売春	女性に対するストーカー	痴漢行為	交際相手や配偶者等からの暴力(なぐる、ける、無視するなど身体的、心理的な暴力)	職場や学校等におけるセクシュアル・ハラスメント	女性のヌード写真等を掲載した雑誌、ポルノ映画、アダルトビデオなど	女性の体の一部や媚びたポーズなどを、内容に関係なく使用した広告など	男女の固定的な役割分担意識を押しつけること	「女のくせに」「女だから」という言葉	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体	447	37.4	12.1	14.3	20.4	30.4	25.1	7.4	2.9	31.1	34.2	1.3	6.0	5.1	4.3
年齢															
20歳代	38	47.4	7.9	21.1	15.8	28.9	34.2	2.6	5.3	34.2	36.8	0.0	0.0	5.3	0.0
30歳代	64	46.9	15.6	15.6	25.0	23.4	20.3	6.3	3.1	25.0	32.8	1.6	9.4	4.7	1.6
40歳代	92	45.7	10.9	15.2	23.9	29.3	23.9	3.3	1.1	29.3	33.7	1.1	4.3	5.4	3.3
50歳代	63	36.5	15.9	15.9	15.9	39.7	20.6	7.9	3.2	36.5	33.3	3.2	6.3	6.3	1.6
60歳代	103	33.0	11.7	9.7	22.3	30.1	32.0	7.8	1.9	37.9	38.8	1.9	6.8	3.9	2.9
70歳代以上	83	22.9	10.8	14.5	15.7	30.1	19.3	14.5	4.8	22.9	30.1	0.0	6.0	6.0	13.3

年代別にみると、20～40歳代では「性犯罪」、50歳代では「交際相手や配偶者等からの暴力(なぐる、ける、無視するなど身体的、心理的な暴力)」、60歳では「『女のくせに』『女だから』という言葉」、70歳代以上では「交際相手や配偶者等からの暴力(なぐる、ける、無視するなど身体的、心理的な暴力)」と「『女のくせに』『女だから』という言葉」が最も多くなっています。

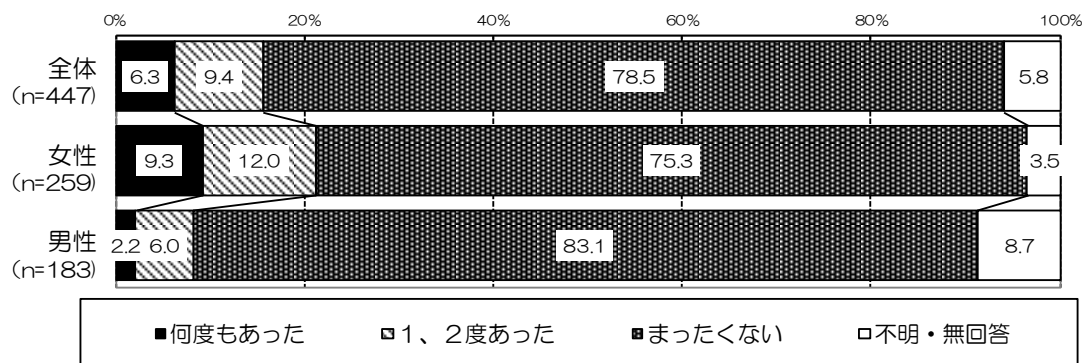
		性犯罪	買売春	女性に対するストーカー	痴漢行為	交際相手や配偶者等からの暴力(なぐる、ける、無視するなど身体的、心理的な暴力)	職場や学校等におけるセクシユアル・ハラスメント	女性のヌード写真等を掲載した雑誌、ポルノ映画、アダルトビデオなど	女性のみで写真等を使用した広告など	男女の固定的な役割分担意識を押しつけること	「女のくせに」「女だから」という言葉	その他	特にない	わからない	不明・無回答
平成27年度	全体 (n=447)	37.4	12.1	14.3	20.4	30.4	25.1	7.4	2.9	31.1	34.2	1.3	6.0	5.1	4.3
	女性 (n=259)	39.4	13.1	14.3	23.6	32.8	23.2	10.0	3.9	31.3	39.8	1.2	3.9	5.0	1.9
	男性 (n=183)	35.0	10.9	14.8	16.4	27.3	27.3	3.8	1.6	30.1	27.3	1.6	8.7	5.5	7.1
平成23年度	全体 (n=177)	50.3	31.1	28.8	46.9	41.2	35.0	18.6	16.4	32.2	45.2	1.1	5.6	6.8	1.7
	女性 (n=106)	57.5	38.7	30.2	52.8	48.1	39.6	26.4	20.8	36.8	50.9	0.9	4.7	4.7	0.0
	男性 (n=71)	39.4	19.7	26.8	38.0	31.0	28.2	7.0	9.9	25.4	36.6	1.4	7.0	9.9	4.2
平成16年度	全体 (n=726)	34.6	24.9	42.8	42.8	17.8	19.3	5.8	7.3	31.1	47.8	3.4	10.7	5.1	34.6
	女性 (n=412)	37.4	26.2	45.1	42.2	22.3	23.5	5.3	7.0	34.5	52.4	4.1	10.7	3.6	37.4
	男性 (n=314)	30.9	23.2	39.8	43.6	11.8	13.7	6.4	7.6	26.8	41.7	2.5	10.8	7.0	30.9

※平成27年の選択肢「交際相手や配偶者等からの暴力(なぐる、ける、無視するなど身体的、心理的な暴力)」は、「平成23年及び平成16年では「夫やパートナーからの妻等への暴力(なぐる、ける、無視するなど身体的、心理的な暴力)」と記載。

女性では、平成16・27年度で『女のくせに』『女だから』という言葉が最も多くなっていますが、平成23年度では「性犯罪」が最も多い状況です。一方、男性では、平成23・27年度で「性犯罪」が最も多くなっていますが、平成16年度では「痴漢行為」が最も多い状況です。

問 18 あなたは、交際相手や配偶者等から、次のようなことをされたことがありますか。

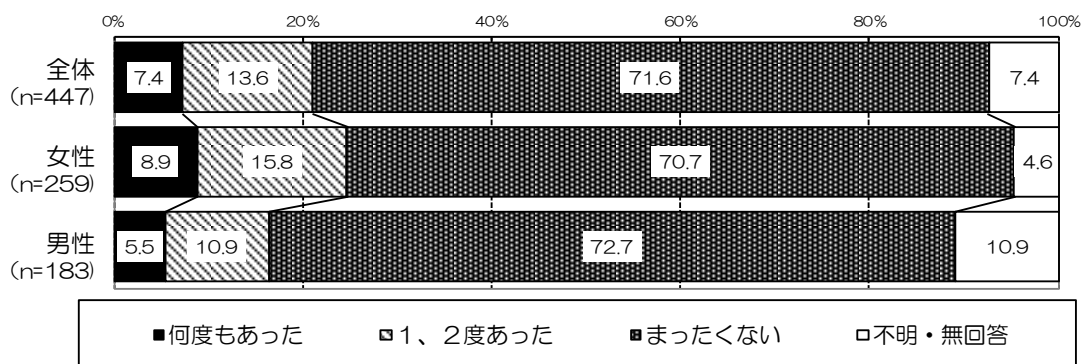
① なぐったり、けったり、身体に対する暴行



全体では、「まったくくない」が78.5%で最も多く、「1、2度あった」(9.4%)、「何どもあった」(6.3%)がつづいています。

性別では、男女とも「まったくくない」が7～8割台で最も多くなっています。

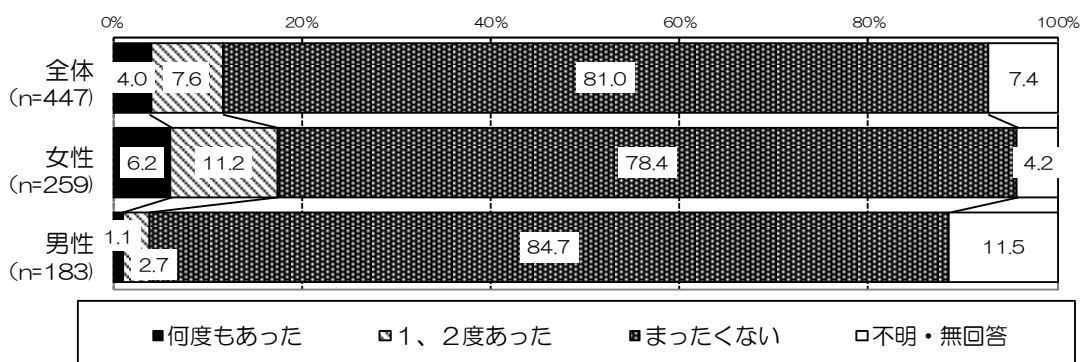
② 暴言や交友関係など、精神的な嫌がらせ



全体では、「まったくくない」が71.6%で最も多く、「1、2度あった」(13.6%)、「何どもあった」(7.4%)がつづいています。

性別では、男女とも「まったくくない」が7割台で最も多くなっています。

③ 性的な行為の強要



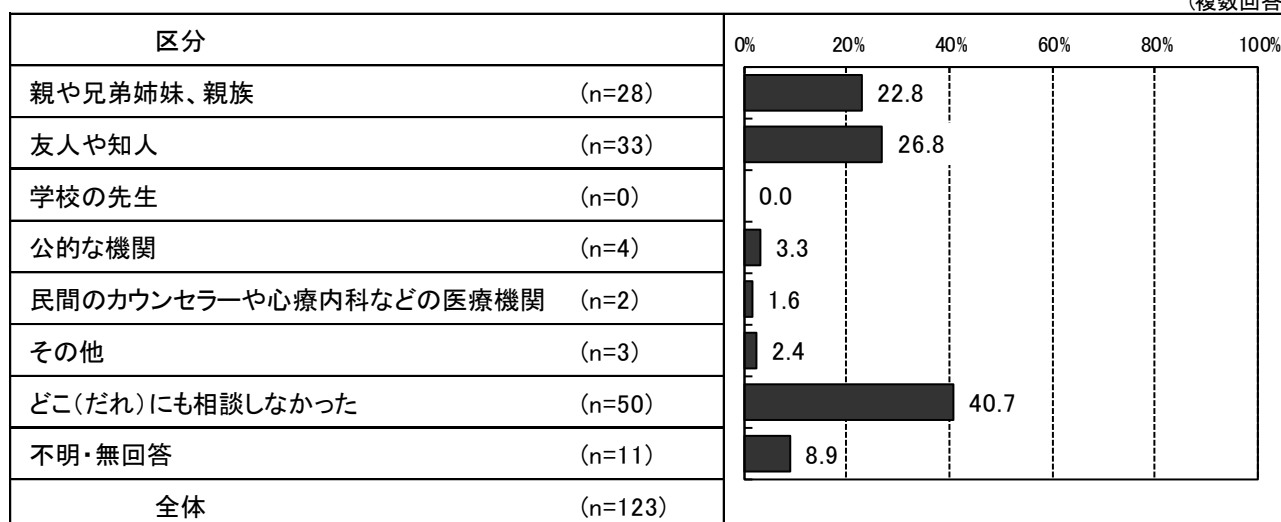
全体では、「まったくくない」が81.0%で最も多く、「1、2度あった」(7.6%)、「何どもあった」(4.0%)がつづいています。

性別では、男女とも「まったくくない」が7～8割台で最も多くなっています。

問 18 で、1つでも「ある」と回答した方にお聞きします。

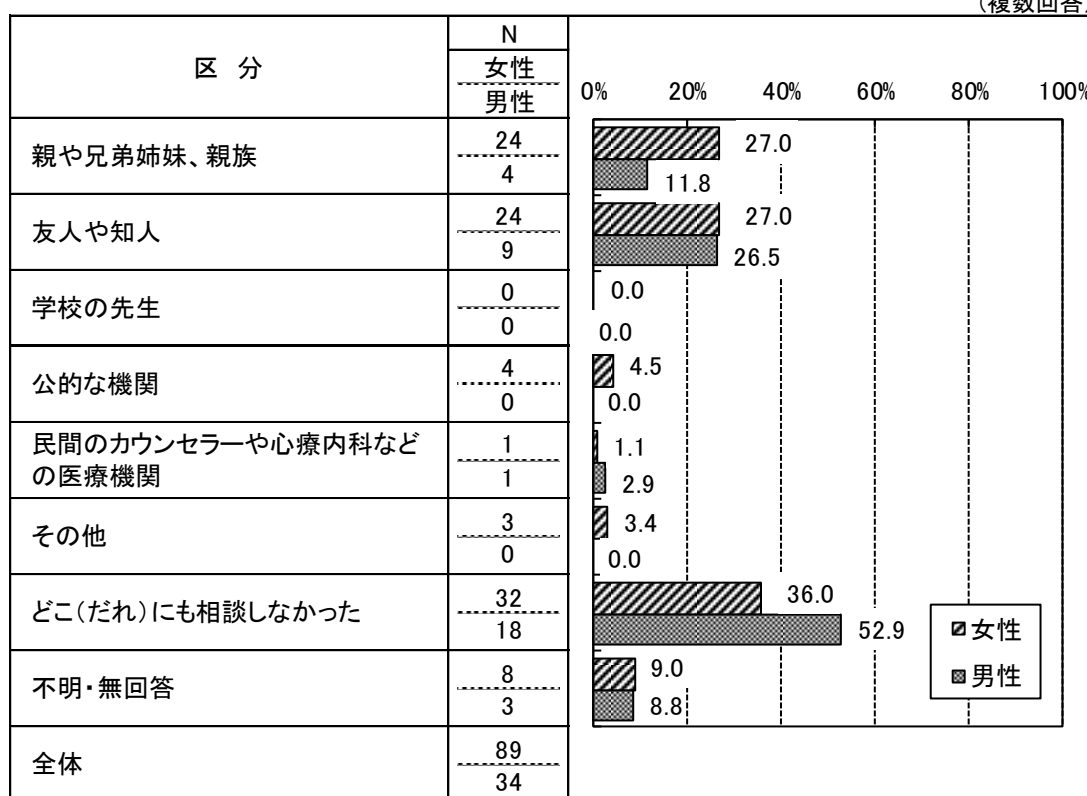
問 19 あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(〇はいくつでも)

(複数回答)



全体では、「どこ(だれ)にも相談しなかった」が40.7%で最も多く、「友人や知人」(26.8%)、「親や兄弟姉妹、親族」(22.8%)がつづいています。

(複数回答)



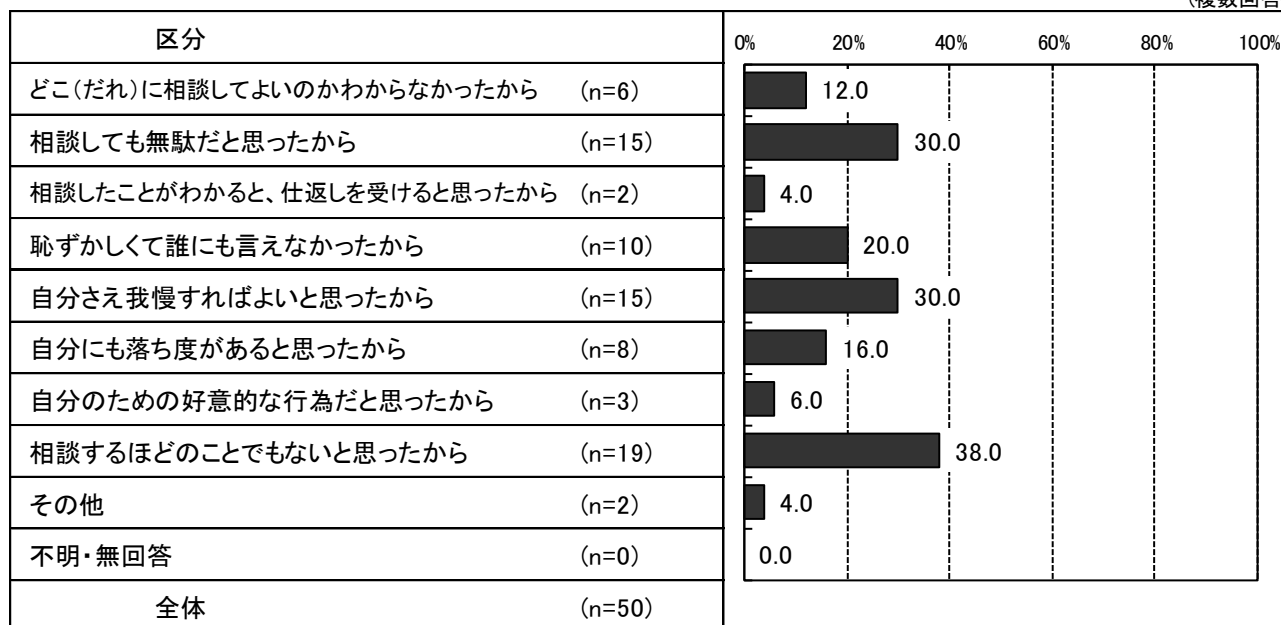
性別では、男女とも「どこ(だれ)にも相談しなかった」が最も多く、女性では3割台、男性では5割台となっています。

問 19 で、「どこ(だれ)にも相談しなかった」と回答した方にお聞きします。

問 20 あなたが、どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)のは、なぜですか。

(〇はいくつでも)

(複数回答)



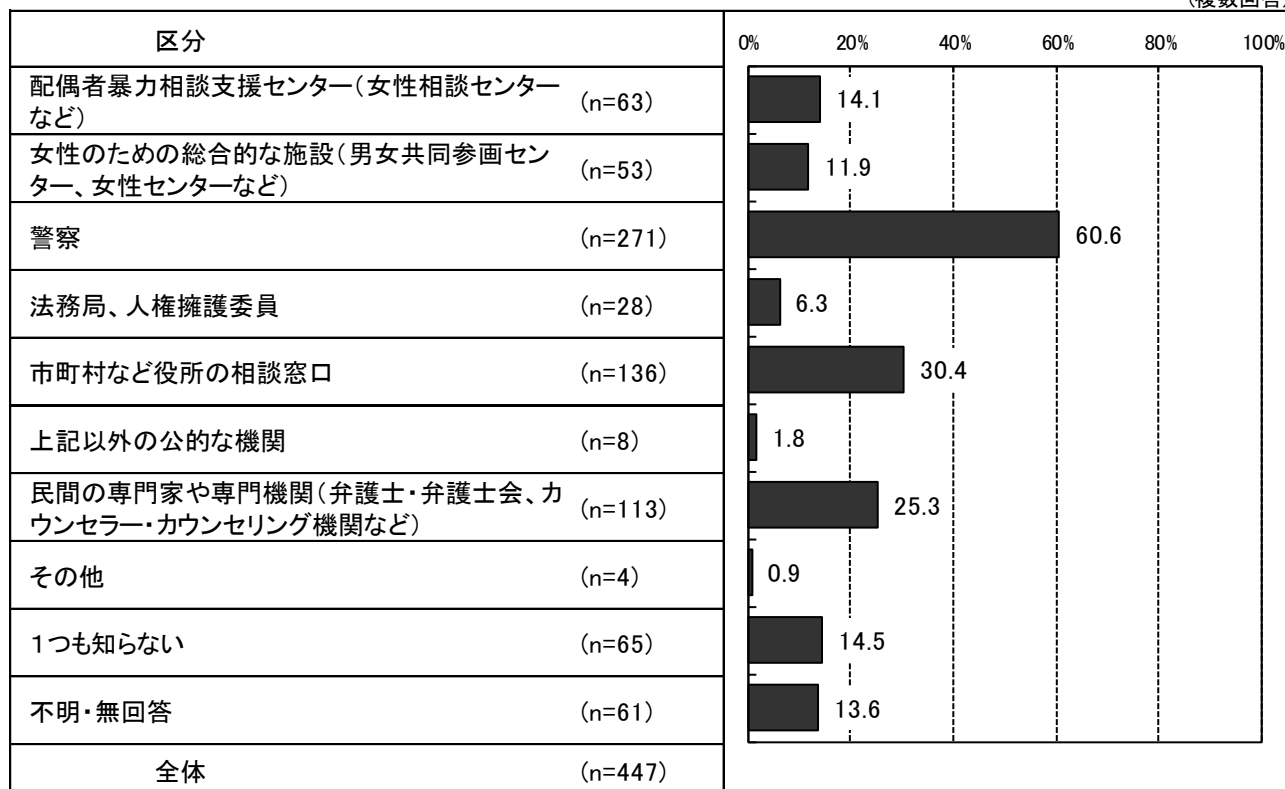
全体では、「相談するほどのことでもないと思ったから」が 38.0%で最も多く、「相談しても無駄だと思ったから」(30.0%)、「自分さえ我慢すればよいと思ったから」(30.0%)がつづいています。

	合計	どこ(だれ)に相談してよいのかわからなかったから	相談しても無駄だと思ったから	相談したことがわかると、仕返しを受けると思ったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	自分さえ我慢すればよいと思ったから	自分にも落ち度があると思ったから	自分のための好意的な行為だと思ったから	相談するほどのことでもないと思ったから	その他	不明・無回答	
全体	50	6	15	2	10	15	8	3	19	2	0	
	100.0	12.0	30.0	4.0	20.0	30.0	16.0	6.0	38.0	4.0	0.0	
性別	女性	32	5	9	2	7	13	4	3	10	2	0
		100.0	15.6	28.1	6.3	21.9	40.6	12.5	9.4	31.3	6.3	0.0
男性	18	1	6	0	3	2	4	0	9	0	0	
	100.0	5.6	33.3	0.0	16.7	11.1	22.2	0.0	50.0	0.0	0.0	

性別にみると、女性では「自分さえ我慢すればよいと思ったから」、男性では「相談するほどのことでもないと思ったから」が最も多くなっています。

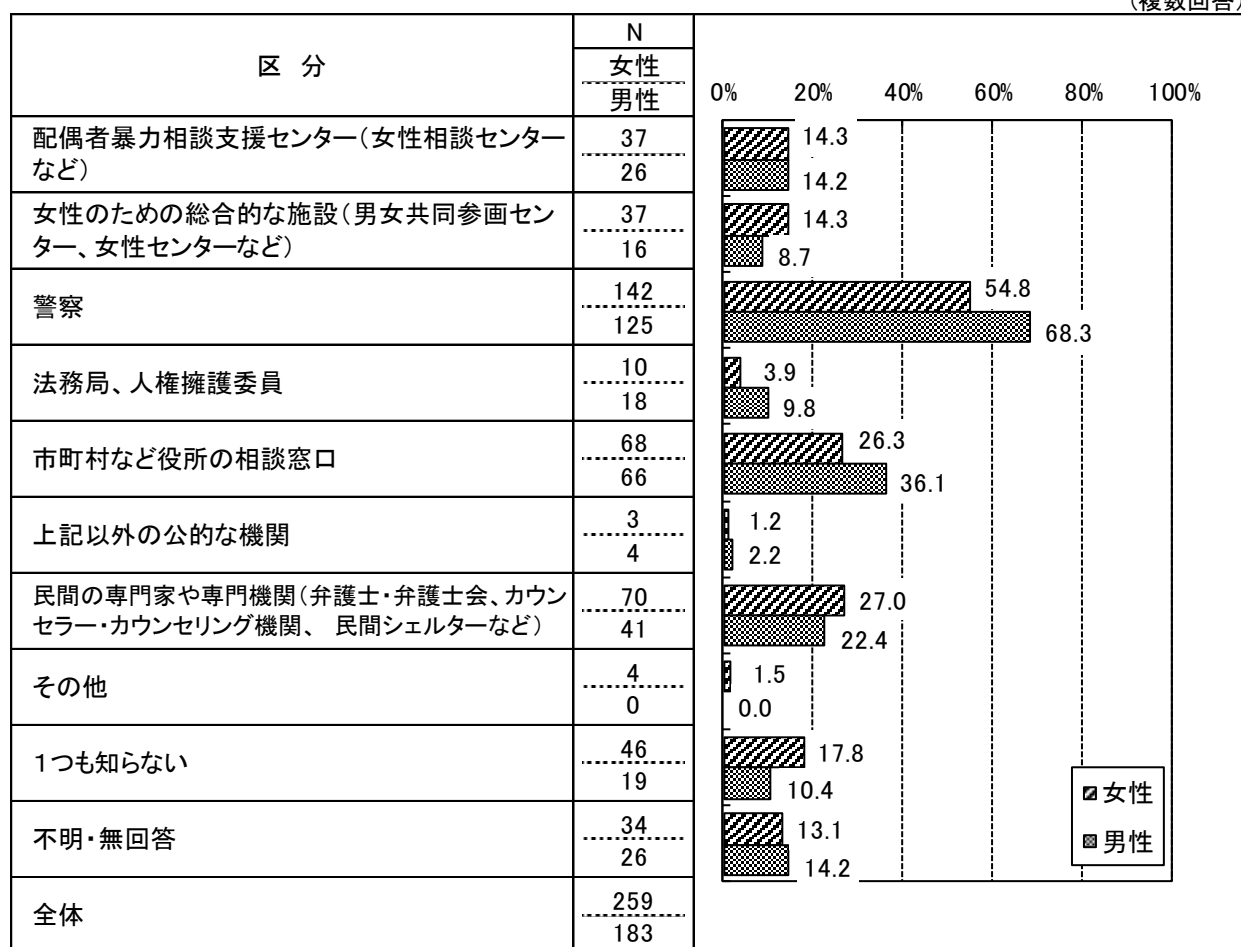
問 21 あなたは、交際相手や配偶者等からの暴力(なぐる、ける、無視するなど身体的、心理的な暴力)について、相談窓口としてどのようなものを知っていますか。(〇はいくつでも)

(複数回答)



全体では、「警察」が60.6%で最も多く、「市町村など役所の相談窓口」(30.4%)、「民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど)」(25.3%)がつづいています。

(複数回答)



性別にみると、男女とも「警察」が最も多く、女性では「民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど）」、男性では「市町村など役所の相談窓口」がつづいています。

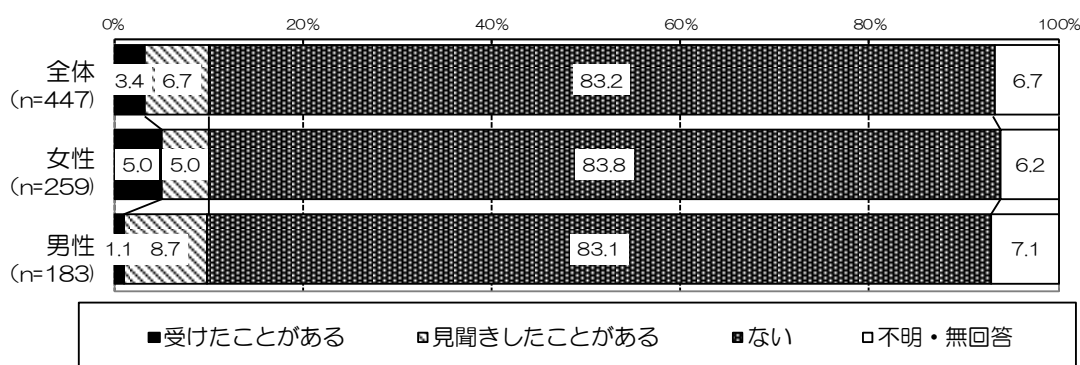
	合計	配偶者暴力相談支援センター(女性相談センターなど)	女性のための総合的な施設(男女共同参画センター、女性センターなど)	警察	法務局、人権擁護委員	市町村など役所の相談窓口	上記以外の公的な機関	民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど)	その他	1つも知らない	不明・無回答	
全体	447	14.1	11.9	60.6	6.3	30.4	1.8	25.3	0.9	14.5	13.6	
年齢	20歳代	38	13.2	7.9	76.3	5.3	23.7	0.0	21.1	2.6	10.5	2.6
	30歳代	64	15.6	12.5	75.0	3.1	21.9	3.1	31.3	0.0	17.2	3.1
	40歳代	92	19.6	18.5	63.0	5.4	35.9	3.3	32.6	0.0	14.1	6.5
	50歳代	63	15.9	14.3	58.7	3.2	25.4	1.6	30.2	3.2	15.9	7.9
	60歳代	103	10.7	8.7	61.2	12.6	38.8	0.0	22.3	0.0	19.4	10.7
	70歳代以上	83	10.8	7.2	39.8	4.8	26.5	1.2	12.0	1.2	8.4	43.4

年代別にみると、すべての年代で「警察」が最も多くなっています。

		配偶者暴力相談支援センター（女性相談センターなど）	女性のための総合的な施設（男女共同参画センター、女性センターなど）	警察	法務局、人権擁護委員	市町村など役所の相談窓口	上記以外の公的な機関	民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど）	その他	1つも知らない	不明・無回答
平成27年度	全体 (n=447)	14.1	11.9	60.6	6.3	30.4	1.8	25.3	0.9	14.5	13.6
	女性 (n=259)	14.3	14.3	54.8	3.9	26.3	1.2	27.0	1.5	17.8	13.1
	男性 (n=183)	14.2	8.7	68.3	9.8	36.1	2.2	22.4	0.0	10.4	14.2
平成23年度	全体 (n=177)	18.6	12.4	52.0	6.2	26.0	1.1	18.6	0.0	15.8	15.8
	女性 (n=106)	19.8	16.0	47.2	3.8	26.4	0.0	18.9	0.0	16.0	15.1
	男性 (n=71)	16.9	7.0	59.2	9.9	25.4	2.8	18.3	0.0	15.5	16.9

平成23年度と平成27年度と比べると、「1つも知らない」について、男性では減少していますが、女性は増加しています。

問 22 あなたは、最近 3 年の間に、「セクシュアル・ハラスメント」を受けた、あるいは、見聞きしたことがありますか。



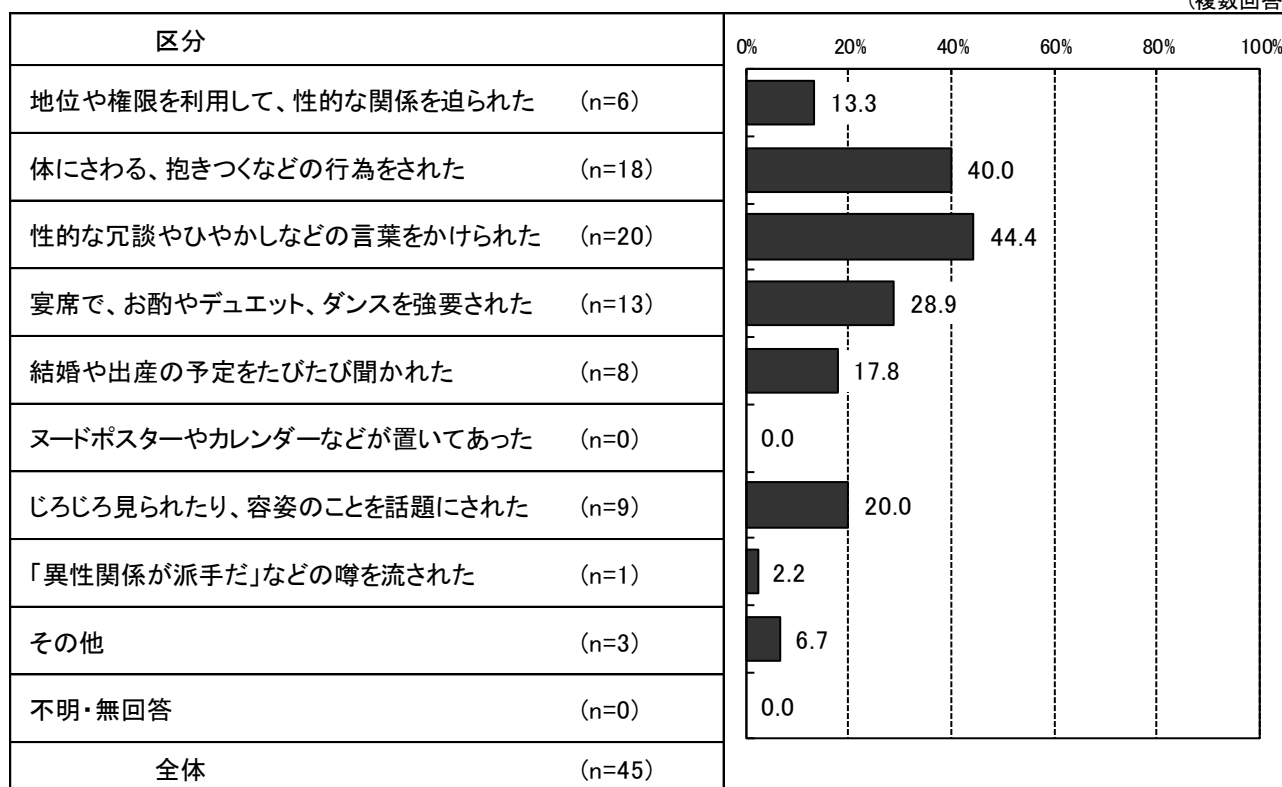
全体では、「ない」が 83.2%で最も多く、「見聞きしたことがある」(6.7%)、「受けたことがある」(3.4%)がつづいています。

性別では、男女とも「ない」が 8 割台で最も多くなっています。

問 22 で、「1」または「2」と回答した方にお聞きします。

問 23 それはどのような内容でしたか。(〇はいくつでも)

(複数回答)

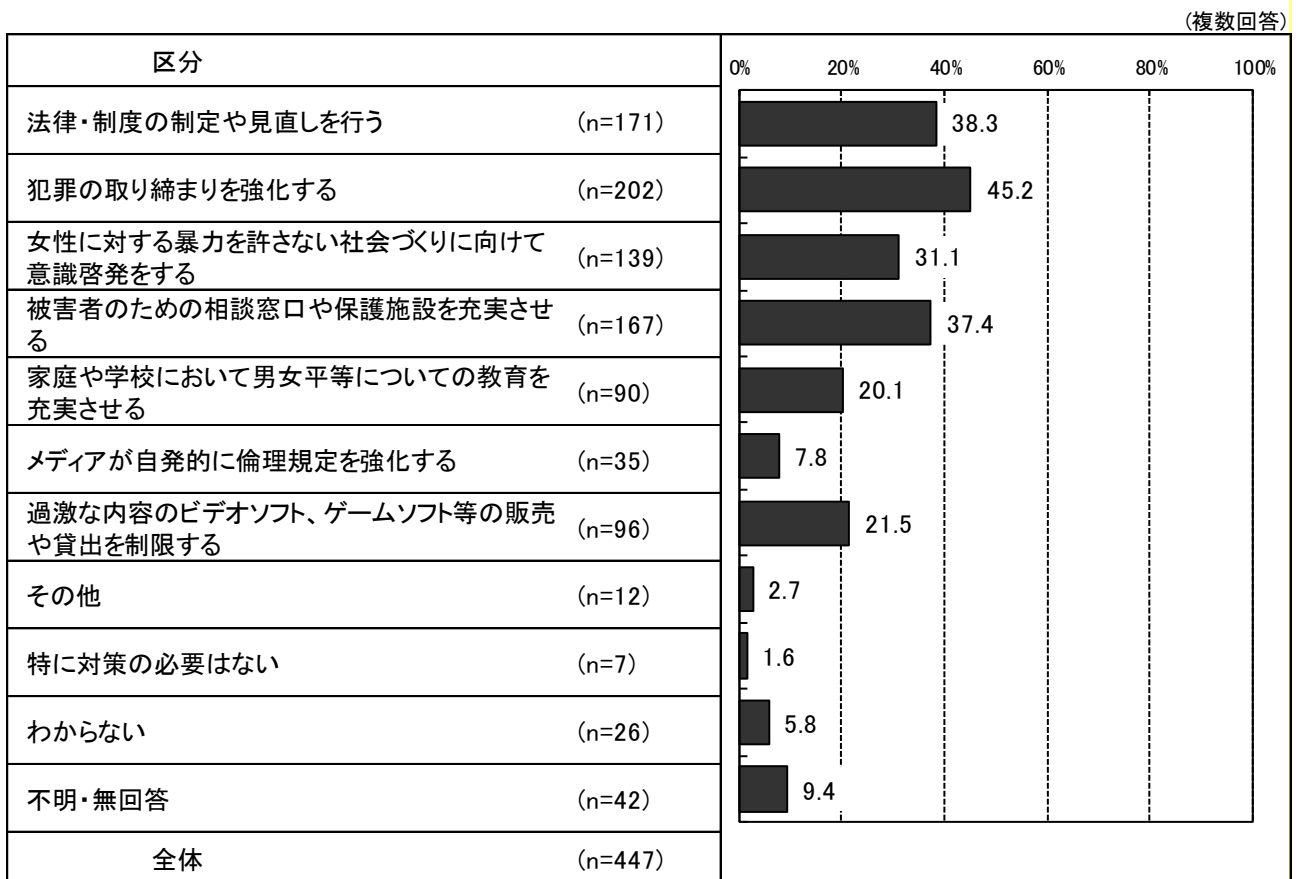


全体では、「性的な冗談やひやかしなどの言葉をかけられた」が 44.4%で最も多く、「体にさわる、抱きつくなどの行為をされた」(40.0%)、「宴席で、お酌やデュエット、ダンスを強要された」(28.9%)がつづいています。

	合計	地位や権限を利用して、性的な関係を迫られた	体にさわる、抱きつくなどの行為をされた	性的な冗談やひやかしなどの言葉をかけられた	宴席で、お酌やデュエット、ダンスを強要された	結婚や出産の予定をたびたび聞かれた	ヌードポスターやカレンダーなどが置いてあった	じろじろ見られたり、容姿のことを話題にされた	「異性関係が派手だ」などの噂を流された	その他	不明・無回答	
全体	45 100.0	6 13.3	18 40.0	20 44.4	13 28.9	8 17.8	0 0.0	9 20.0	1 2.2	3 6.7	0 0.0	
性別	女性	26 100.0	2 7.7	8 30.8	12 46.2	8 30.8	4 15.4	0 0.0	7 26.9	0 0.0	1 3.8	0 0.0
	男性	18 100.0	3 16.7	9 50.0	7 38.9	5 27.8	4 22.2	0 0.0	2 11.1	1 5.6	2 11.1	0 0.0

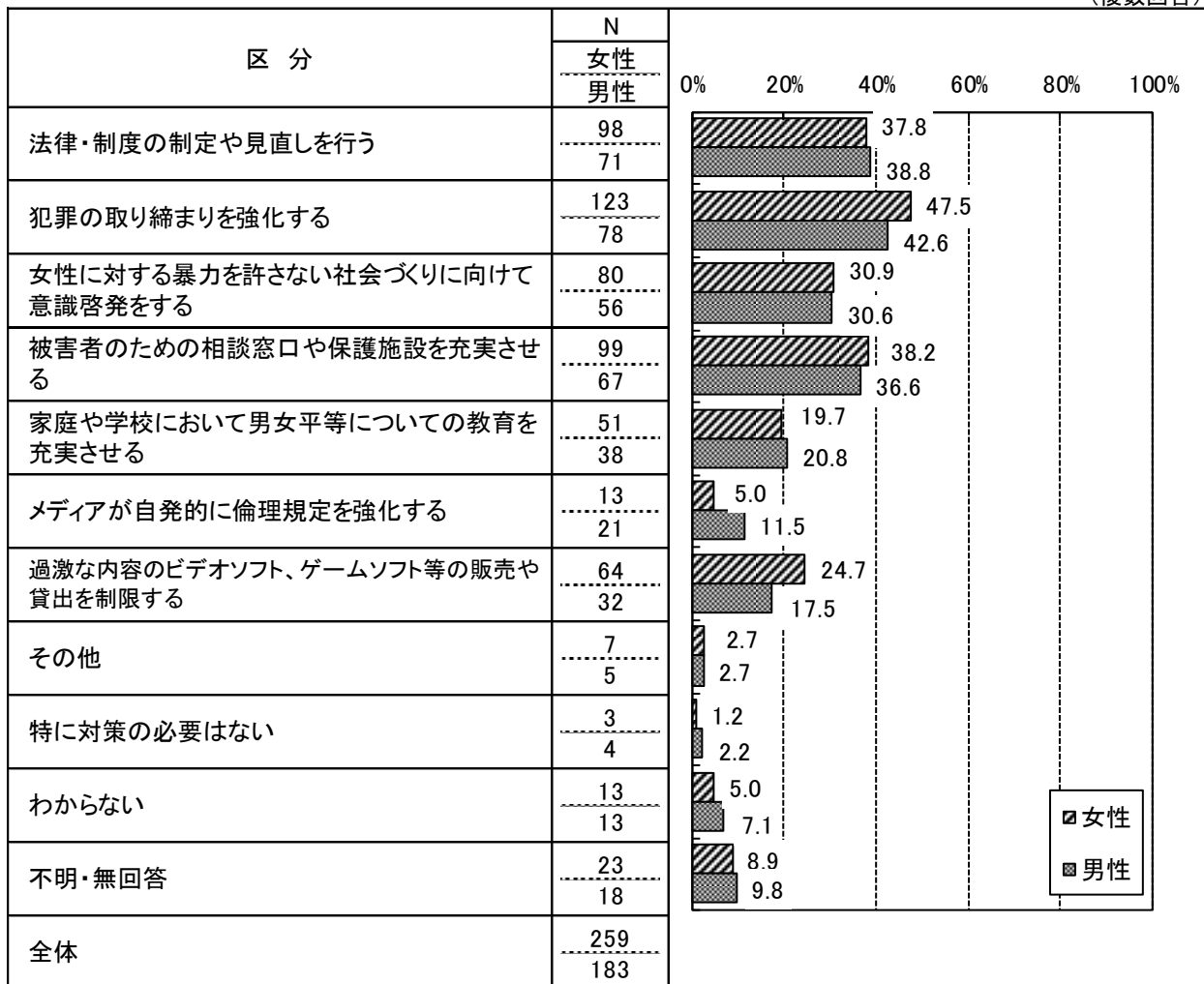
性別にみると、女性では「性的な冗談やひやかしなどの言葉をかけられた」、男性では「体にさわる、抱きつくなどの行為をされた」が最も多くなっています。

問 24 交際相手や配偶者等からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪など、女性に対する暴力をなくすために必要なこと。(○は3つまで)



全体では、「犯罪の取り締まりを強化する」が45.2%で最も多く、「法律・制度の制定や見直しを行う」(38.3%)、「被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる」(37.4%)がつづいています。

(複数回答)



性別にみると、男女とも「犯罪の取り締まりを強化する」が最も多く、女性では「被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる」、男性では「法律・制度の制定や見直しを行う」がつついています。

		合計	法律・制度の制定や見直しを行う	犯罪の取り締まりを強化する	女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする	被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる	家庭や学校において男女平等についての教育を充実させる	メディアが自発的に倫理規定を強化する	過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する	その他	特に対策の必要はない	わからない	不明・無回答
全体		447	38.3	45.2	31.1	37.4	20.1	7.8	21.5	2.7	1.6	5.8	9.4
年齢	20歳代	38	42.1	60.5	21.1	28.9	23.7	7.9	18.4	0.0	2.6	10.5	0.0
	30歳代	64	46.9	57.8	26.6	29.7	18.8	4.7	21.9	4.7	4.7	6.3	1.6
	40歳代	92	44.6	46.7	34.8	34.8	29.3	6.5	18.5	6.5	0.0	4.3	5.4
	50歳代	63	38.1	41.3	31.7	44.4	19.0	11.1	28.6	3.2	0.0	4.8	6.3
	60歳代	103	33.0	46.6	31.1	52.4	15.5	8.7	16.5	1.0	1.9	5.8	8.7
	70歳代以上	83	28.9	28.9	32.5	25.3	15.7	7.2	27.7	0.0	1.2	6.0	27.7

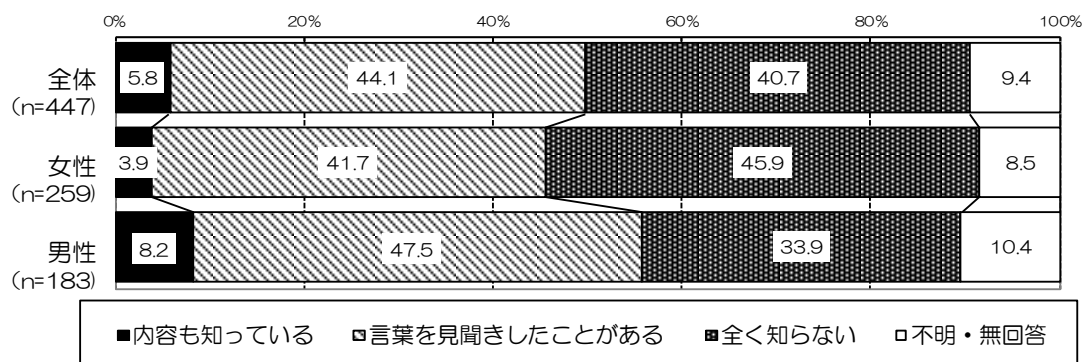
年代別にみると、20～40歳代で「犯罪の取り締まりを強化する」が最も多くなっています。70歳代以上では「女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする」が最も多くなっています。

		法律・制度の制定や見直しを行う	犯罪の取り締まりを強化する	女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする	被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる	家庭や学校において男女平等についての教育を充実させる	メディアが自発的に倫理規定を強化する	過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する	その他	特に対策の必要はない	わからない	不明・無回答
平成27年度	全体 (n=447)	38.3	45.2	31.1	37.4	20.1	7.8	21.5	2.7	1.6	5.8	9.4
	女性 (n=259)	37.8	47.5	30.9	38.2	19.7	5.0	24.7	2.7	1.2	5.0	8.9
	男性 (n=183)	38.8	42.6	30.6	36.6	20.8	11.5	17.5	2.7	2.2	7.1	9.8
平成23年度	全体 (n=177)	36.2	51.4	38.4	41.8	20.3	18.1	42.9	4.5	2.3	6.2	4.5
	女性 (n=106)	38.7	55.7	43.4	39.6	27.4	21.7	56.6	3.8	0.0	7.5	1.9
	男性 (n=71)	32.4	45.1	31.0	45.1	9.9	12.7	22.5	5.6	5.6	4.2	8.5

女性において、平成23年度では、「犯罪の取り締まりを強化する」が「過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する」に次ぐ多くなっていますが、平成27年度では最も多い状況です。

問 25 あなたは次のような言葉をどの程度知っていますか。

① 男女共同参画社会基本法



全体では、「言葉を見聞きしたことがある」が44.1%で最も多く、「全く知らない」(40.7%)、「内容も知っている」(5.8%)がづついています。

性別では、女性では「全く知らない」、男性では「言葉を見聞きしたことがある」が最も多くなっています。

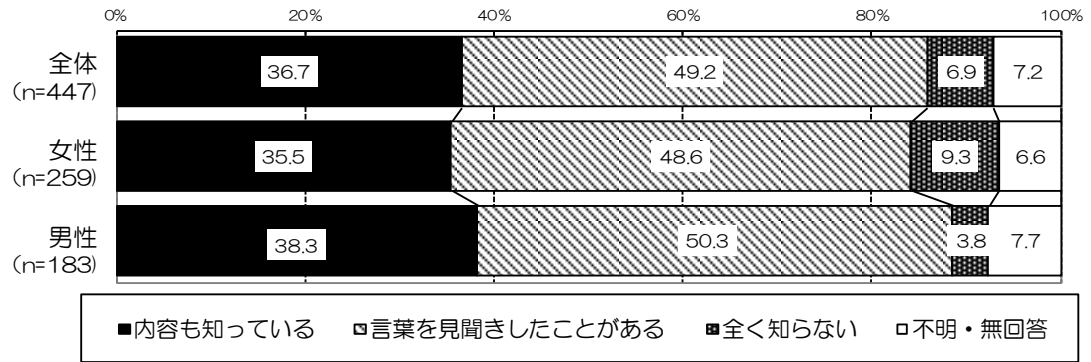
		合計	内容も知っ ている	言葉を見聞 きしたこと がある	全く知らな い	不明・無回 答
全体		447	5.8	44.1	40.7	9.4
年齢	20歳代	38	15.8	57.9	26.3	0.0
	30歳代	64	7.8	31.3	59.4	1.6
	40歳代	92	6.5	50.0	40.2	3.3
	50歳代	63	6.3	50.8	42.9	0.0
	60歳代	103	1.0	42.7	46.6	9.7
	70歳代以上	83	3.6	38.6	24.1	33.7

年代別にみると、「全く知らない」が30歳代で6割程度と他の年代に比べて多くなっています。

	全体				女性				男性			
	内容も知っ ている	こと がある	全く 知らない	不明・ 無回答	内容も知っ ている	こと がある	全く 知らない	不明・ 無回答	内容も知っ ている	こと がある	全く 知らない	不明・ 無回答
平成 27 年	5.8	44.1	40.7	9.4	3.9	41.7	45.9	8.5	8.2	47.5	33.9	10.4
平成 23 年	6.2	43.5	44.1	6.2	7.5	46.2	42.5	3.8	4.2	39.4	46.5	9.9
平成 16 年	5.8	33.6	49.9	10.7	5.8	30.1	52.7	11.4	5.7	38.2	46.2	9.9

全体において、「全く知らない」が年々減少しています。

② 男女雇用機会均等法



全体では、「言葉を見聞きしたことがある」が 49.2%で最も多く、「内容も知っている」(36.7%)、「全く知らない」(6.9%)がづついています。

性別では、男女とも「言葉を見聞きしたことがある」が最も多く、女性では4割台、男性では5割台となっています。

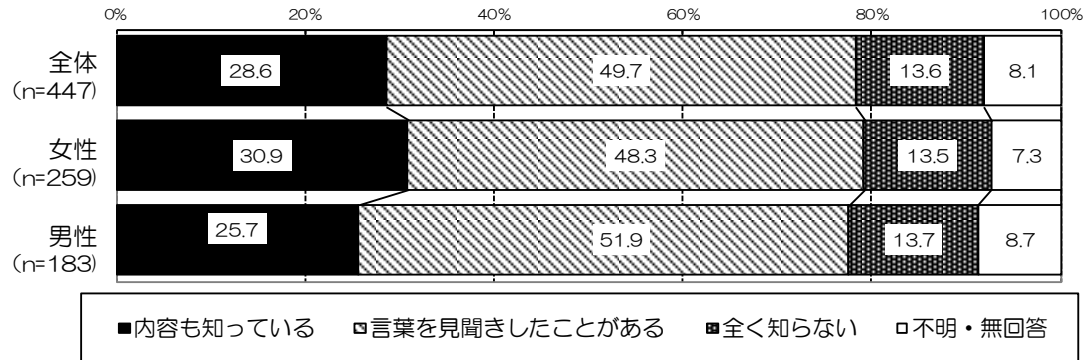
		合計	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
全体		447	36.7	49.2	6.9	7.2
年齢	20歳代	38	44.7	52.6	2.6	0.0
	30歳代	64	35.9	53.1	9.4	1.6
	40歳代	92	52.2	39.1	6.5	2.2
	50歳代	63	46.0	49.2	4.8	0.0
	60歳代	103	30.1	56.3	7.8	5.8
	70歳代以上	83	16.9	48.2	7.2	27.7

年代別にみると、「内容も知っている」について、40歳代で5割台と他の年代に比べて多くなっています。

	全体				女性				男性			
	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
平成 27 年	36.7	49.2	6.9	7.2	35.5	48.6	9.3	6.6	38.3	50.3	3.8	7.7
平成 23 年	48.6	39.0	8.5	4.0	50.0	40.6	9.4	0.0	46.5	36.6	7.0	9.9
平成 16 年	45.9	40.4	7.2	6.6	42.0	42.2	8.7	7.0	51.0	37.9	5.1	6.1

男性において、「内容も知っている」が年々減少しています。

③ 育児介護休業法



全体では、「言葉を見聞きしたことがある」が 49.7%で最も多く、「内容も知っている」(28.6%)、「全く知らない」(13.6%)がつづいています。

性別では、男女とも「言葉を見聞きしたことがある」が最も多く、女性では4割台、男性では5割台となっています。

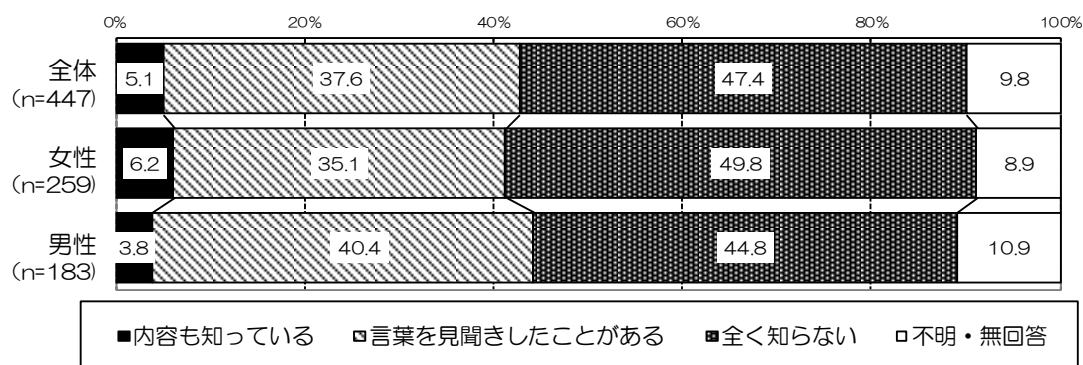
		合計	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
全体		447	28.6	49.7	13.6	8.1
年齢	20歳代	38	23.7	57.9	18.4	0.0
	30歳代	64	35.9	45.3	17.2	1.6
	40歳代	92	41.3	39.1	16.3	3.3
	50歳代	63	31.7	63.5	4.8	0.0
	60歳代	103	26.2	50.5	15.5	7.8
	70歳代以上	83	12.0	50.6	8.4	28.9

年代別でみると、40歳代のみ「内容も知っている」が最も多くなっています。

	全体				女性				男性			
	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
平成 27 年	28.6	49.7	13.6	8.1	30.9	48.3	13.5	7.3	25.7	51.9	13.7	8.7
平成 23 年	33.3	46.3	15.8	4.5	35.8	50.0	14.2	0.0	29.6	40.8	18.3	11.3
平成 16 年	30.3	49.6	11.7	8.4	32.5	48.3	10.7	8.5	27.4	51.3	13.1	8.3

「内容も知っている」について、女性では各年度3割台であるのに対し、男性は各年度2割台となっています。

④ 女性差別撤廃条約



全体では、「全く知らない」が47.4%で最も多く、「言葉を見聞きしたことがある」(37.6%)、「内容も知っている」(5.1%)がつづいています。

性別では、男女とも「全く知らない」が最も多くなっています。

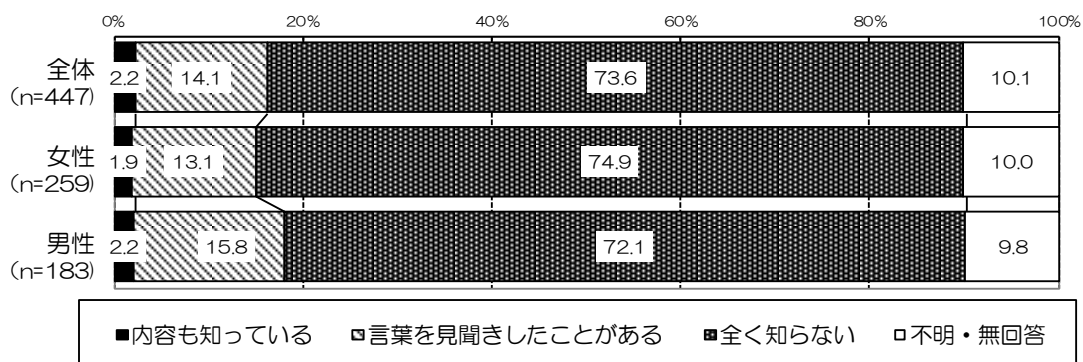
		合計	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
全体		447	5.1	37.6	47.4	9.8
年齢	20歳代	38	5.3	39.5	55.3	0.0
	30歳代	64	6.3	37.5	54.7	1.6
	40歳代	92	7.6	28.3	59.8	4.3
	50歳代	63	4.8	52.4	41.3	1.6
	60歳代	103	3.9	39.8	46.6	9.7
	70歳代以上	83	3.6	32.5	30.1	33.7

年代別にみると、「全く知らない」について、20～40歳代で5割を超えています。

	全体				女性				男性			
	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
平成27年	5.1	37.6	47.4	9.8	6.2	35.1	49.8	8.9	3.8	40.4	44.8	10.9
平成23年	9.0	37.3	46.9	6.8	9.4	37.7	50.0	2.8	8.5	36.6	42.3	12.7
平成16年	10.2	41.5	39.5	8.8	9.7	41.7	40.0	8.5	10.8	41.1	38.9	9.2

「内容も知っている」について、性別に関わらず、年々減少しています。

⑤ ポジティブアクション(積極的改善措置)



全体では、「全く知らない」が73.6%で最も多く、「言葉を見聞きしたことがある」(14.1%)、「内容も知っている」(2.2%)がつづいています。

性別では、男女とも「全く知らない」が7割台で最も多くなっています。

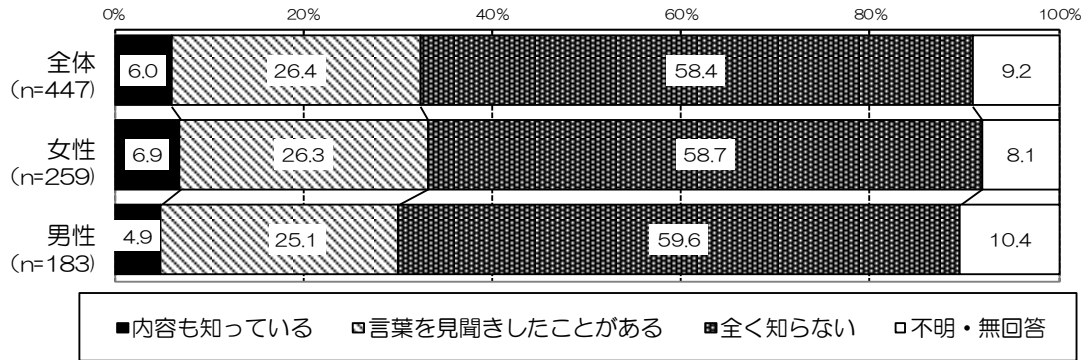
		合計	内容も知っ ている	言葉を見聞 きたこと がある	全く知らな い	不明・無回 答
全体		447	2.2	14.1	73.6	10.1
年齢	20歳代	38	0.0	15.8	84.2	0.0
	30歳代	64	4.7	10.9	82.8	1.6
	40歳代	92	2.2	12.0	82.6	3.3
	50歳代	63	3.2	23.8	71.4	1.6
	60歳代	103	1.0	14.6	74.8	9.7
	70歳代以上	83	1.2	10.8	51.8	36.1

年代別にみると、20～60歳代で「全く知らない」が7～8割台となっています。

	全体				女性				男性			
	内容も知っ ている	こと がある	全く 知らない	不明・ 無回 答	内容も知っ ている	こと がある	全く 知らない	不明・ 無回 答	内容も知っ ている	こと がある	全く 知らない	不明・ 無回 答
平成 27 年	2.2	14.1	73.6	10.1	1.9	13.1	74.9	10.0	2.2	15.8	72.1	9.8
平成 23 年	1.7	18.1	74.0	6.2	1.9	21.7	73.6	2.8	1.4	12.7	74.6	11.3
平成 16 年	2.8	18.2	68.6	10.5	1.9	20.9	66.3	10.9	3.8	14.6	71.7	9.9

男性において、「全く知らない」が各年度で7割台となっています。

⑥ 性別役割分業



全体では、「全く知らない」が58.4%で最も多く、「言葉を見聞きしたことがある」(26.4%)、「内容も知っている」(6.0%)が続いています。

性別では、男女とも「全く知らない」が5割台で最も多くなっています。

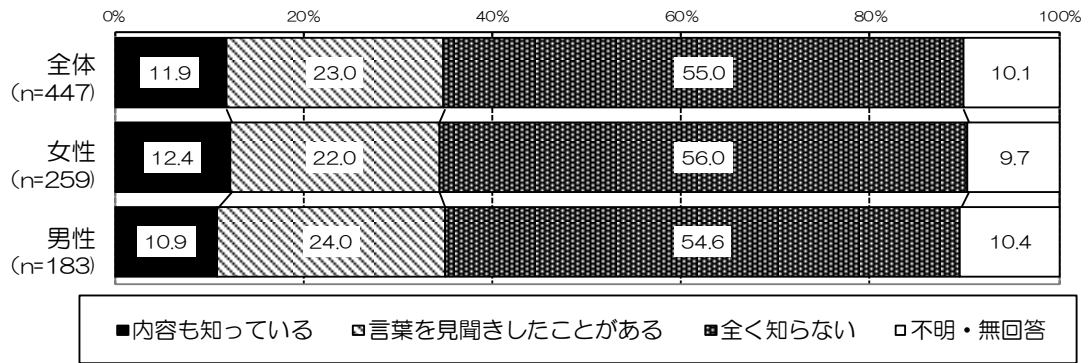
		合計	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
全体		447	6.0	26.4	58.4	9.2
年齢	20歳代	38	15.8	13.2	71.1	0.0
	30歳代	64	4.7	25.0	68.8	1.6
	40歳代	92	3.3	29.3	64.1	3.3
	50歳代	63	11.1	33.3	54.0	1.6
	60歳代	103	3.9	25.2	63.1	7.8
	70歳代以上	83	4.8	24.1	37.3	33.7

年代別にみると、20・30歳代で「全く知らない」が7割程度となっています。

	全体				女性				男性			
	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
平成27年	6.0	26.4	58.4	9.2	6.9	26.3	58.7	8.1	4.9	25.1	59.6	10.4
平成23年	7.9	22.6	63.8	5.6	11.3	25.5	61.3	1.9	2.8	18.3	67.6	11.3
平成16年	8.0	27.8	54.4	9.8	9.0	30.6	51.5	9.0	6.7	24.2	58.3	10.8

「全く知らない」について、性別に関わらず、各年度で5～6割台となっています。

⑦ ジェンダー



全体では、「全く知らない」が55.0%で最も多く、「言葉を見聞きしたことがある」(23.0%)、「内容も知っている」(11.9%)がつづいています。

性別では、男女とも「全く知らない」が5割台で最も多くなっています。

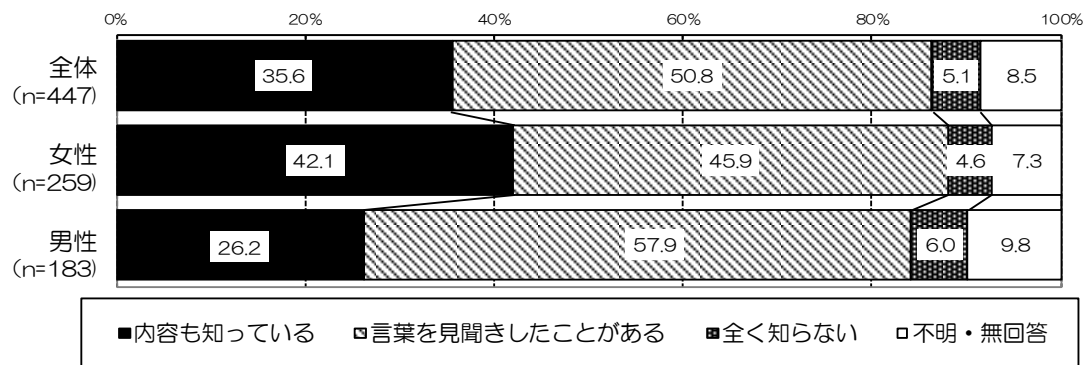
		合計	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
全体		447	11.9	23.0	55.0	10.1
年齢	20歳代	38	23.7	21.1	55.3	0.0
	30歳代	64	18.8	28.1	51.6	1.6
	40歳代	92	17.4	37.0	42.4	3.3
	50歳代	63	15.9	25.4	57.1	1.6
	60歳代	103	1.9	14.6	72.8	10.7
	70歳代以上	83	3.6	13.3	48.2	34.9

年代別にみると、すべての年代で「全く知らない」が最も多くなっています。特に、60歳代で7割台と他の年代に比べて多くなっています。

	全体				女性				男性			
	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
平成 27 年	11.9	23.0	55.0	10.1	12.4	22.0	56.0	9.7	10.9	24.0	54.6	10.4
平成 23 年	10.7	20.3	63.8	5.1	12.3	23.6	63.2	0.9	8.5	15.5	64.8	11.3
平成 16 年	10.1	19.0	59.6	11.3	10.9	18.9	58.3	11.9	8.9	19.1	61.5	10.5

女性において、「内容も知っている」が年々増加しています。

⑧ 児童虐待防止法



全体では、「言葉を見聞きしたことがある」が50.8%で最も多く、「内容も知っている」(35.6%)、「全く知らない」(5.1%)がつづいています。

性別では、男女とも「言葉を見聞きしたことがある」が最も多く、女性では4割台、男性では5割台となっています。

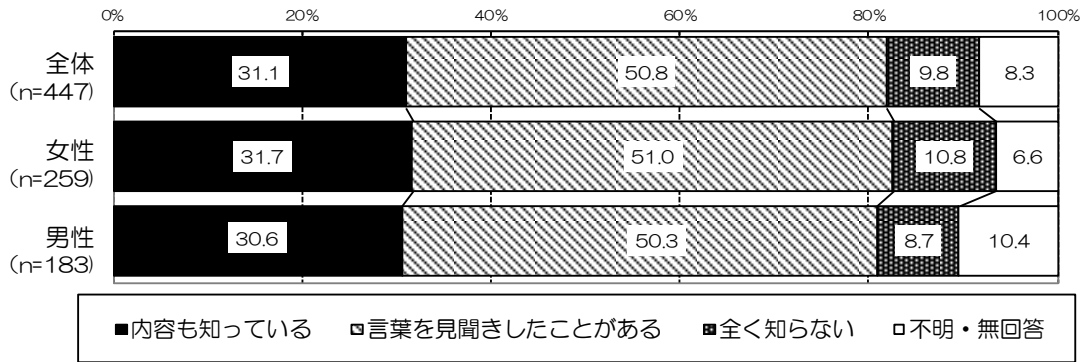
		合計	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
全体		447	35.6	50.8	5.1	8.5
年齢	20歳代	38	39.5	55.3	5.3	0.0
	30歳代	64	35.9	54.7	7.8	1.6
	40歳代	92	46.7	46.7	4.3	2.2
	50歳代	63	44.4	54.0	0.0	1.6
	60歳代	103	32.0	54.4	3.9	9.7
	70歳代以上	83	18.1	43.4	9.6	28.9

年代別にみると、「内容も知っている」が40～50歳代で4割を超えています。

	全体				女性				男性			
	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
平成27年	35.6	50.8	5.1	8.5	42.1	45.9	4.6	7.3	26.2	57.9	6.0	9.8
平成23年	46.9	43.5	4.0	5.6	52.8	42.5	2.8	1.9	38.0	45.1	5.6	11.3
平成16年	43.4	46.1	4.0	6.5	47.1	43.0	3.2	6.8	38.5	50.3	5.1	6.1

男性において、「内容も知っている」が年々減少しています。

⑨ ドメスティック・バイオレンス(DV)防止法



全体では、「言葉を見聞きしたことがある」が 50.8%で最も多く、「内容も知っている」(31.1%)、「全く知らない」(9.8%)がつづいています。

性別では、男女とも「言葉を見聞きしたことがある」が5割台で最も多くなっています。

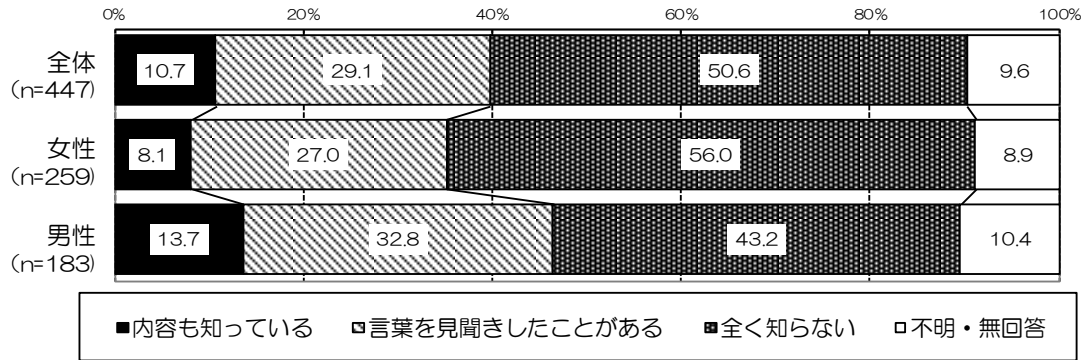
		合計	内容も知っ ている	言葉を見聞 きしたこ とがある	全く知らな い	不明・無回 答
全体		447	31.1	50.8	9.8	8.3
年齢	20歳代	38	34.2	52.6	13.2	0.0
	30歳代	64	37.5	57.8	3.1	1.6
	40歳代	92	39.1	51.1	7.6	2.2
	50歳代	63	46.0	47.6	3.2	3.2
	60歳代	103	26.2	54.4	11.7	7.8
	70歳代以上	83	10.8	41.0	19.3	28.9

年代別にみると、すべての年代で「言葉を見聞きしたことがある」が4～5割台で最も多くなっています。

	全体				女性				男性			
	内容も知っ ている	こと がある	全 く 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答	内容も知っ ている	こと がある	全 く 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答	内容も知っ ている	こと がある	全 く 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答
平成 27 年	31.1	50.8	9.8	8.3	31.7	51.0	10.8	6.6	30.6	50.3	8.7	10.4
平成 23 年	40.1	46.9	9.0	4.0	43.4	46.2	10.4	0.0	35.2	47.9	7.0	9.9
平成 16 年	36.0	37.7	18.2	8.1	37.6	38.1	16.0	8.3	33.8	37.3	21.0	8.0

「言葉を見聞きしたことがある」について、性別に関わらず、年々増加しています。

⑩ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)



全体では、「全く知らない」が50.6%で最も多く、「言葉を見聞きしたことがある」(29.1%)、「内容も知っている」(10.7%)がつづいています。

性別では、男女とも「全く知らない」が最も多く、女性では5割台、男性では4割台となっています。

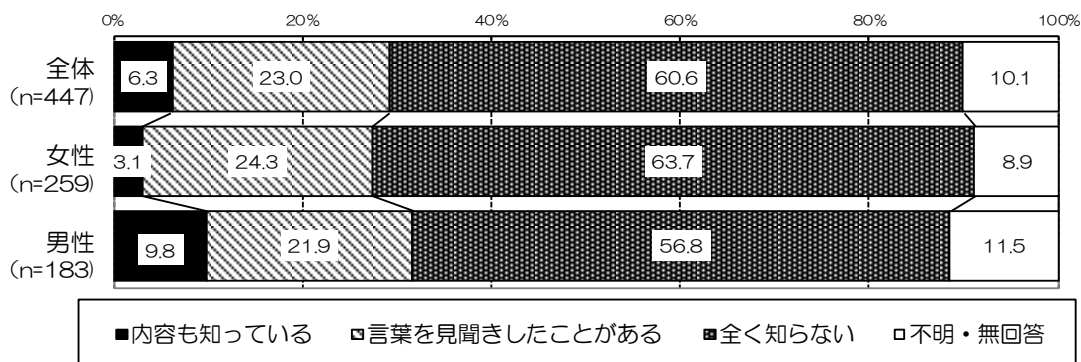
		合計	内容も知っ ている	言葉を見聞 きたこと がある	全く知らな い	不明・無回 答
全体		447	10.7	29.1	50.6	9.6
年齢	20歳代	38	7.9	39.5	52.6	0.0
	30歳代	64	17.2	29.7	51.6	1.6
	40歳代	92	19.6	25.0	52.2	3.3
	50歳代	63	4.8	36.5	57.1	1.6
	60歳代	103	7.8	31.1	52.4	8.7
	70歳代以上	83	3.6	21.7	39.8	34.9

年齢別にみると、20～60歳代で「全く知らない」が5割台となっています。

	全体				女性				男性			
	内容も知っ ている	こと がある	全 く 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答	内容も知っ ている	こと がある	全 く 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答	内容も知っ ている	こと がある	全 く 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答
平成27年	10.7	29.1	50.6	9.6	8.1	27.0	56.0	8.9	13.7	32.8	43.2	10.4
平成23年	6.2	22.0	66.1	5.6	7.5	22.6	67.0	2.8	4.2	21.1	64.8	9.9

平成23年度と平成27年度を比べると、性別に関わらず、「内容も知っている」「言葉を見聞きしたことがある」が増加しています。

⑪ ダイバーシティ(多様な人材の活用)



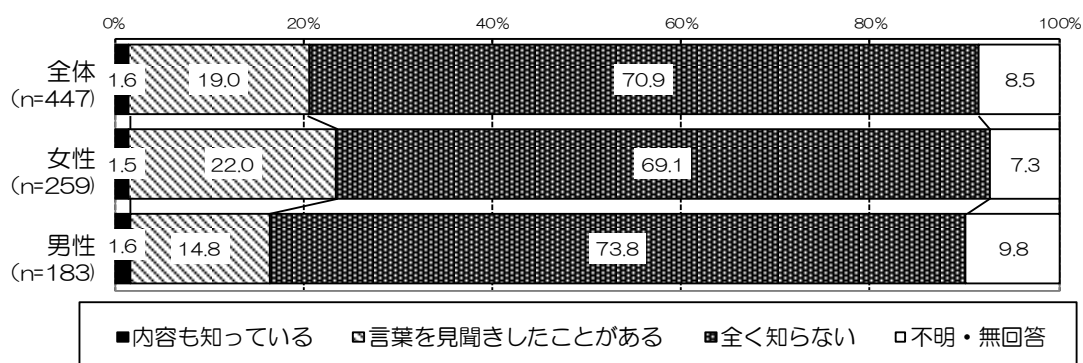
全体では、「全く知らない」が60.6%で最も多く、「言葉を見聞きしたことがある」(23.0%)、「内容も知っている」(6.3%)がつづいています。

性別では、男女とも「全く知らない」が最も多く、女性では6割台、男性では5割台となっています。

		合計	内容も知っ ている	言葉を見聞 きたこと がある	全く知らな い	不明・無回 答
全体		447	6.3	23.0	60.6	10.1
年齢	20歳代	38	10.5	31.6	57.9	0.0
	30歳代	64	12.5	25.0	60.9	1.6
	40歳代	92	8.7	25.0	60.9	5.4
	50歳代	63	4.8	25.4	68.3	1.6
	60歳代	103	1.0	25.2	65.0	8.7
	70歳代以上	83	2.4	12.0	50.6	34.9

年齢別にみると、すべての年代で「全く知らない」が5～6割台となっています。

⑫ 第2次泉大津市男女共同参画推進計画(にんじんプラン)



全体では、「全く知らない」が70.9%で最も多く、「言葉を見聞きしたことがある」(19.0%)、「内容も知っている」(1.6%)がつづいています。

性別では、男女とも「全く知らない」が最も多く、女性では6割台、男性では7割台となっています。

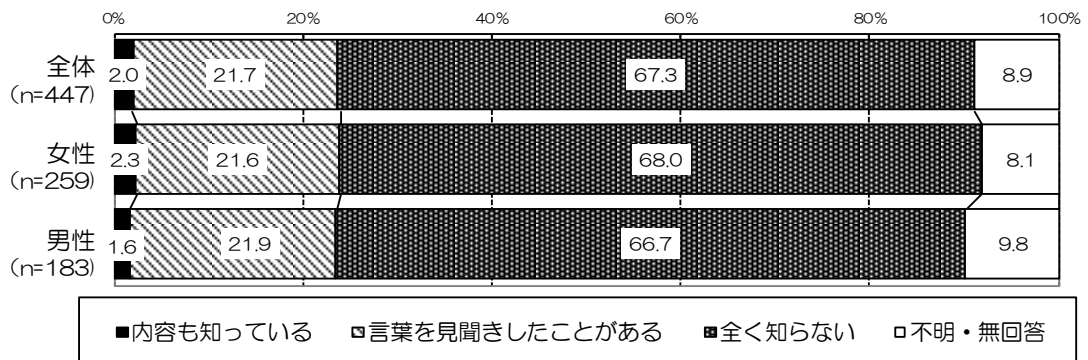
		合計	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
全体		447	1.6	19.0	70.9	8.5
年齢	20歳代	38	0.0	7.9	92.1	0.0
	30歳代	64	1.6	12.5	84.4	1.6
	40歳代	92	0.0	18.5	78.3	3.3
	50歳代	63	1.6	22.2	76.2	0.0
	60歳代	103	1.9	21.4	68.9	7.8
	70歳代以上	83	3.6	24.1	41.0	31.3

年齢別にみると、20～50歳代で「全く知らない」が7～9割台となっています。特に、20歳代で9割台と他の年代に比べて多くなっています。

	全体				女性				男性			
	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
平成27年	1.6	19.0	70.9	8.5	1.5	22.0	69.1	7.3	1.6	14.8	73.8	9.8
平成23年	2.8	20.9	71.2	5.1	3.8	29.2	65.1	1.9	1.4	8.5	80.3	9.9
平成16年	1.4	12.8	77.3	8.5	1.5	13.3	77.2	8.0	1.3	12.1	77.4	9.2

全体において、「全く知らない」が年々減少しています。

⑬ 泉大津市男女共同参画のまちづくりを推進する条例



全体では、「全く知らない」が67.3%で最も多く、「言葉を見聞きしたことがある」(21.7%)、「内容も知っている」(2.0%)がつづいています。

性別では、男女とも「全く知らない」が6割台で最も多くなっています。

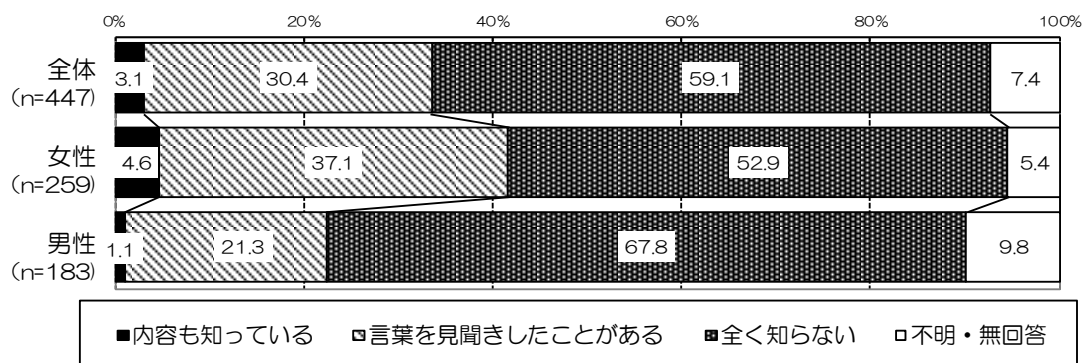
		合計	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
全体		447	2.0	21.7	67.3	8.9
年齢	20歳代	38	2.6	15.8	81.6	0.0
	30歳代	64	1.6	18.8	76.6	3.1
	40歳代	92	0.0	18.5	78.3	3.3
	50歳代	63	0.0	22.2	77.8	0.0
	60歳代	103	2.9	28.2	60.2	8.7
	70歳代以上	83	4.8	21.7	42.2	31.3

年代別にみると、20～50歳代で「全く知らない」が7～8割台となっています。特に、20歳代で8割台と他の年代に比べて多くなっています。

	全体				女性				男性			
	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答	内容も知っている	言葉を見聞きしたことがある	全く知らない	不明・無回答
平成27年	2.0	21.7	67.3	8.9	2.3	21.6	68.0	8.1	1.6	21.9	66.7	9.8
平成23年	2.8	27.1	64.4	5.6	3.8	35.8	58.5	1.9	1.4	14.1	73.2	11.3

平成23年度と平成27年度を比べると、「内容も知っている」「言葉を見聞きしたことがある」について、女性は減少しているのに対し、男性は増加しています。

⑭ いずみおおつ男女共同参画交流サロン(にんじんサロン)



全体では、「全く知らない」が59.1%で最も多く、「言葉を見聞きしたことがある」(30.4%)、「内容も知っている」(3.1%)がつづいています。

性別では、男女とも「全く知らない」が最も多く、女性は5割台、男性は6割台となっています。

		合計	内容も知っ ている	言葉を見聞 きたこと がある	全く知らな い	不明・無回 答
全体		447	3.1	30.4	59.1	7.4
年齢	20歳代	38	2.6	13.2	84.2	0.0
	30歳代	64	3.1	31.3	64.1	1.6
	40歳代	92	4.3	37.0	56.5	2.2
	50歳代	63	0.0	34.9	65.1	0.0
	60歳代	103	4.9	27.2	62.1	5.8
	70歳代以上	83	2.4	31.3	37.3	28.9

年代別にみると、「全く知らない」について、20歳代で8割台と他の年代に比べて多くなっています。

	全体				女性				男性					
	内容も知っ ている	こと がある	言葉を見聞 きた こと がある	全く 知らない	不明・ 無回 答	内容も知っ ている	こと がある	言葉を見聞 きた こと がある	全く 知らない	不明・ 無回 答	内容も知っ ている	こと がある	言葉を見聞 きた こと がある	全く 知らない
平成 27 年	3.1	30.4	59.1	7.4	4.6	37.1	52.9	5.4	1.1	21.3	67.8	9.8		
平成 23 年	4.0	24.3	66.7	5.1	4.7	34.0	60.4	0.9	2.8	9.9	76.1	11.3		

平成 23 年度と平成 27 年度を比べると、「全く知らない」について、性別に関わらず、減少しています。